

ILA プロジェクションテレビ

型名 AV-D50LA2

⚠ ご使用の前に安全上のご注意
(2～9ページ)を必ずお読みください。

目次は10ページです

テレビを
見る前に

ふだんの
使いかた

便利な機能
で楽しむ

テレビを使い
こなす

アンテナの
接続と設定

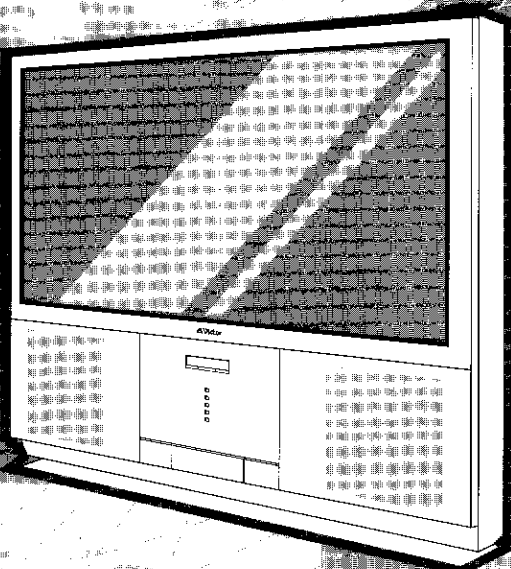
AV機器を
つなぐ

メンテナンス/
こまめなときは

DVD Player

S-VHS

Game



CS・TBS・ILA® Projection Television

お買い上げいただき、ありがとうございます

- ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

「安全上のご注意」の絵表示

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

警告

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。

注意

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

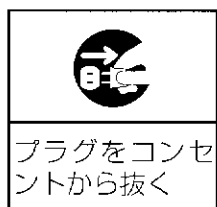
●注意（警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意	指をはさまれないよう注意	感電注意	高温注意	破裂注意	発火注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止	水場での使用禁止	ぬれ手禁止	分解禁止	接触禁止	水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



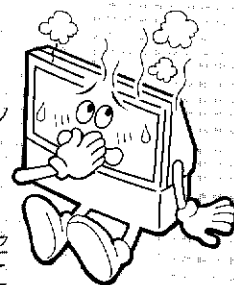
警告 万一、次のような異常が発生したときは

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- プロジェクションテレビの内部に水や物が入ってしまったとき。
- プロジェクションテレビを落としたり、キャビネットが破損したとき。
- 画面が映らない、音が出ないなどのときは、トラブルシューティングを見てチェックしてください。それでも原因がわからないときは、販売店にご相談ください。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

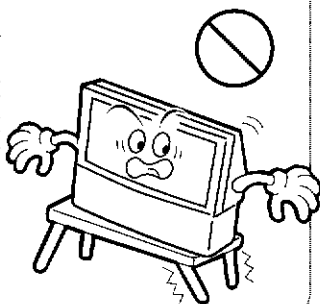
なお、お客様で自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



⚠ 警告 設置するときの警告

不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。



指定の電源電圧（交流100V）以外で使

表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

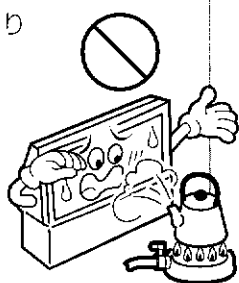


⚠ 注意 設置するときの注意

次のような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほこりの多いところ
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる
- ・ 熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやスクリーンが変質することがあります。



壁や他の機器と間隔をあけて設置する

内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のことに注意してください。

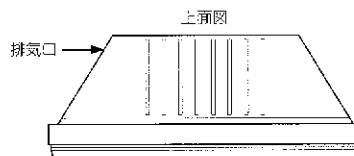
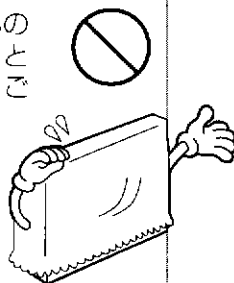
- ・ 壁や家具に近づけない
 - ・ 他の機器との間隔をあける
- また、冷却ファンの吹き出し口からは温風が出ますので、やけどや他の機器への損害を与える原因となります。特に小さいお子さまには注意してください。また、壁紙などは、変色する恐れがありますので注意してください。



プロジェクションテレビの通風孔や排気口をふさがない

通風孔や排気口をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことに注意してください。

- ・ 押し入れや棚など狭いところに入れない
- ・ テーブルクロスなどを掛けない
- ・ あお向け、横倒し、逆さまにしない



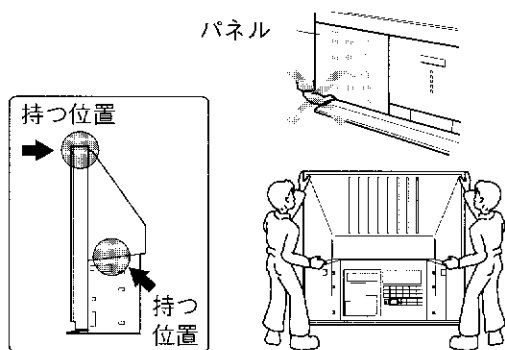
安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意 設置するときの注意

移動するときは 正しい位置を持つ

必ず、指定した位置を持って運んでください。指定された位置以外を持つと破損・故障・けがの原因になります。特に次のことにご注意ください。

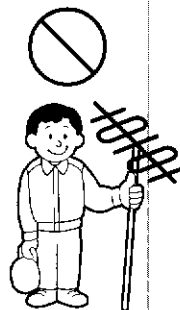
- ・スクリーンに手を当てない。スクリーンがゆがんだり、傷つきます。
- ・スピーカーパネル部分に手を掛けない。スピーカーパネルが外れ本機を落とします。
- ・本機を下ろすときは、足を挟まないように気をつけてください。
- ・安全のために、持ち運びは2人以上で行ってください。
- ・運ぶときは衝撃を与えないようにしてください。



アンテナ工事は販売店に 依頼する

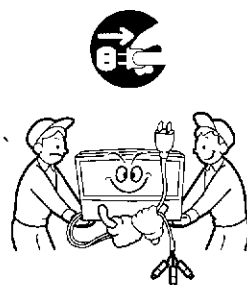
技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。

- ・倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- ・BS、CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けるよう依頼してください。



移動するときは 接続コード類を外す

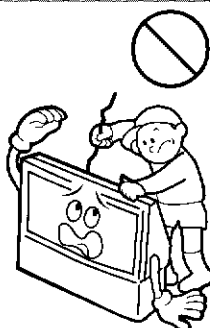
コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。



⚠ 警告 使用するときの警告

プロジェクションテレビ 内部に物を入れない

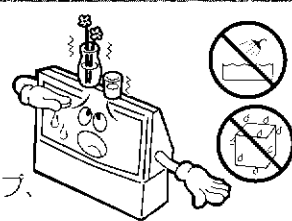
金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



プロジェクションテレビに 水をかけない

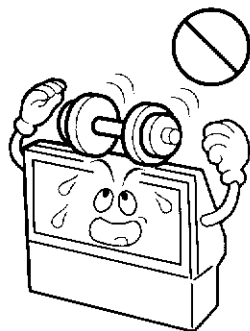
公共浴場、温泉、風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水などの入った容器（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、プロジェクションテレビの上に置かないでください。また、雨天、降雪中、海岸、水辺での使用はご注意ください。



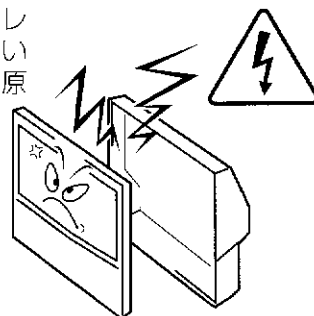
プロジェクションテレビの 上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



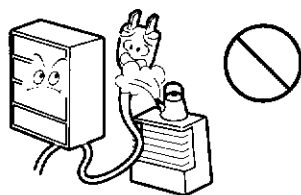
プロジェクションテレビの 裏ふたは外さない

プロジェクションテレビ内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

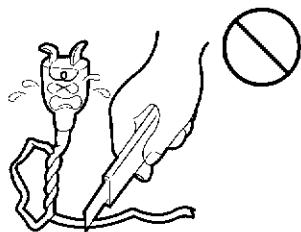


電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。



電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、 アンテナ線や電源プラグに 触れない

感電の原因となります。



プロジェクションテレビを 改造しない

火災・感電の原因となります。



安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告 使用するときの警告

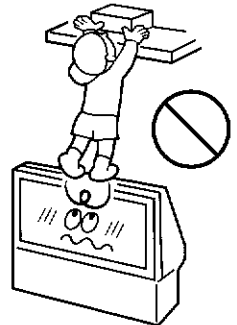
吸気口をふさがない

光源ランプの冷却にファンで空気を取り込んでいます。吸気口をふさいだり、紙、布、柔らかいクッションなどを置かないでください。(吸いついて温度が上昇します。) 内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。また、光源ランプが冷却されないと、光源ランプの寿命を縮めます。



プロジェクションテレビに 乗らない、ぶら下がらない

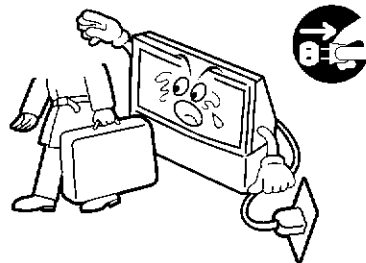
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



⚠ 注意 使用するときの注意

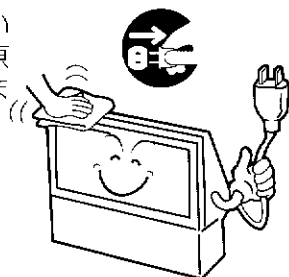
長期間プロジェクション テレビを使用しないときは、 電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



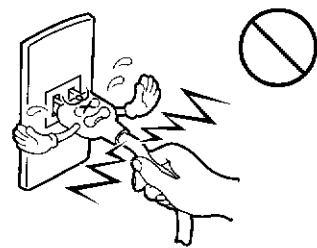
お手入れをするときは 電源コードを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

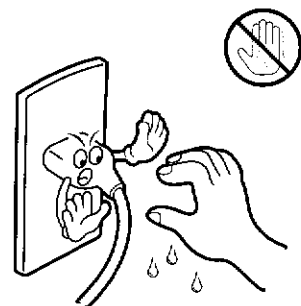


電源コードは電源プラグを 持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷につき、火災・感電の原因となることがあります。



また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



いきなりコンセントから 電源プラグを抜かない

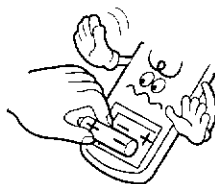
本体正面の電源ボタンまたは、リモコンの電源ボタンを押して電源を切り、必ず、光源ランプのクーリング（冷却）が終了してから電源プラグを抜いてください。
光源ランプのクーリングを行わずに電源プラグを抜くと、光源ランプの寿命を縮めたり、故障の原因となります。



乾電池の使い方に 注意する

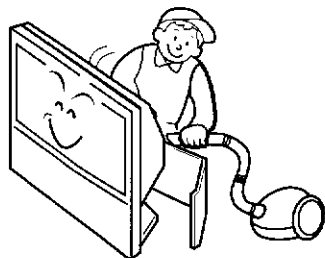
電池は間違った使い方をすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- ・種類の違う電池を混ぜて使わない
- ・電池ケースのプラス（+）とマイナス（-）の表示どおりに入れる
- ・指定された電池以外は使わない



5年に一度はプロジェク ションテレビ内部の掃除を 販売店に依頼する

プロジェクションテレビの内部にホコリがたまったらそのまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



フィルターはこまめに 掃除する

フィルターにホコリがたまると、光源ランプユニットが冷却できずに、内部温度が上昇し、故障の原因となります。フィルターは、こまめに掃除してください。



電源プラグのほこりに 注意する

電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き掃除してください。



安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告 光源ランプ交換時の警告

プロジェクションテレビを使用した直後は光源ランプを交換しない

光源ランプ（ランプユニット）を交換するときは必ず1時間以上の冷却時間をおいてください。使用直後は光源ランプが高温になっており、やけどの原因となります。



光源ランプを交換するときは電源コードをコンセントから抜く

光源ランプ（ランプユニット）を交換するときは電源スイッチを切り、クーリングが終了してから、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを差し込んだまま作業すると、けがや感電の原因となります。



光源ランプは落下させたり、衝撃を与えたりしない

光源ランプ（ランプユニット）は落下させたり、衝撃を与えないでください。特に光源ランプのガラス面には衝撃を与えないでください。落下や衝撃により割れ、けがの原因となります。



⚠ 注意 光源ランプ交換時の注意

光源ランプのガラス面には絶対に素手でさわったり、汚したりしない

光源ランプ（ランプユニット）のガラス面や金属部分（取っ手やネジを除く）には絶対に素手でさわらないでください。手の汚れがつき、光源ランプの寿命が短くなったり、性能が著しく低下したり、ランプが破損して、故障の原因となることがあります。



LED素子の特性について

●静止画像や静止部分のある映像を長時間映さないでください。

LED素子の特性上、静止部分の残像が画面上に一時的に残ります。これは故障ではありません。

残像は時間が経てば消えます。

見る場所（部屋の明るさ）について

●部屋の明るさは

直射日光や照明がスクリーン画面に直接あたらないように、カーテンなどでさえぎってください。より良い映像でご覧いただけます。

●連続して長時間、画面を見ない

連続して長い時間、画面を見ることは目を疲れさせますのでよくありません。ときどき目を休めてください。

スクリーンの取扱いについて

●スクリーンは傷つきやすいので取扱いに気をつけてください。かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

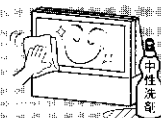
結露について

●暖房の入れはじめや、寒い所から急に暖かい所に移動したときは、ランプやスクリーンに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露した状態でご使用になりますと、映像が歪んで見えたり、スクリーンの内側が汚れる場合があります。このようなときには、結露が無くなるまでご使用をひかえてください。

お手入れのしかた

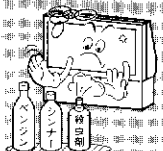
●キャビネットの汚れは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。



●キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

シンナーやベンジンでふかない
殺虫剤など揮発性のものをかけない
ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない
堅い布でふかない
強くふかない



●スクリーンの汚れは

このスクリーンは、静電気防止処理およびコーティング処理がされています。スクリーンが汚れたときは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭いてください。

アルコールを含んでいるもの、アセトンな

どの有機溶剤は使わない

アルカリ洗剤、酸性洗剤は使わない

転倒防止の処置をしてください

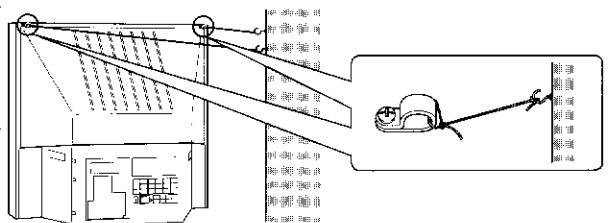
地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、次のような処置をしてください。

製品専用のラックやテレビ台を使用するとき

転倒防止用部品を使って固定してください。詳しくは、ラックやテレビ台の説明書をお読みください。

壁や柱などに固定するとき

テレビ後面左右の転倒防止用クリップを利用し、市販の丈夫なひもなどで結んでください。柱や壁は、確実に固定できる場所を選んでください。



※説明図は実際の外観と異なることがあります。

目次

安全上のご注意

安全上のご注意 2

テレビを見る前に

プロジェクションテレビの備え付けについて 12

プロジェクションテレビを見る前の準備 13

知っておいていただきたいこと 14

各部のなまえ 16

ふだんの使いかた

電源の入れ方 20

正しい電源の切り方 21

プロジェクションテレビを見る 22

便利な機能で楽しむ

メニューボタンの使いかた 24

画面サイズの種類 26

画面サイズを変えるには 27

画面の位置を調節する 28

オートパノラマの画面サイズを設定する 28

2画面にする 29

番組一覧を表示する 30

メモ機能を使う(静止画) 31

見たいところを拡大する 32

映画に最適な画質にする 33

フィルム撮影された映画などをキレイに見る 33

デジタルE.E.機能を使う 34

デジタルE.E.の効果表示をするには 34

本来の解像度で表示する 35

BS放送を録画しながらテレビを見る 35

GRT(ゴースト低減)機能の設定 36

ゲームを楽しむときの便利な機能 37

自己紹介機能を使うには 37

お好みの映像に調節する 38

シアタープロの設定 40

音声を調節する 42

音声を切り換える 43

サラウンドを楽しむ 44

おはようタイマーを設定する 46

おトク設定 47

2つの節電機能をすべて使うには 47

2つの節電機能から選んで使うには 48

テレビの消し忘れを防止する 49

テレビを使いこなす

テレビを
見る前に

ふだんの
使いかた

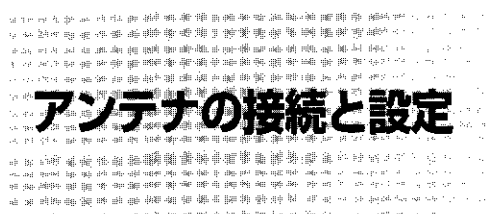
便利な機能
で楽しむ

テレビを使い
こなす

アンテナの
接続と設定

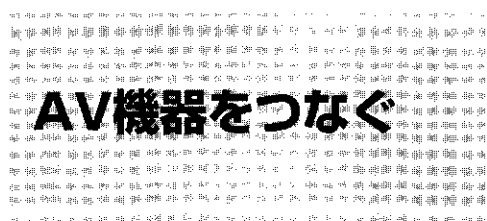
AV機器を
つなぐ

メンテナンス／
こまったときは



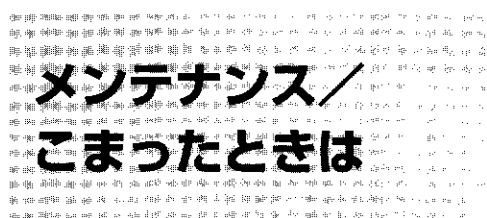
アンテナの接続と設定

アンテナをつなぐ(VHF、UHFアンテナ)	50
コネクターのつなぎかた	51
チャンネルを合わせる	
チャンネル設定の手順	52
地域の放送局を一括して設定する	52
放送局を個別に設定する	54
CATVチャンネルを直接選ぶ	56
CATVチャンネルを設定する	57
BSアンテナをつなぐ	59
BSアンテナを接続するとき	59
BS内蔵のビデオデッキも一緒に接続するとき	59
BS内蔵のビデオデッキ(BSアンテナ出力端子なし) も一緒に接続するとき	60
BSの設定をする	
BSアンテナに電源を供給する	61
BSアンテナの向きを調節する	62
BSチャンネルの設定を変更する	63
時計を設定する	65



AV機器をつなぐ

AV機器などを接続する	
接続できる機器	66
ビデオムービーやテレビゲームを接続する	67
ビデオデッキを接続する	68
BSデコーダーを接続する	69
BSデコーダーとBS内蔵ビデオデッキを接続する	70
BSデジタルチューナーを接続する	71
DVDプレーヤーを接続する	72
D-VHSを接続する	73
アンプ(オーディオシステム)を接続する	74
AVコンピュリンクⅡを接続する	75



メンテナンス／ こまったときは

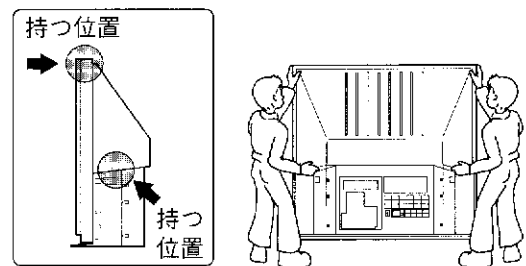
フィルターの掃除	76
光源ランプユニットの交換のしかた	78
故障かな?と思う前に(症状とその原因と対処方法)	82
こんなメッセージが表示されたら	86
保証書とアフターサービス	88
索引	90
用語解説	91
主な仕様	裏表紙

テレビを見る前に

プロジェクションテレビの備え付けについて

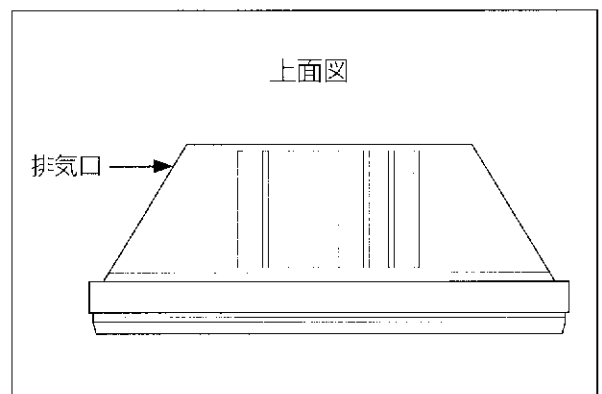
設置と運搬

本機を運ぶときは必ず二人以上で運んでください。右図のように、片方の手はプロジェクションテレビの側面中央の中心を持って、もう片方の手で上部を支えるようにして、運んでください。このときスクリーンに手をあてて運ばないでください。スクリーンに傷が付く場合があります。



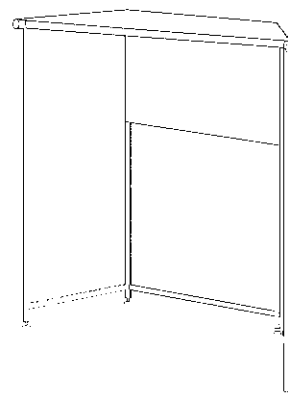
注意 設置するときの注意

本機を設置するときには通風孔や側面の排気口をふさいだりしないでください。火災や故障の原因となります。また、本機を設置するときには、周囲に十分なスペースを確保してください。特に排気口付近は、温風が出て、高温になります。壁に近づけて設置する場合は、壁紙の変色にご注意ください。また、排気口付近に燃えやすいものや機器を置かないでください。火災や故障の原因となります。特に小さいお子様には注意してください。



専用のラックを使用する

別売の専用ラックをご使用になるとインテリアとしても統一され、空間を有効に使うことができます。

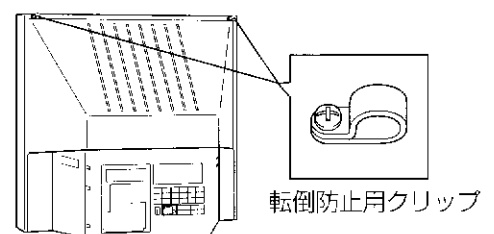


専用ラック(別売)
RK-C50T1

本機の転倒を防ぐために

小さいお子さまが本機を引いたり、押したりすると、本機が倒れる恐れがあります。プロジェクションテレビの設置場所が決まったら、転倒防止用クリップを使って転倒を防いでください。

専用ラック(RK-C50T1)をご使用になるときは本機とラックをラックに付属の4本の長ネジでしっかり固定し、ラック側に付いているフック(転倒防止用クリップ)を使って転倒を防いでください。



テレビを見る前に

プロジェクションテレビを見る前の準備

テレビを
見る前に

次の準備はお済みですか？まだでしたら、参照ページをご覧ください。準備を済ませてください。

1 付属品を確認する

万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。



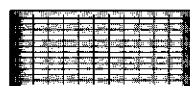
リモコン



単3電池2本
(動作確認用)



アンテナコネクター



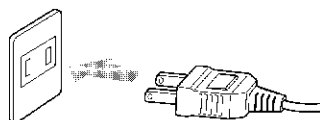
局名シール

2 アンテナをつなぐ

- VHF、UHF アンテナをつなぐには (P.50)
- BS アンテナをつなぐには (P.59)
- CATV ケーブルをつなぐには (CATV 各社
にお問い合わせください。)

3 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込みます。(P.20)



4 リモコンに電池を入れる

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の⊖(マイナス)側を先に入れてください。(詳しくは19ページをご覧ください。)

5 受信チャンネルを合わせる

- チャンネルを一括して設定するには (P.52)
- 放送局をひとつずつ設定するには (P.54)
- CATV を見るには (P.56、57)
- BSチャンネルの設定を変更するには (P.63)

テレビを見る前に

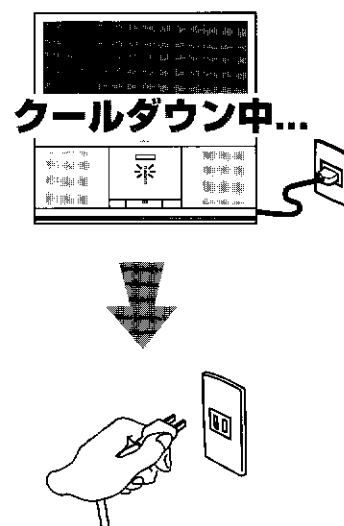
知っておいていただきたいこと

末永くご愛用いただくために

⚠ 注意 電源プラグをいきなり抜かないでください

プロジェクションテレビは、光源ランプを使って映像を表示しています。この光源ランプは、使用中非常に高温になるためファンを使って冷やしています。電源を切った後も、しばらくファンが回り、光源ランプを冷やします。

電源を切らずにいきなり電源プラグをコンセントから抜くと、光源ランプの冷却がおこなえなくなります。ランプにストレスがかかり、光源ランプの寿命を縮めたり、故障の原因になりますので、必ず、電源ボタンを押して、電源を切り、光源ランプの冷却を行ってから、電源プラグを抜いてください。（※P.21）



⚠ 注意 フィルターの掃除は、こまめにおこなってください

プロジェクションテレビは、ファンを使って光源ランプに空気を送り、冷やしています。しかし、フィルターにほこりが付き、空気が送れなくなると、光源ランプを冷やすことができません、故障の原因になります。

3ヶ月に1回は、フィルターを掃除しましょう！また、ほこりが多いところでは、3ヶ月にならなくても、こまめに確認し、フィルターを掃除してください。（※P.76）

- 本機は、フィルターの掃除を促すためにメッセージを約3ヶ月に1度画面に表示します。フィルターの掃除の有無に関わらず、電源を入れたときに表示しますので、あらかじめご了承ください。

無駄を抑え、より良い映像でお楽しみいただくために ～設定・調節のアドバイス～

プロジェクションテレビの絵が明るすぎたり、ざらついたりしていませんか？
このプロジェクションテレビのお買い上げ時の設定は、メリハリのきいた絵になっています。ご家庭の環境に適した映像や電気の節約をするために以下の3つの設定、調節をされることをおすすめします。

1 映像選択を選びましょう (P.38)

ふだんは「スタンダード」でご覧になるのをおすすめします。

お買い上げ時の設定は「ダイナミック」になっています。
映画をご覧になるときは「シアター」、ゲームを楽しむときは「ゲーム」をお選びください。

2 節電機能を設定しましょう (P.47)

ふだんはおトク機能を「すべて設定する」にしてご使用になることをおすすめします。
2つの節電機能がはたらきます。

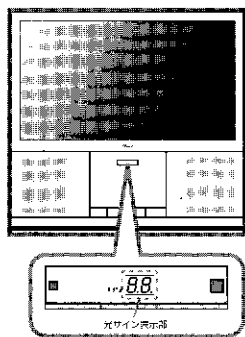
●お買い上げ時の設定は「設定しない」になっています。

3 画面がざらついて見えるときは映像調節をしましょう (P.39)

映像調節の「ノイズクリア」を調節します。(P.39)

「光サインディスプレイ」をご紹介します

このプロジェクションテレビには、チャンネル番号やビデオ入力の表示以外に、いくつかの設定を光の動きでお知らせする機能を持っています。その表示内容をご紹介します。



音場効果が効くように設定したとき

|| → ||| → | | → 消灯 → 3 チャンネル表示
になります

ナチュラルシネマを使ったとき (3回繰り返されます)

| → E → 8 → 8| → 8E → 88 → 消灯 → 3 チャンネル表示
になります

デジタルE.E.の効果表示を「表示する」に設定したとき

EE → 消灯 → EE → 消灯 → 3 チャンネル表示
になります

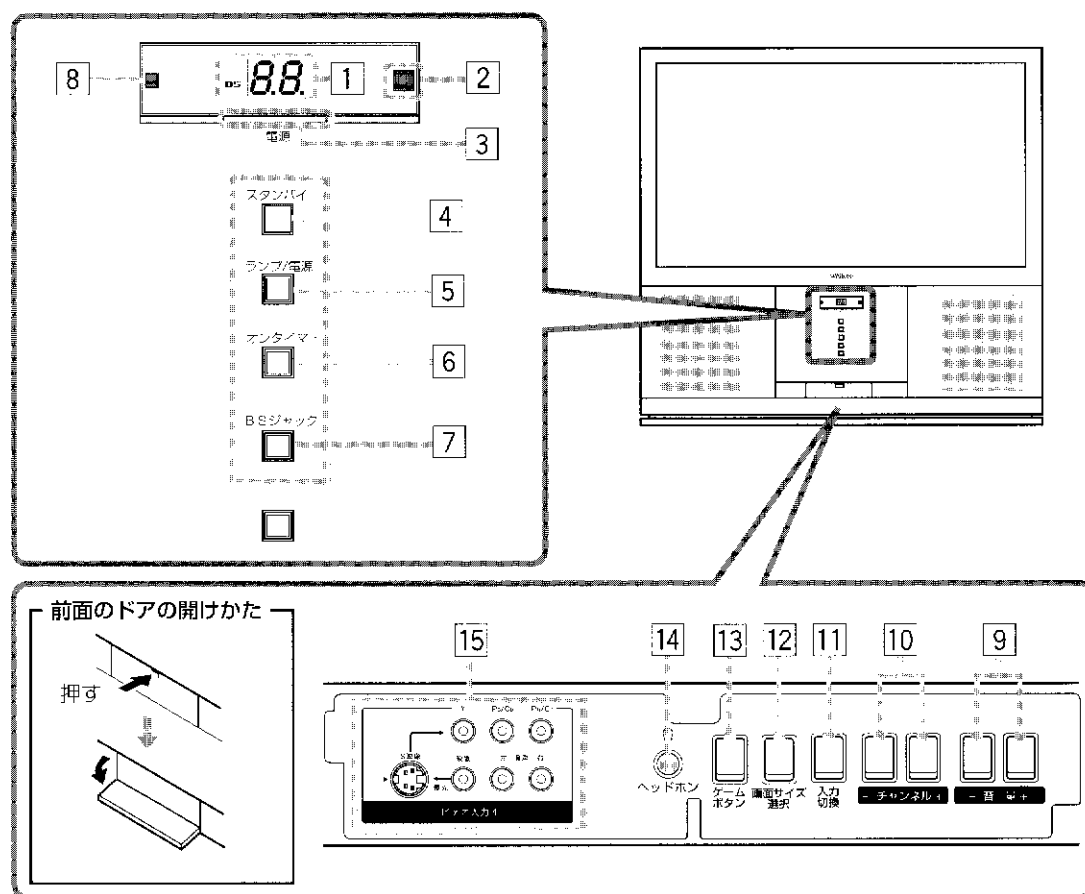
GRT (ゴースト低減) 機能を使ったとき (3回繰り返されます)

,, → ' ' → - - → ' ' → ,, → - - → 消灯 → 3
チャンネル表示
になります

●この機能を使うには、画面表示の設定を「光サイン」にします。(23ページ)

テレビを見る前に 各部のなまえ

本体前面



1 チャンネル表示部 22ページ

受信しているチャンネル番号が表示されます。(画面表示の設定が「光サイン」のとき 15、23ページ)
BSチャンネルを選局するとチャンネル表示部横の「BS」の文字が点灯します。

2 リモコン受光部

リモコンを操作するときは、リモコンの先端をここに向けます。

3 電源ボタン 20、21ページ

電源を入／切します。

4 スタンバイランプ

コンセントに電源プラグを差し込んだ待機状態のときと光源ランプのクーリング処理のときに、赤く点灯します。プロジェクションテレビの電源が入ると消えます。

5 ランプ／電源ランプ 20、21ページ

電源を入れると、緑色に点灯します。
・光源ランプの点灯処理中と光源ランプのクーリング処理中は、点滅でお知らせします。

6 オンタイマーランプ 46ページ

「おはようタイマー」を設定しているとき橙色に点灯します。

7 BSジャックランプ 68ページ

BSジャック中に緑色に点灯します。

8 E.E. センサー 34ページ

デジタルE.E.機能のためのセンサーです。周囲の明るさを感じ取る部分です。

9 音量＋／－ボタン 22ページ

音量を変えるときに使用します。

10 チャンネル＋／－ボタン 22ページ

チャンネルを変えるときに使用します。

11 入力切替ボタン 23ページ

ビデオ機器の映像を見るときに使用します。ご覧になりたい機器を接続しているビデオ入力端子の番号を選びます。

12 画面サイズ選択ボタン 26ページ

画面サイズを変更するときに使用します。

13 ゲームボタン 37ページ

ゲーム機器に本機をつないで楽しむときに押します。

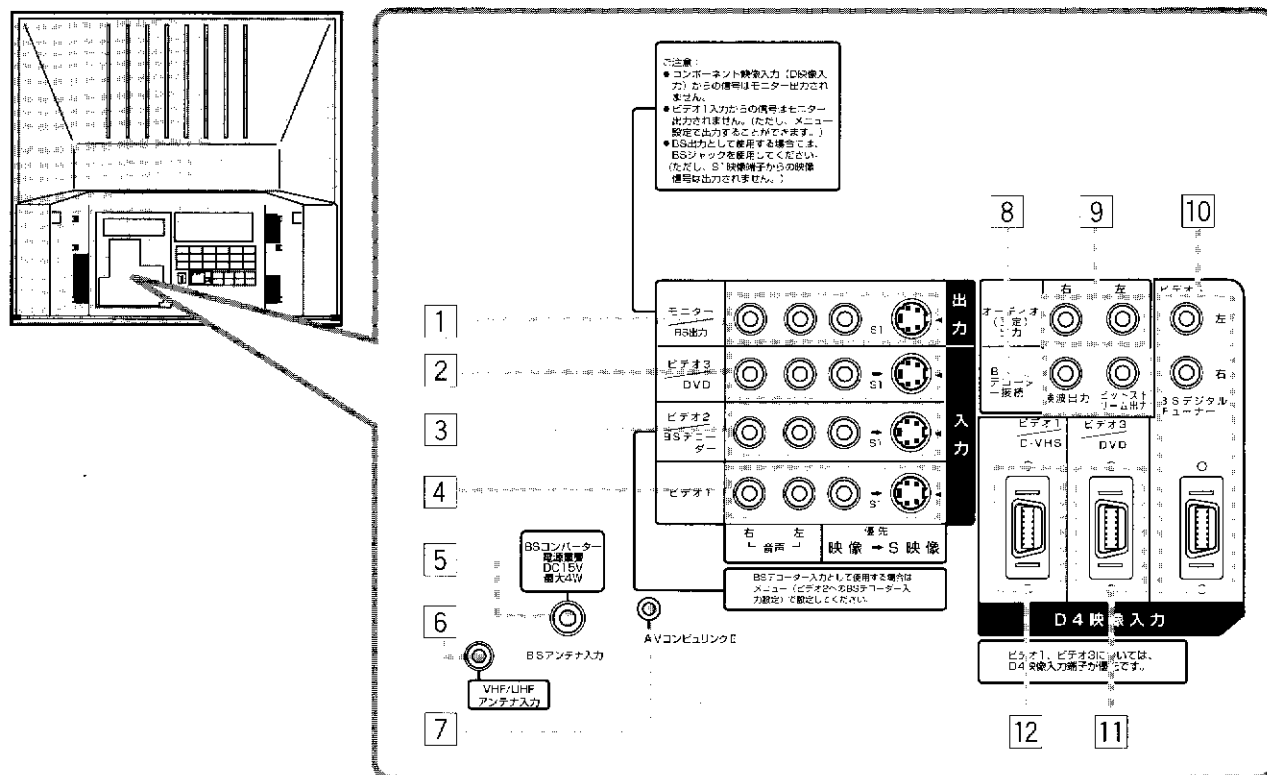
14 ヘッドホン端子

ヘッドホンをつなぎます。

15 ビデオ4入力端子 67ページ

ビデオムービーやテレビゲーム機とつなぎます。(コンポーネント端子(Y、PB/CB、PR/CR)とS映像端子と映像端子が同時に使われたときは、コンポーネント端子からのY、PB/CB、PR/CR信号が一番に優先され、次にS映像端子の入力信号が優先されます)

本体後面



- 1 **モニター／BS出力端子** 68ページ
プロジェクションテレビに映っている映像・音声を出力したり（モニター出力）、BSだけの映像・音声を出力（BS出力）します。
●BSジャック機能によりモニター出力端子か、BS出力端子かを選ぶことができます。このとき、BSの映像信号はS映像端子からは出力されません。
●D4入力（ビデオ1、3、5）端子やY、PB/Cb、PR/Cr端子から入力した映像信号は、モニター出力端子からは出力されません。
●番組一覧中は、モニター出力端子からは出力されません。
- 2 **ビデオ3／DVD入力端子** 72ページ
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
（S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます）
- 3 **ビデオ2／BSデコーダー入力端子** 69ページ
ビデオデッキまたはBSデコーダーの映像・音声出力端子をつなぎます。
●メニューの設定により、ビデオ2入力端子か、BSデコーダー入力端子かを選ぶことができます。
（S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます）
- 4 **ビデオ1入力端子** 68、70ページ
ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。（S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます）
- 5 **BSアンテナ入力端子** 60ページ
BSアンテナをつなぎます。

- 6 **VHF／UHFアンテナ入力端子** 50ページ
VHF、UHFのアンテナをつなぎます。
- 7 **AVコンピュリンク II 端子** 75ページ
AVコンピュリンク II 対応のビデオ機器をつなぎます。
●この端子を使うときは、メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンク II 端子」を「使用する」に設定してください。
- 8 **BSデコーダー接続端子** 69ページ
BSデコーダーのビットストリーム入力端子と検波入力端子をつなぎます。
- 9 **オーディオ出力（固定）端子** 74ページ
AVアンプなどの音声入力端子をつなぎます。
- 10 **ビデオ5/BSデジタルチューナー：D4映像入力端子** 71ページ
BSデジタルチューナーのD端子をつなぎます。音声入力端子には、ビデオ5/BSデジタルチューナー端子に接続した機器の音声出力端子をつなぎます。
- 11 **ビデオ3/DVD：D4映像入力端子** 72ページ
DVDプレーヤーなどのD端子をもった機器をつなぎます。
●この入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ3/DVD入力に入力されたS映像信号や映像信号より優先されます。
- 12 **ビデオ1/D-VHS：D4映像入力端子** 73ページ
D-VHSデッキなどのD端子をもった機器をつなぎます。
●D4入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ1入力に入力されるS映像信号や映像信号より優先されます。

テレビを見る前に 各部のなまえ (つづき)

リモコン

■ふたを開じたところ

送信部

プロジェクションテレビのリモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押してください。

1 操作ランプ

リモコンを操作すると点滅します。ランプが暗くなり、操作がしにくくなったら電池を交換してください。

2 オフタイマーボタン

一定時間後に電源を切りたいときに使います。
※ 23 ページ

3 画面表示ボタン

チャンネル番号を画面に表示させたいときに使います。
※ 23 ページ

4 メニューボタン

押すとメニューが表示されます。
※ 24 ページ

5 どこでもズームボタン

画面の好きな部分を拡大することができます。
※ 32 ページ

6 BSチャンネルボタン

BS放送のチャンネルを選ぶときに使います。
※ 22 ページ

7 チャンネルボタン

VHF、UHF、CATV放送のチャンネルを選ぶときに使います。
※ 22 ページ

8 チャンネル+/- ボタン

チャンネルを変えるときに使います。
※ 22 ページ

9 電源ボタン

電源を入/切します。
※ 22 ページ

10 画面入換ボタン

2画面表示しているときに画面の左右を入れ換えるときに使います。
※ 29 ページ

11 静止ボタン

押すと2画面に切り換わり、右側の画面は静止画になります。
※ 31 ページ

12 マルチボタン

押すとマルチ画面アイコン (2画面、番組一覧) が表示されます。
※ 29 ページ

13 戻るボタン

前のメニュー画面に戻りたいときに押します。

14 カーソル (◀/▶/▼/▲) ボタン

メニューの項目を選ぶときや、設定を変えるときに使います。

15 入力切換ボタン

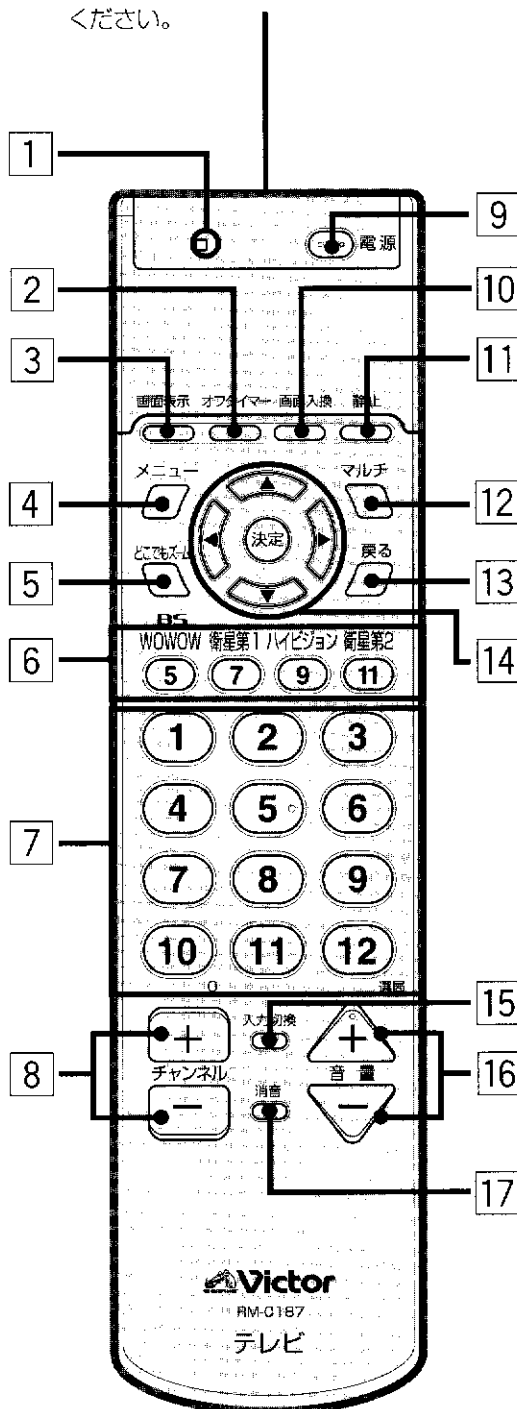
ビデオ機器の映像を見るときに使います。ご覧になりたい機器を接続しているビデオ入力端子の番号を選びます。
※ 23 ページ

16 音量+/- ボタン

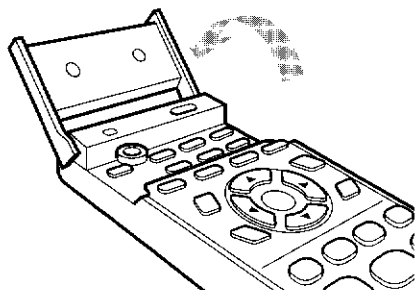
音量を調節するときに使います。
※ 22 ページ

17 消音ボタン

急いで音を消すときに使います。
※ 23 ページ



ふたの開けかた



● ふたを閉めるときは

ふたを閉めるときには、「カチッ」と音がするまで閉めてください。

ふたが閉まっていないとボタンが正しく働かないことがあります。

■ ふたを開けたところ

18 GRT ボタン

ご覧になっているチャンネルのGRT（ゴースト低減）設定を変更することができます。

☞ 36ページ

19 E.E. センサーボタン

デジタルE.E. センサー機能の設定を変更することができます。

☞ 34ページ

20 音場効果ボタン

音場効果を高めたいときに押します。

☞ 44ページ

21 映画ボタン

映画番組や映画ソフトを見るときに使います。

☞ 33ページ

22 BSボタン

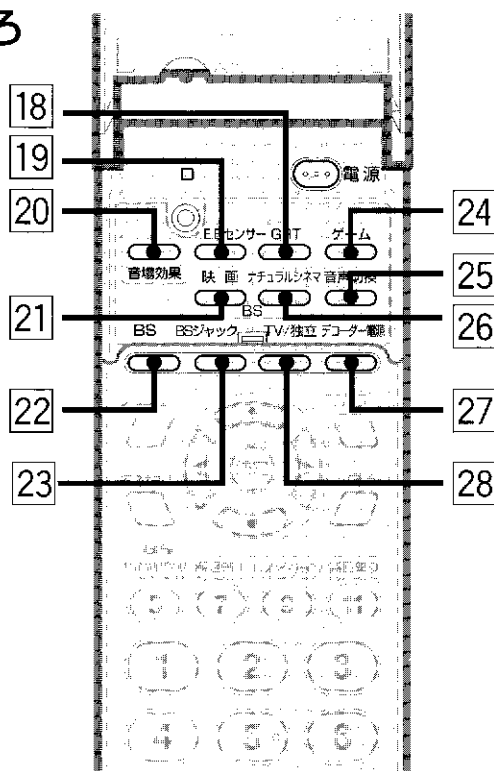
チャンネルボタン（1～9、0（10））でBSチャンネルを選ぶときに使います。

☞ 64ページ

23 BSジャックボタン

BS放送を録画するときに使います。

☞ 35ページ



24 ゲームボタン

ゲーム機器を本機につないで楽しむときに押します。

☞ 37ページ

25 音声切換ボタン

二重音声放送やステレオ放送の音声を選ぶときに使います。

☞ 43ページ

26 ナチュラルシネマボタン

映画番組や映画ソフトまたは、アニメーションなどを見るときに使います。

☞ 33ページ

27 デコーダー電源ボタン

BSデコーダーの電源を入/切することができます。

☞ 69ページ

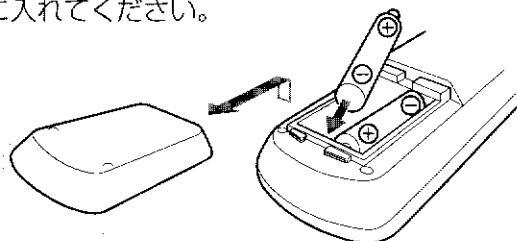
28 TV/独立ボタン

BS放送の独立音声を聞きたいときに使います。

☞ 43ページ

電池の入れかた

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の⊖（マイナス）側を先に入れてください。

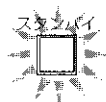


- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 長期間使用しないときは取り出しておいてください。
- 電池はふつうの使いかたで、6か月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなることがあります。操作しにくくなったら交換してください。

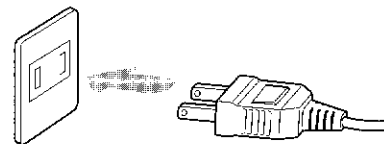
ふだんの使いかた 電源の入れ方

1 電源プラグをコンセントに差し込む

スタンバイランプが点灯し、待機状態になります。



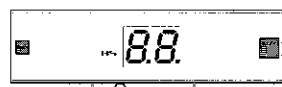
注意： プロジェクションテレビは、消費電力が大きいので、AV機器に付いている電源コンセントなどは使用しないでください。必ず、直接壁からのコンセントに電源プラグを差してご使用ください。



2 電源を入れる

本体の電源ボタンまたは、リモコンの電源ボタンを押します。

本体

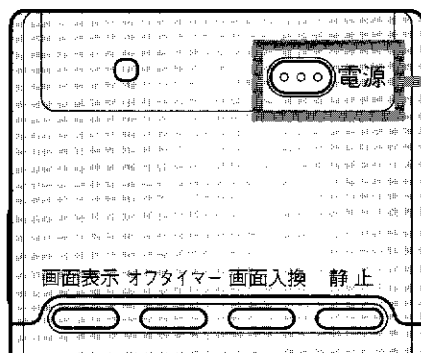


または

リモコン

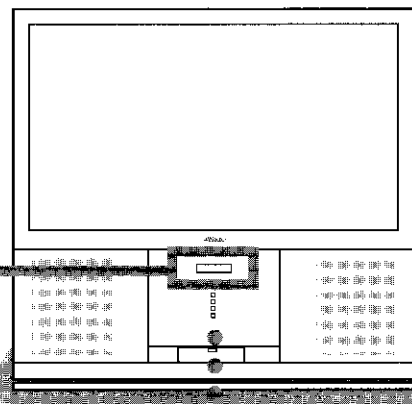


注意： 電源ボタンを押してから映像が現れるまで、少し時間がかかります。



リモコン

電源ボタン



電源を入れるときのポイント

プロジェクションテレビの電源ボタンを押してから、映像が現れるまでには、少し時間がかかります。

これは、光源ランプが暖まるのに時間がかかるためです。電源ボタンを押すと、光源ランプが点灯するまでの間は、本体正面の「ランプ/電源ランプ」が点滅をします。光源ランプが点灯すると、「ランプ/電源ランプ」は点滅から点灯状態に変わります。映像は、光源ランプが温まるにつれて段階的に明るくなります。

光源ランプのクーリング（冷却）を行っているときは、キー操作を受け付けません。（約1分）（※次ページ）

クーリング中は、キー操作を受け付けません。電源を再度入れたいときは、クーリングが終わってから電源ボタンを押してください。

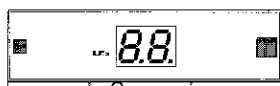
ふだんの使いかた 正しい電源の切り方

ふだんの
使いかた

1 電源を切る

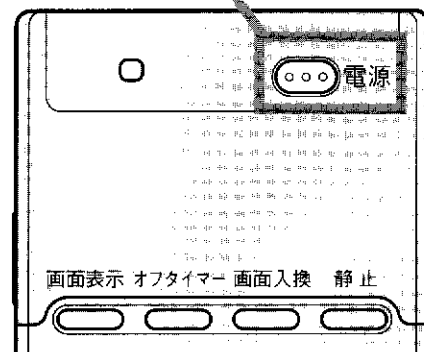
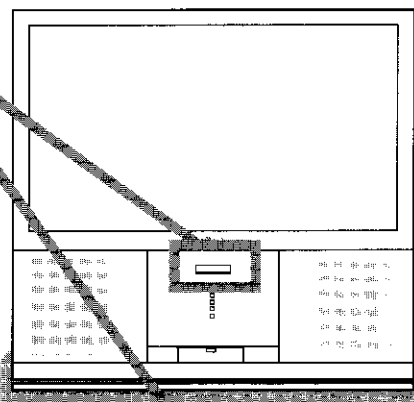
本体の電源ボタンまたは、リモコンの電源ボタンを押します。

本体



または

リモコン



電源「切り」の操作をキャンセルしたいとき

電源ボタンを押してから約5秒以内に再度電源ボタンを押します。電源「切り」の操作をキャンセルすることができます。

光源ランプのクーリング動作に入ります

本体前面のランプ / 電源ランプが約 1 分間点滅します。

このとき、光源ランプのクーリングを行っています。



- クーリング中は、キー操作を受けつけなくなります。約1分間のクーリング後、電源が切れます。

⚠ 注意 いきなり電源プラグは抜かない

電源を切るとき、いきなり電源プラグをコンセントから抜かないでください。

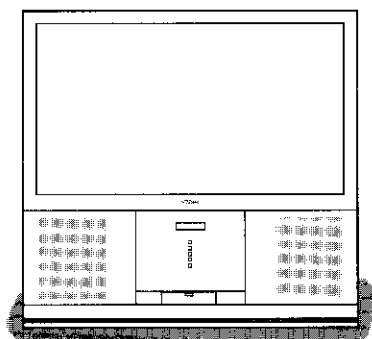
光源ランプのクーリングができなくなります。光源ランプは、使用中とても高温になります。

クーリングを行わずに電源を切ると光源ランプに負担をかけ、光源ランプの寿命を縮めます。より長くご使用いただくために、必ず電源ボタンで電源を切り、クーリングを行ってください。

ふだんの使いかた

プロジェクションテレビを見る

この取扱説明書ではリモコンを使っでの操作を説明しています。
プロジェクションテレビ本体にある同じ名前のボタンでもリモコンと同じように操作
できます。



1 電源を入れる



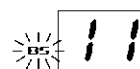
●詳しくは、20ページをご覧ください。

2 チャンネルを選ぶ

チャンネルボタンまたはチャンネル+/-ボタンを使って
チャンネルを選びます。選んだチャンネルが本体チャンネル
表示部または画面に表示されます。



画面表示



本体チャンネル表示部

●BSチャンネルを選局したときは、チャンネル表示部横の
BSの文字が点灯します。

3 音量を調節する

音量ボタンを押すと、画面に音量が表示されます。



電源を切るには



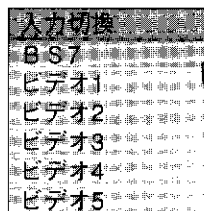
●詳しくは、21ページをご覧ください。

このテレビではBS9チャンネルのハイビジョン放送を
受信することはできません

●「CATV選局方式の選択」で「数字入力方式」に設定して
いるときは、チャンネルを2桁の数字で入力して選びま
す。56ページをお読みください。

ビデオなどの映像を見るには

入力切換



選択中の設定が矢印で示されます。

押すたびに、入力が次のように切り換わります。

「テレビ(VHF/UHF/CATV/BS)」→「ビデオ1」→「ビデオ2」→「ビデオ3」→「ビデオ4」→「ビデオ5」*→「テレビ」→…。

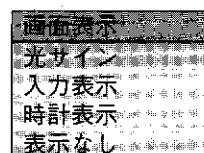
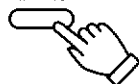
設定メニューの「各種設定」で「ビデオ2へのBSデコーダー入力」(P.69)が「自動切替する」または「常に使用する」になっているときは、「ビデオ2」は選べません。

*ビデオ5を見るには

本機には3系統のD端子(ビデオ1、3、5)が用意されています。このうちビデオ5はD端子入力専用となっているので、D端子が接続されていないと選ぶことができません。

いろいろな表示を出すには

画面表示



選択中の設定が矢印で示されます。

押すと画面表示メニューが表示されます。

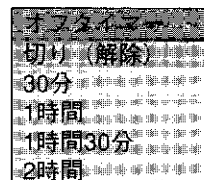
選んだ設定により画面や本体チャンネル表示部の表示が変わります。

- 光サイン…本体チャンネル表示部にチャンネル番号やビデオ入力名が表示されるようになります。
- 入力表示…画面右上にチャンネル番号やビデオ入力名が表示されるようになります。
- 時計表示…画面右下に時計が表示されるようになります。
- 表示なし…チャンネルを変えたときや外部入力に切り換えたとき、一定時間チャンネル番号や外部入力が表示されたあと消えます。

無信号状態のときは、画面上の表示を消すことはできません。

おやすみタイマーを使う (オフタイマー機能)

オフタイマー



選択中の設定が矢印で示されます。

プロジェクションテレビを見ながら寝てしまいそうなとき使います。設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

残り時間表示

残り時間はテレビの操作をすると消えます。ただし、動作3分前になると、残り時間が強制的に表示されます。

再設定あるいは解除するには

オフタイマーボタンを押し、設定時間を表示してから、時間を選び直してください。

1度押すと、設定画面を表示します。その後押すたびに、設定時間が変わります。設定後、画面に残り時間が表示されます。

急いで音を消すには

消音



電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。

もう1度押すと、元の音量に戻ります。

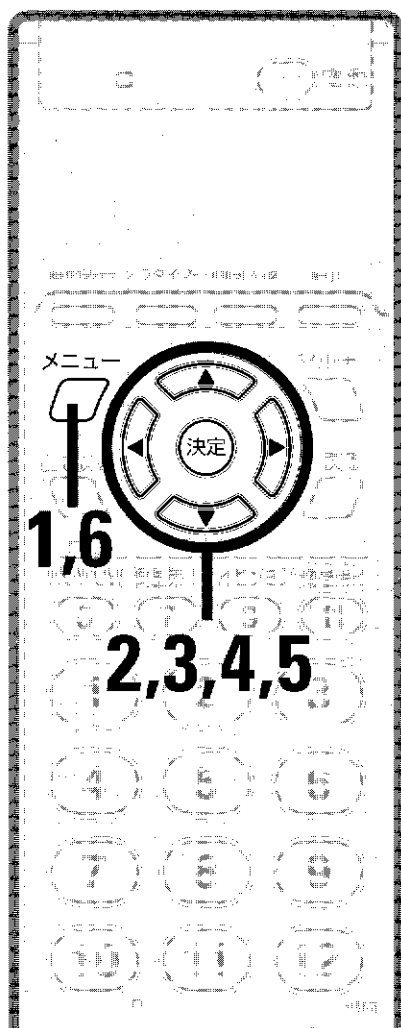
ふだん使いたいの

便利な機能で楽しむ

メニューボタンの使いかた

このテレビではリモコンを使って「メニュー」と呼ばれる画面上の表示と対話しながら操作（設定や調整など）をおこないます。

ここでは、メニューの基本的な使いかたを説明します。



1

メニューボタンを押す

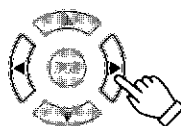
画面にメニューが表示されます。(画面は右ページのいずれかが表示されます)

メニュー



2

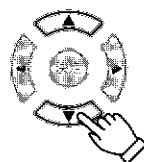
カーソルボタン(◀▶)を押して、設定したい項目を選ぶ



メニュー画面上部の $\mathbb{R}$ が移動して、表示されるメニューの設定項目が変わります。表示されるメニューについては右ページをご覧ください。

3

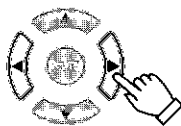
カーソルボタン(▲▼)を押して、調節や設定をしたい項目を選ぶ



$\mathbb{R}$ を調節や設定したい項目に移動します。

4

カーソルボタン(◀▶)を押して、設定を変更する



選ばれた項目の設定が変わります。

5

決定ボタンを押す

変更した内容が記憶されます。

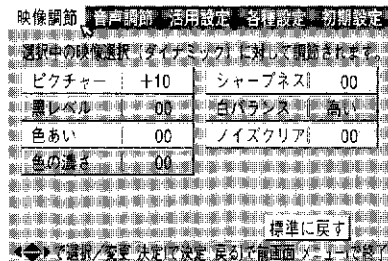


6

メニューボタンを押して終了する

画面からメニューが消えます。

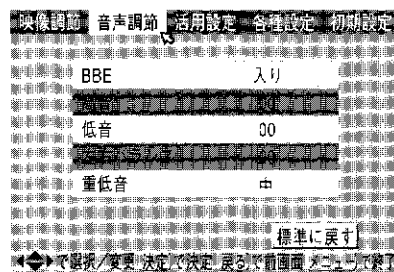
映像調節



肌の色合いや色の濃さなどを調整したいときに使います。

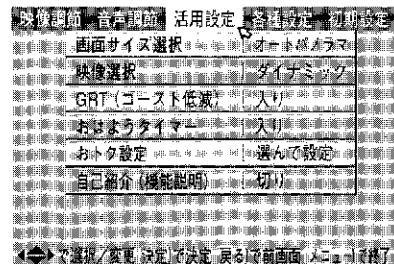
映像選択が「シアター」のときは、ノイズクリアの下に「シアタープロ設定」が表示され、細かな設定ができるようになります。

音声調節



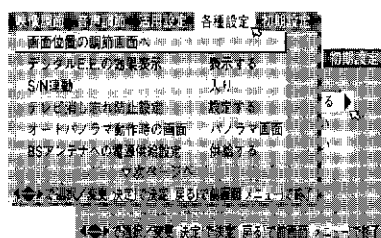
音声の調節（高音、低音、左右のバランスなど）をしたいときに使います。

活用設定



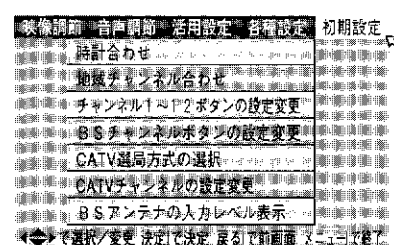
画面サイズを変えたり、ご覧になるソフトに合わせて映像の設定を変えたり、省電力機能を使いたいときに使います。

各種設定



活用設定や初期設定の補助的なメニューで、2ページで構成されています。必要に応じて使います。

初期設定



プロジェクションテレビを設置するときに、プロジェクションテレビ本体の内蔵時計を合わせたり、チャンネルの設定をするときに使います。

便利な機能
で楽しむ

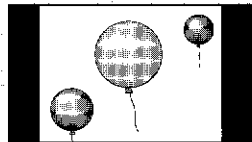
便利な機能で楽しむ 画面サイズの種類

ご自分の好みやご覧の番組に適した画面サイズで映像をお楽しみください。

ノーマル

●テレビ番組をオリジナルのサイズで映す

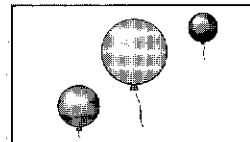
従来のテレビの映像は、縦と横の比率が4:3となっています。この映像をオリジナルのサイズで映します。このとき、左右に黒い帯が残ります。



シネマ

●映画番組を見るとき

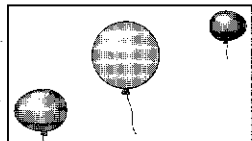
劇場サイズの映画番組や映画ソフトを黒い帯が見えないように拡大します。映像によっては黒い帯が残ることがあります。



パノラマ

●テレビ番組を横幅にあわせて拡大する

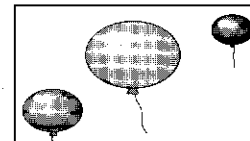
従来のテレビの映像(4:3)を、不自然に見えないように、横長の画面いっぱいに拡大します。



フル

●テレビ番組を画面いっぱいに拡大する

従来のテレビの映像(4:3)を、そのまま画面いっぱいに映します。



字幕パノラマ

●字幕入りの映画番組を見るとき

映画番組などで画面下側に字幕の入った部分を圧縮して、字幕が切れないようにします。



著作権の侵害について

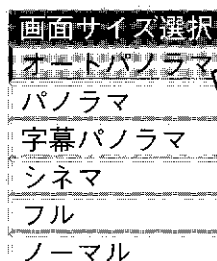
プロジェクションテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ選択機能(パノラマ)等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

「ノーマルサイズ」ご使用時の注意

長期間「ノーマル」サイズでご覧になると、画面左右に帯が残る「焼きつき」が発生しやすくなります。また非常に明るい映像でご覧になると、さらに焼きつきが発生しやすくなります。

画面サイズを変えるときは、ご覧になっている入力に合わせて一覧が表示されます。

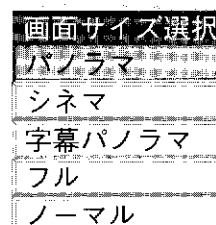
■ふつうの放送やビデオなど (NTSC)



■ハイビジョン (D4入力)*



■プログレッシブ (D4入力)*



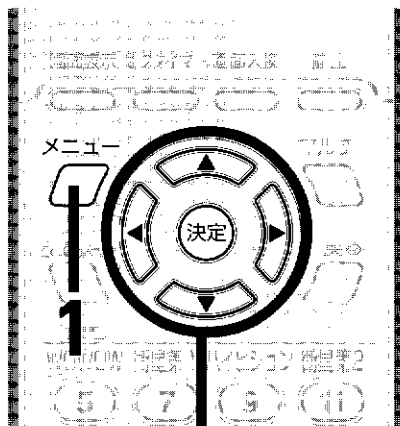
■750pの映像信号を表示しているときは、画面サイズは「フル」に固定されます。

(*「用語解説」※P.91)

便利な機能で楽しむ

画面サイズを変えるには

ご覧になっている映画や番組に合わせて、最適な画面サイズを選びます。



2,3

本体のボタンで操作するときは

画面サイズ選択ボタンを繰り返し押します。
1度押すと、現在の設定を表示します。その後押すたびに画面サイズが切り換わります。

こんなときは？

「オートパノラマ」のときは…

「パノラマ」(または「ノーマル」)、「シネマ」
「字幕パノラマ」の中から最適な画面サイズ
が自動的に設定されます。

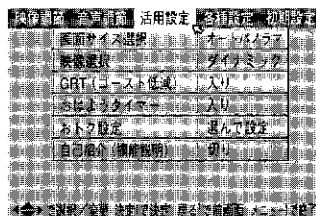
- 「パノラマ」サイズになるか「ノーマル」サイズになるかは、設定によります。くわしくは「オートパノラマの画面サイズを設定する」(※ P.28)をご覧ください。
- 黒帯のある映画や暗い映像では、判別のために数秒間時間がかかることがあります。
- 暗いシーンなど、映像によっては動作しないことや、途中で画面サイズが切り換わることがあります。このときは、「オートパノラマ」以外の画面サイズを選んでください。画面サイズが固定されます。

ワイドクリアビジョン放送*を受信すると…

画面サイズは自動的に「シネマ」に切り換わります。(*「用語解説」※ P.91)

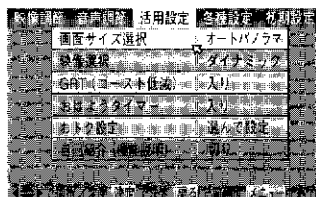
1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ



2

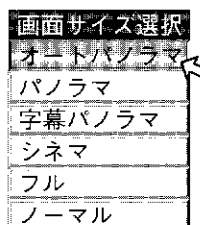
カーソルボタン(▲▼)で、「画面サイズ選択」を選ぶ



3

カーソルボタン(▲▼)でお好みの画面サイズを選ぶ

ご覧になっている放送やお使いの外部入力端子により、選ぶことのできる画面サイズが表示されます。



(例:ふだんの放送のとき)

選んだ画面サイズに切り換わります。

便利な機能
で楽しむ

選んでから

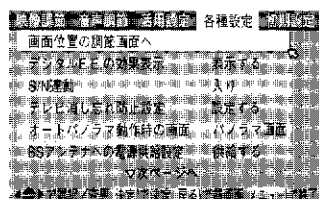


画面の位置を調節する

映画の字幕が隠れてしまうときなどに、画面の位置を調節します。

1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

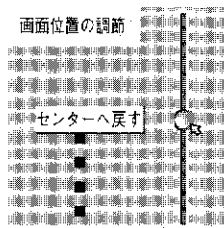
2 カーソルボタン(▲▼)を押して「画面位置の調節画面へ」を選ぶ



選んでから

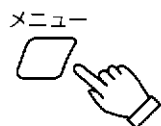


3 カーソルボタン(▲▼)で画面の位置を調節する



センターに戻したいときには、カーソルボタン(◀)で「センターへ戻す」を選んで「決定」ボタンを押す

4 メニューボタンを押して終了する



注意！

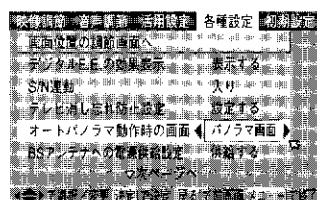
- 「ノーマル画面サイズ」でご覧になっているときは、画面の位置調節はできません。
- 画面サイズを切り換えると、画面位置の設定は解除されます。

オートパンoramaの画面サイズを設定する

オートパンoramaのとき、画面サイズ4:3の映像を、自動的に画面いっぱい拡大して映すか、画面サイズ4:3の映像で映すかを設定します。

1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

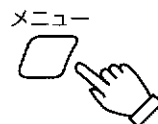
2 カーソルボタン(▲▼)を押してを「オートパンorama動作時の画面」に合わせる



3 カーソルボタン(◀▶)で設定を変更する

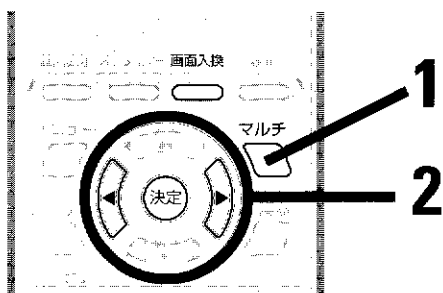
- 「ノーマル画面」：
従来(テレビサイズ)のときは、画面サイズが4:3の画面になります。パノラマ画面での映像の変形が気になる方はこちらを選びます。
- 「パノラマ画面」：
画面いっぱいの映像になります。

4 メニューボタンを押して終了する



便利な機能で楽しむ 2画面にする

2つの映像を同時に楽しむことができます。



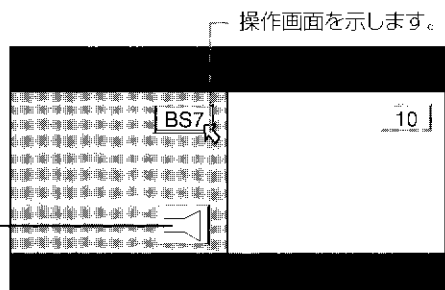
1 マルチボタンを押し、画面下に選択表示を出す



2 カーソルボタン(◀▶)でを「2画面」に合わせて、決定ボタンを押し

2画面表示になります。

2画面のときは、操作画面の音声スピーカーから聞こえてきます。



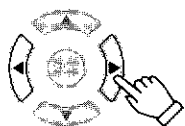
左右の画面を入れ換えるには

画面入換ボタンを押すたびに左右の画面が入れ換わります。操作画面の音声スピーカーから聞こえます。



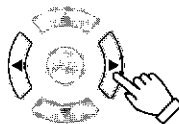
操作画面を変えるには

2画面にしたときは、左画面が操作画面になっています。操作画面を変えるにはカーソルボタン(◀▶)を押します。音声は操作画面の音声スピーカーから聞こえてきます。

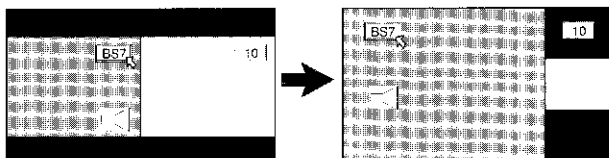


操作画面を拡大するには

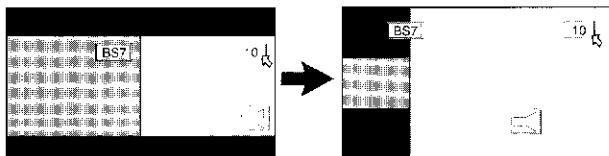
2画面中にカーソルボタンを押すと操作画面が大きくなります。



● 左画面を操作画面にして、カーソルボタン(◀)を押します。



● 右画面を操作画面にして、カーソルボタン(▶)を押します。



750pの映像は、拡大表示できません。

1画面に戻すには

2画面中に決定ボタンを押します。操作画面の映像が1画面になります。

● 次の方法でも1画面に戻せます。

1. 2画面中にマルチボタンを押し、マルチアイコンを表示する。
2. 矢印が「1画面」に合っていることを確認して、決定ボタンを押す。

こんなときは？

2画面中にヘッドホンをつなぐと…

スピーカーからは左画面の音声、ヘッドホンからは右画面の音声聞こえてきます。(ヘッドホンからのテレビ放送の音声はモノラル音声になります)

● ヘッドホンを接続中に2画面にすると、右画面の音声はスピーカーから聞こえなくなります。

左画面の音声を聞きたいときは、画面入換ボタンを押して右画面にしてから音量+/−ボタンを押し、音量を上げてください。

次のような2画面表示はできません。

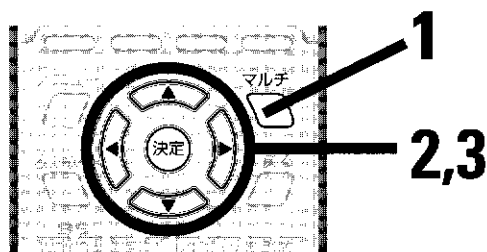
- 左右の画面に同じビデオ入力の映像を映す。
- 左右の画面に異なるビデオ入力の映像を映す。(ビデオ4は除く)
- 右画面にD4映像入力の映像を映す。
- 本機で受信したVHF/UHF/CATV放送を左右の画面で同時に見る。
- 左右の画面で同時にBS放送を見る。

2画面中はオートパンorama(※ P.27)は使えません。

便利な機能
で楽しむ

番組一覧を表示する

番組一覧アイコンは現在放送されている番組を順番に分割画面に表示します。
番組を選ぶときに使います。

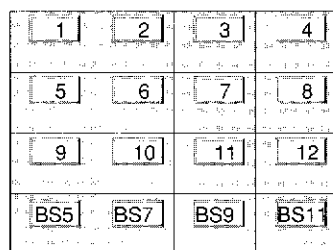


1 マルチボタンを押し、画面下に選択表示を出す



2 カーソルボタンで「番組一覧」に合わせ、決定ボタンを押し

画面が(9、12または16)分割されて、番組が静止画で映ります。(最初の表示中は音声は聞こえません。)



受信できる放送局が16以上あるときは、カーソルボタン(◀▶▲▼)を使って、番組一覧の続きを見ることができます。

- 一通り分割表示が終わると、左上の画面から順番に、数秒間ずつ動画が再生されます。(このときは音声も聞こえます。)

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して▼を見たい番組に合わせ、決定ボタンを押す

選んだチャンネルが1画面で表示されます。

- カーソルボタン(◀▶▲▼)を長押しすると素早く番組を選ぶことができます。

BSジャック中は

BSチャンネルは、BSジャックしているチャンネルだけが表示されます。他のチャンネルは表示されません。

表示されないチャンネル

番組一覧で表示できるチャンネルは、チャンネル+/ーボタンで選局できるチャンネルです。

チャンネル+/ーボタンで選局できないチャンネルは表示されません。

番組一覧中にできない操作

次のボタンまたは機能は操作できません。

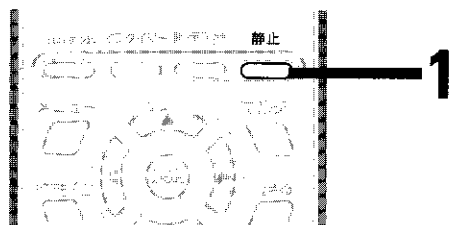
- ・ オートパノラマ機能
- ・ 映画ボタン、ナチュラルシネマボタン、音声切換ボタン、静止ボタン、画面入換ボタン、オフタイマーボタン、チャンネル+/ーボタン、BSジャックボタン、入力切換ボタン、どこでもズームボタン

メモ機能を使う (静止画)

今見ている映像を静止画面で見ることができます。

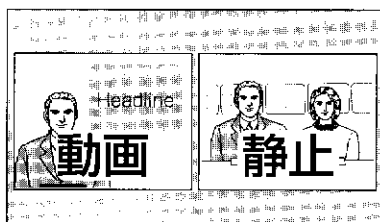
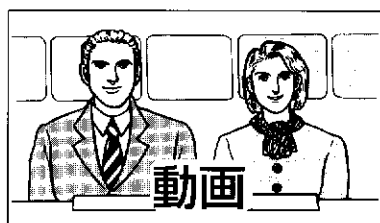
応募先の住所などをメモするときに便利です。

同時に今まで見ていた番組も楽しめます。



便利な機能
で楽しむ

1 静止させたい場面で静止ボタンを押す



※もとの画面に戻すには、もう1度静止ボタンを押します。

こんなときは？

2画面中に静止ボタンを押すと…

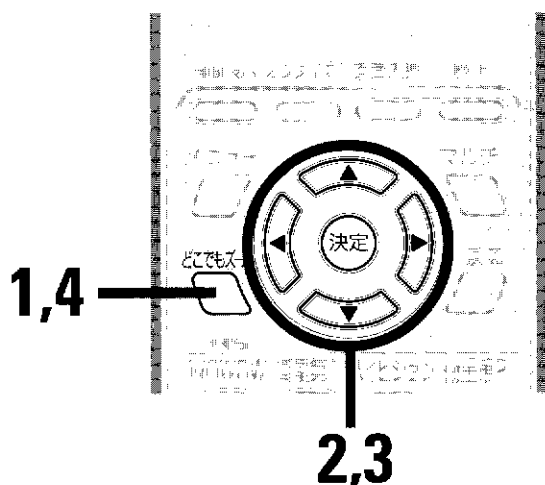
操作画面の動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。もう1度静止ボタンを押すと元の2画面に戻ります。

次のようなときは、静止画をご覧になることはできません。

● 番組一覧を表示中のとき。

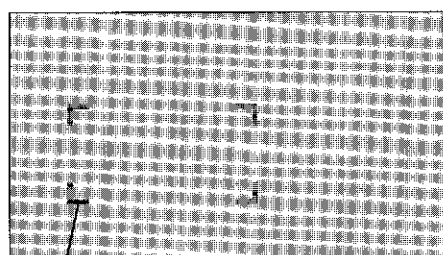
便利な機能で楽しむ 見たいところを拡大する

画面の一部を拡大して見ることができます。



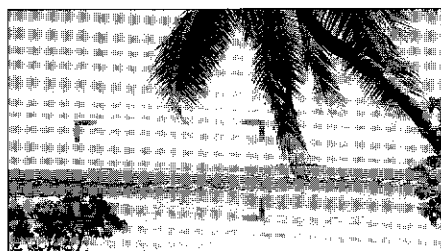
1 どこでもズームボタンを押す

画面に拡大範囲を示す枠が表示されます。
(このとき画面サイズはフルに変わります。)



ズーム枠

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)でズームしたい場所に枠を移動させる

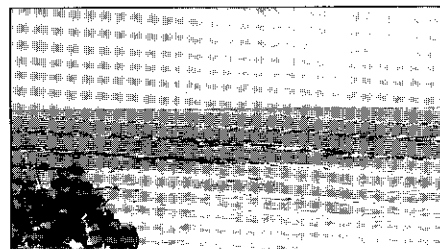


ズーム枠

このズーム枠は、拡大したい場所を指定する目安です。実際に拡大される位置や大きさが異なる場合があります。

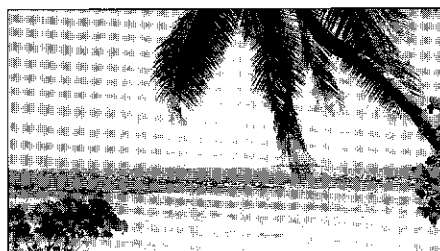
3 決定ボタンを押す

ズーム枠で囲まれた範囲が、画面いっぱいに表示されます。



4 ズームを解除するには、どこでもズームボタンをもう1度押す

ズームが解除されて元の映像に戻ります。



ズーム中に拡大したい部分を移動するには

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して拡大したい部分を移動することができます。

拡大された画面について

どこでもズーム機能で拡大された映像は、デジタル処理により拡大しているので、元の映像よりも粗い感じになります。

どこでもズームボタンを使っているときは

カーソルボタン(◀▶▲▼)と決定ボタン、戻るボタンが使えます。

次のときはズームできません

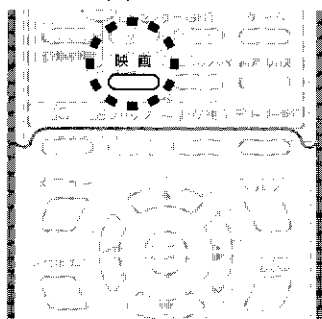
コンポーネント映像信号は、ズームできません。

映画に最適な 画質にする

映画ボタンを押すと、番組や映画ソフトに最適な画面設定になります。

ふたを開けたところ

映画ボタン



「入り」にすると、画面サイズ、映像選択、デジタルE.E.センサー、白バランスが自動的に設定されます。押すたびに「入り」、「切り」が切り換わります。

項目	設定結果
画面サイズ	オートパノラマ
映像選択	シアター
デジタルE.E.	標準
白バランス	高い

映画ボタンを使うときは

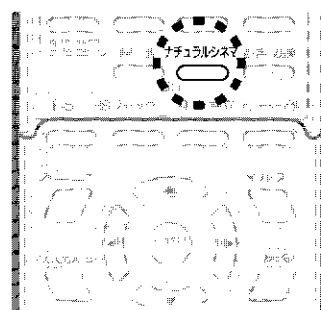
- 2画面中は映画ボタンを押しても、画面サイズは設定されません。
- 次のようなときは映画ボタンの設定は「切り」になります。
 - ・ ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
 - ・ S1映像信号が入力されたとき
 - ・ チャンネルや入力を切り換えたとき
 - ・ 電源を「切り」「入り」したとき

フィルム撮影された映画などをキレイに見る

フィルム撮影された映画やアニメをご覧になると映像がぼんやりと見えることがあります。このようにときに、ナチュラルシネマを「入り」にすると、ぼんやり感のない映像でご覧になれます。

ふたを開けたところ

ナチュラルシネマ
ボタン



ナチュラルシネマボタンを押すたびに、ナチュラルシネマの「入り」「切り」が切り換わります。「入り」にすると、画面に「ナチュラルシネマモードにしました。」というメッセージが現れます。

ナチュラルシネマに関するお願い

- 通常はナチュラルシネマは「切り」にしてお使いください。ふだんの放送など、設定を「入り」にすると輪郭が二重になったり、不自然な映像になることがあります。
- 2画面中や番組一覧中はナチュラルシネマボタンは使えません。
- 次のようなときはナチュラルシネマの設定は「切り」になります。
 - ・ ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
 - ・ チャンネルや入力を切り換えたとき
 - ・ 2画面や番組一覧に画面を切り換えたとき
 - ・ 電源を「切り」「入り」したとき

また、ハイビジョン(1125i, 750p)やプログレッシブ(525p)の番組を見ているときや、2画面中や番組一覧中は設定を「入り」にすることはできません。

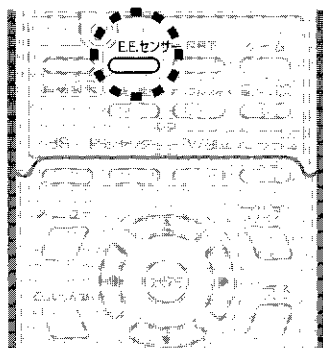
便利な機能
で楽しむ

デジタルE.E. 機能を使う

部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。最適な明るさでご覧になれば、目の負担を軽減します。目にやさしい機能です。

ふたを開けたところ

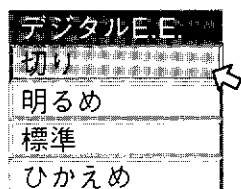
E.E.センサーボタン



デジタルE.E.を設定する

E.E.センサーボタンを押すとデジタルE.E.の画面が現れます。

E.E.センサーボタンを押す度に、矢印が移動しますので、お好みの設定を選んでください。

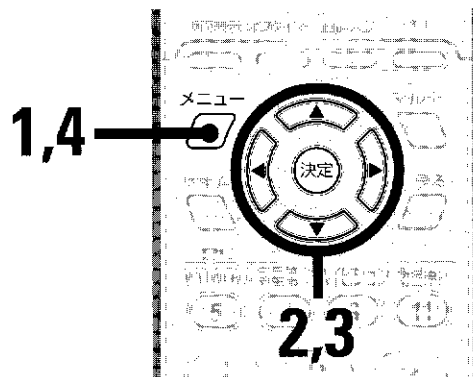


- 「切り」： 画面の明るさの自動調節は行いません。
- 「明るめ」： 標準よりも明るめに自動調節します。
- 「標準」： 部屋の明るさに合わせて最適な明るさに自動調節します。
- 「ひかえめ」： 標準よりもやや暗めに自動調節します。

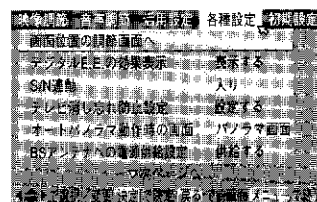
メニュー表示を消す

選択後5秒待つか、決定ボタンを押します。

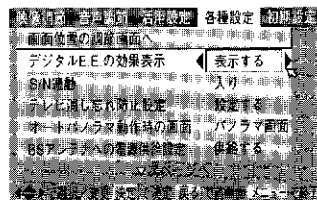
デジタルE.E.の効果 表示をするには



1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



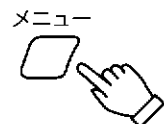
2 カーソルボタン(▲▼)を押して、「デジタルE.E.の効果表示」を選ぶ



3 カーソルボタン(◀▶)を押して、設定を選ぶ

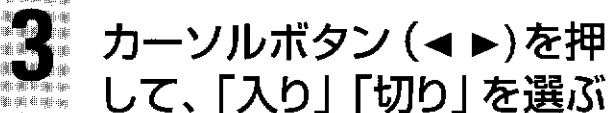
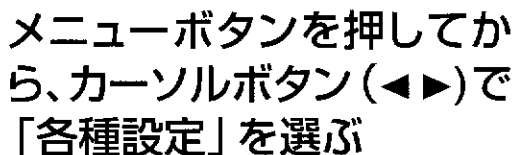
- 「表示する」： 部屋の明るさが変化したとき、デジタルE.E.の効果のレベルがハートマークで画面に表示されます。
- 「表示しない」： デジタルE.E.の効果のレベルを表示しないときに選びます。

4 メニューボタンを押して終了する



**本来の解像度で
表示する**

1
2
3
4



メニュー

BS放送を録画しながらテレビを見る

ふたを開けたところ
BSジャック
ボタン



BSジャック機能について

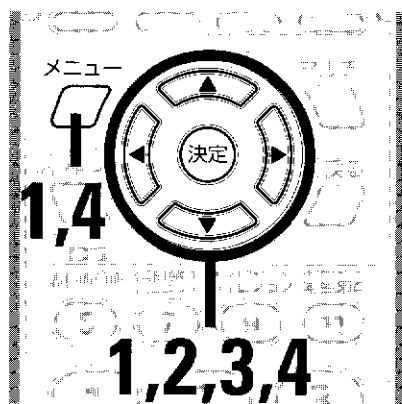
また、BSジャック中はコンセントから電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くとモニター/BS出力端子からはBSチャンネルの映像と音声が出られなくなります。

便利な機能で楽しむ

GRT (ゴースト低減) 機能の設定

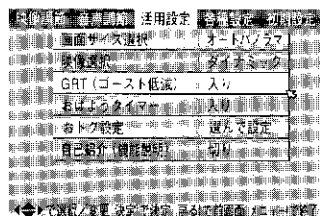
ご覧になっているチャンネルのGRT設定を変更したいときに使います。

■「入り」「切り」を切り換える



1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ

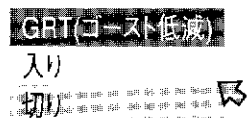
2 カーソルボタン(▲▼)を押して、「GRT (ゴースト低減)」を選ぶ



選んでから



3 カーソルボタン(▲▼)を押して、「入り」「切り」を選ぶ



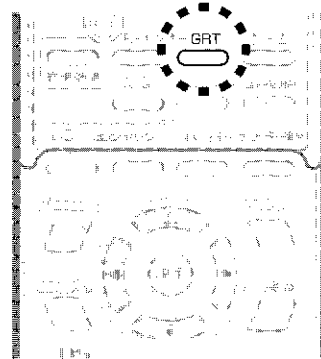
4 決定ボタンまたはメニューボタンを押して終了する

ボタンでGRT設定を切り換えるには

リモコンのGRTボタンを使ってもGRT設定の「入り」「切り」を変更することができます。GRTボタンを押す度に設定が変わります。

ふたを開けたところ

GRTボタン

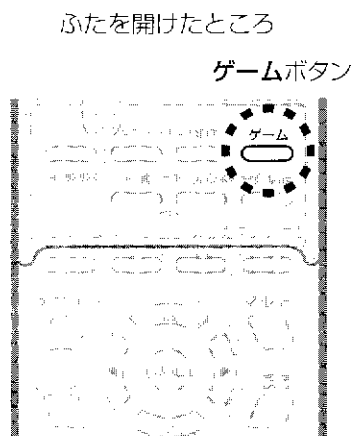


チャンネル合わせ時のGRT設定について

- 初期設定「地域チャンネル合わせ」を使ってチャンネル合わせをしたときは、GRT設定は「入り」になります。(P.53)
- 初期設定「チャンネル1～12ボタンの設定変更」を使ってチャンネル編集をするときは編集画面の中でGRTの設定を行うことができます。(P.55、P.58)

ゲームを楽しむ ための便利な機能

ゲームボタンを押すだけで、複数の設定をゲームに適した設定に切り換えます。



ゲームボタンを押す度に、ゲーム設定の「入り」「切り」が切り換わります。
ゲーム設定を「入り」にすると以下のように設定されます。

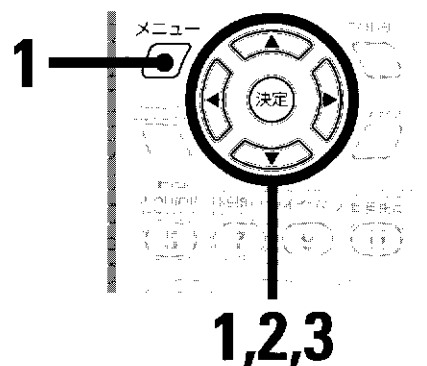
画面サイズ：フル
映像選択：ゲーム
入力端子：ビデオ4

- 入力切替は、メニューの設定で変更することができます。(P.67)

自己紹介機能を使うには

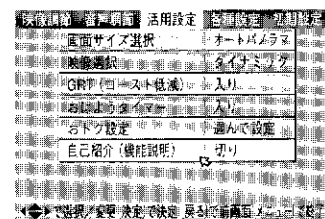
本機には自己紹介機能があります

本機の持っている機能を自動的に紹介してくれる機能です。



1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)を押して、「自己紹介 (機能説明)」を選ぶ



選んでから



3 カーソルボタン(▲▼)を押して、「入り」を選ぶ

自己紹介 (機能説明)

選んでから



- 画面では自己紹介が始まります。
- 自己紹介機能を止めるには、もう1度手順1から3を行って「切り」を選びます。
画面には「自己紹介 (機能説明) を中止しました。」と表示されます。

便利な機能
で楽しむ

便利な機能で楽しむ お好みの映像に調節する

必要に応じて操作をしてください。
ふだんは画質を選ぶだけでもお楽しみいただけます。

1. 画質を選ぶ (このページ)

4種類の画質から選びます。

2. 映像を調節する (次ページ)

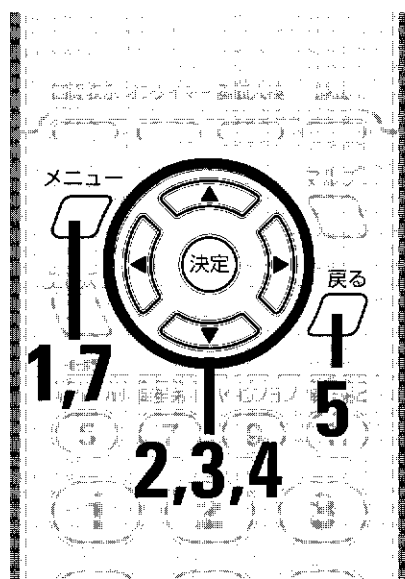
選んだ画質をお好みに調節します。

3. シアタープロの調節をする (40ページ)

「シアター」の画質を選んだときに
細かな調節ができます。詳しい知識をお持ちの方向けの調節です。

映像選択のめやす

スタンダード	ふつうの明るさの部屋でくつきりとした映像を見たいとき
ダイナミック	明るい部屋で明暗のはっきりとしたメリハリのある映像を見たいとき
シアター	映画番組や映画ソフトを見たいとき
ゲーム	テレビゲームを楽しむとき 明るさをおさえ、輪郭を強調した映像になります

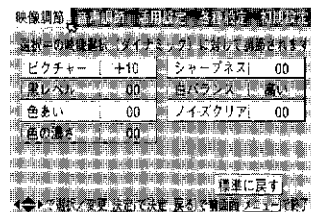


お好みの画質を選ぶ

1

メニューボタン()を押す

メニュー画面が表示されます。

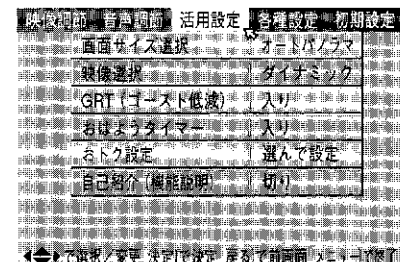


●映像調節以外のメニューが表示されることがあります。

2

カーソルボタン( )を押して  を「活用設定」に合わせる

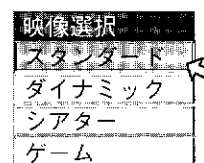
活用設定のメニュー画面になります。



3

カーソルボタン( )を押して  を「映像選択」に合わせ、決定ボタン()を押す

「映像選択」画面が表示されます。



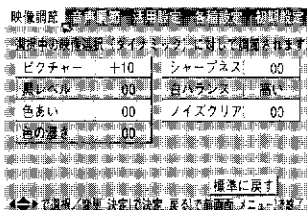
4

カーソルボタン( )を押して  を選びたい画質に合わせる

選んだ映像に切り換わり、メニューが画面から消えます。

映像を調節する

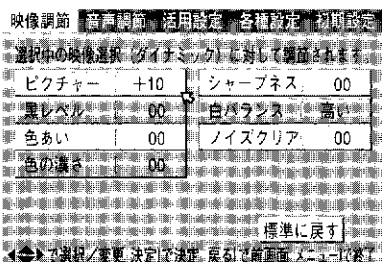
1 メニューボタン()を押す
メニュー画面が表示されます。



● 映像調節以外のメニューが表示されることがあります。

2 カーソルボタン()を押して  を「映像調節」に合わせる

映像調節のメニュー画面になります



3 カーソルボタン()を押して  を調節したい項目に合わせ、決定ボタン()を押す

調節用の画面が表示されます。

例:「ピクチャー」を選んだとき



例:「白バランス」を選んだとき



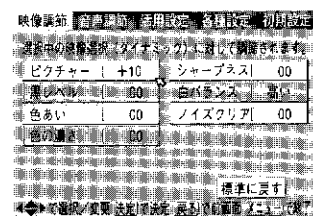
数秒間、操作を行わないと、手順1の画面に戻ります。

4 カーソルボタン()を押して調節する

● 白バランスの調節はカーソルボタン()を使います

5 調節が終わったら戻るボタン()を押す

メニュー画面が画表示されます



● この画面はピクチャーの調節が終わったときの例です。

● 調整が終わったら、決定ボタン()を押してもメニュー画面に戻ることができます

6 他の項目も調節するときは手順3から5をくり返す

7 メニューボタン()を押す
メニュー画面が消え、操作が終わります。

お買い上げ時の設定に戻すには

● 手順3で「標準に戻す」に  を合わせ、決定ボタン()を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

調節項目の内容と調節のめやす

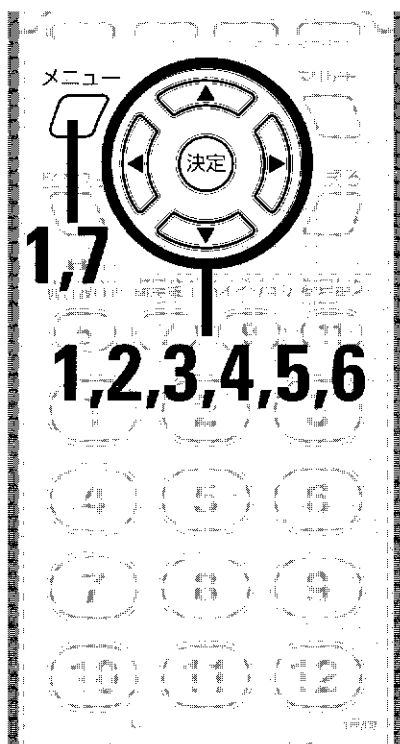
調節項目	◀	▶	調節の目安
ピクチャー	暗く・薄く	明るく・濃く	明るさ・色の濃さを大まかに決める
黒レベル	暗く	明るく	見やすい明るさに
白バランス	高	低	画面全体の色調を選ぶ 高: 標準 低: 赤みが強くなる
色の濃さ	淡く	濃く	交互に調節して健康的な 肌色に
色あい	赤っぽく	緑っぽく	
シャープネス	やわらか	くっきり	好みの輪郭に
ノイズクリア	効果を 少なく	効果を 大きく	画面のざらつきが少なくなるように調節

便利な機能
で楽しむ

便利な機能で楽しむ シアタープロの設定

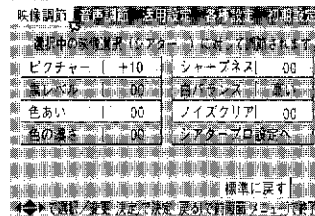
映像選択で「シアター」を選択しているとき(38ページ)、さらに細かい映像の調節ができるようになります。通常は標準設定(お買い上げ時の設定)のままで十分な画質になるよう調節がされています。

シアタープロの設定は、ご覧になる映像によりさらに細かな調節を行いたいお客様向けの機能です。設定できる項目は微妙な調節を行うため専門的な内容になっています。調節を行うときは少しずつ設定値を変更して変化を確認しながら設定項目の内容を把握されることをお勧めします。



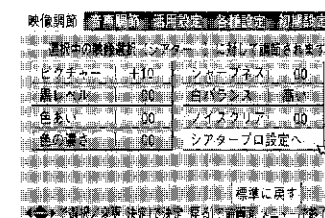
1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「映像調節」を選ぶ



2

カーソルボタン(▲▼◀▶)を押して、「シアタープロ」を選ぶ

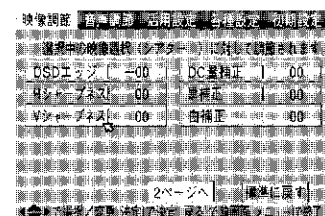


選んでから



3

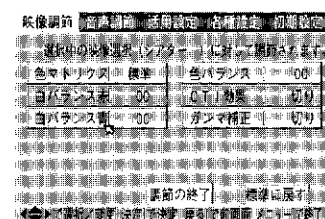
カーソルボタン(▲▼◀▶)を押して、調節したい項目を選択する



選んでから



- 2ページ目を表示するには、カーソルボタン(▲▼◀▶)を押して、「2ページへ」を選び、決定ボタンを押します。2ページ目の画面が表示されます。



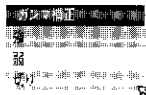
- 1ページ目に戻るには、戻るボタンを押します。

4 カーソルボタン(▲▼◀▶)を押して、調節する

例:「Vシャープネス」を選んだとき

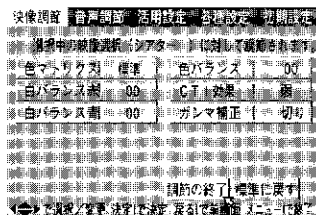


例:「ガンマ補正」を選んだとき



数秒間、操作を行わないと、手順3の画面に戻ります。

5 調節が終わったらカーソルボタン(▲▼◀▶)を押して、2ページ目の「調節の終了」を選ぶ

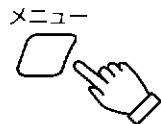


選んでから



- 「標準に戻す」を選んで決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

6 メニューボタンを押して終了する



「シアタープロ」の設定について

● DSDエッジ:

文字やイラストなどの輪郭部の明るさの変化を急峻にして映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。設定値を大きくしすぎると、風景などの映像が不自然になることがあります。(設定値:輪郭をつけない -30...+30 輪郭をつける)

● Hシャープネス、Vシャープネス:

映像の輪郭部に明るいところはより明るく、暗い部分はより暗いV信号を加えて輪郭を強調してはっきりとした映像にします。調節するときにはHシャープネス、Vシャープネスを交互に調節します。数値を大きくしすぎると、加えた信号が目立ち不自然な映像になることがあります。(設定値:輪郭を強調しない -30...+30 輪郭を強調する)

● DC量補正:

全体に明るい画面のとき、あるいは全体に暗い画面のときの黒の再現性を補正します。「黒レベル」調節で画面を明るくすると、本来黒い部分が白っぽく感じたり、その反対に、暗くすると黒い部分がつぶれ気味になり見にくくなる場合があります。そのようなときには黒の再現性を調節してバランスをとってください。(設定値:黒味を増やす -05...+05 黒味を減らす)

● 黒補正:

黒レベル補正を開始する基準点を微調できます。黒レベル補正では、黒信号が映像に含まれていないときに最小輝度の信号を黒方向に伸張り、画面のコントラスト感を高めています。黒側のコントラストが弱いと感じたときに、基準点を微調します。(設定値:基準00...30コントラスト感を強める)

● 白補正:

白レベル補正を開始する基準点を微調できます。白レベル補正では、白信号が映像に含まれていないときに最大輝度の信号を白方向に伸張り、画面のコントラスト感を高めています。白側のコントラストが弱いと感じたときに、基準点を微調します。(設定値:基準00...30コントラスト感を強める)

● 色マトリクス:

MUSEハイビジョン規格とデジタルハイビジョン規格では、輝度信号や色差信号の規格(マトリクス比)にごくわずかですが違いがあります。それぞれの規格に合った色味で見たいときに設定を切り換えて映像をご覧ください。(設定値:1035-アナログハイビジョンのとき/1080-デジタルハイビジョンのとき/標準-ハイビジョン以外のとき)

● 白バランス 赤、白バランス 青:

映像の基準となる白をより白く見えるように調節する項目です。調節するときには「白バランス赤」と「白バランス青」を交互に調節して、白が白らしく見えるように調節します。(設定値:赤みをつけない -30...+30 赤みをつける)(設定値:青みをつけない -30...+30 青みをつける)

● 色バランス:

肌色の調節をしたあと、他の色のバランスを整えるときに使います。映像調節の「色合い」で肌色を調節すると他の色もわずかに変化してしまいます。(例:肌色を調節したら、緑の葉が少し黄色味がかった葉になってしまった。)このようなとき、お好みに調節した肌色はそのままだけを変化させることができます肌色以外の色が自然な色になるように調節してください。(設定値:青みを弱くする -30...+30 青みを強くする)

● CTI効果:

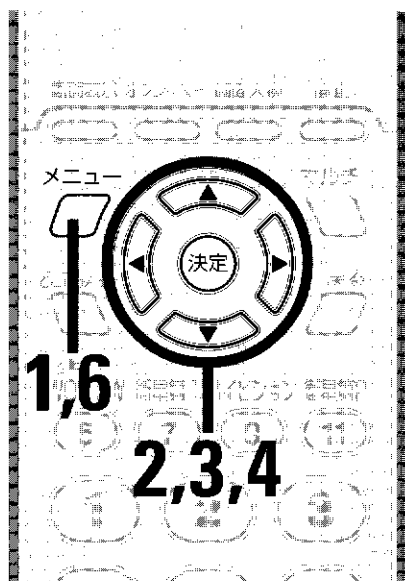
Color transient improverの略語です。色信号のエッジ部の輪郭補正(色のはみ出しなど)の効果を調整できます。(設定値:切り/強/中/弱)

● ガンマ補正:

D-ILA素子やブラウン管などの表示素子は、入力信号に対し、固有の増調特性(ガンマ)を持っています。この増調特性を補正することで、忠実に映像を再現することができます。本機には、このガンマ補正機能を備えており、白側と黒側の一部を微調することができます。黒側が沈んでいる(つまっている)と感じたときや、逆に白側がとんでいる(立っている)と感じたときに補正することができます。(設定値:強/弱/切り)

便利な機能
で楽しむ

便利な機能で楽しむ 音声を調節する



音声選択のめやす

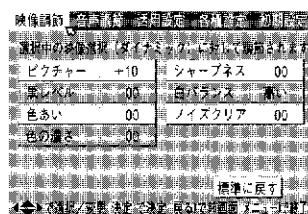
	◀	▶
BBE*	「入り」と「切り」の切り換え 「入り」に設定すると、原音に忠実 で聞きやすい音を再現します。 * BBEは、BBE Sound社の登録商標です。	
高音	弱まる	強まる
低音	弱まる	強まる
左右バランス	左側が大きく	右側が大きく
重低音	「弱」:弱まる 「中」:標準 「強」:強まる	

お買い上げ時の設定に戻すには

- 手順3で「標準に戻す」にマークを合わせ、決定ボタン(決定)を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

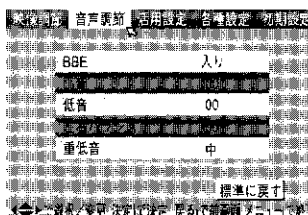
注意：ヘッドホンで聞いているときは、音声調節ができません。

- 1 メニューボタン(メニュー)を押す
メニュー画面が表示されます。

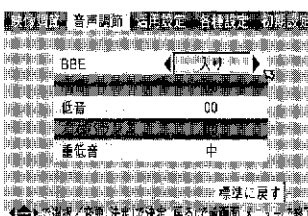


- 映像調節以外のメニューが表示されることがあります。

- 2 カーソルボタン(◀▶)を押してマークを「音声調節」に合わせる



- 3 カーソルボタン(▲▼)を押してマークを調節や設定したい項目に合わせる



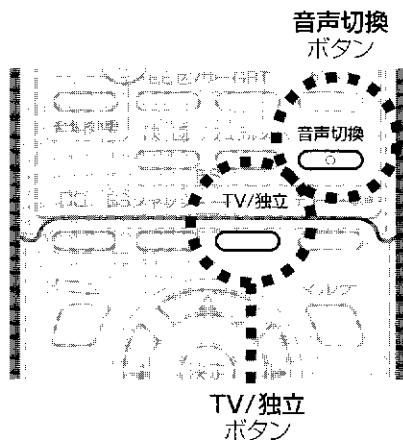
- 4 カーソルボタン(◀▶)を押して調節や設定をする

- 5 他の項目を調節するときは、手順3と4をくり返す

- 6 メニューボタン(メニュー)を押す
メニュー画面が消え、操作が終わります。

便利な機能で楽しむ 音声を切り換える

ふたを開けたところ



■音声を選ぶ

二重音声放送やステレオ音声放送のときに聞きたい音声を選びます。



例: 二重音声放送を受信しているとき

1度押すと、現在の設定が表示されます。
押すたびに、次のように音声と表示が切り換わります。

二重音声放送受信中は (BS放送、ふつうのテレビ放送):
「主音声」→「副音声」→「主+副音声」→「主音声」→…。

ステレオ放送受信中は (ふつうのテレビ放送):
「ステレオ」→「モノラル」→「ステレオ」→…。

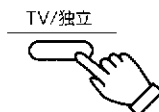
便利な機能
で楽しむ

BS有料放送で独立音声を聞くには

- BSデコーダー側で切り換える
BS有料放送で音声を切り換えるには、BSデコーダー側で音声を切り換えてください。

■BS放送の独立音声を聞く

Aモード音声で放送されているBS放送の番組のテレビ音声と独立音声を切り換えます。



現在の設定はTV/独立
音声「テレビ音声」

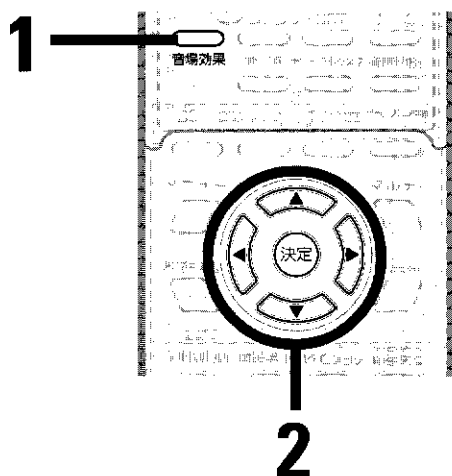
1度押すと、現在の設定が表示されます。
その後押すたびに、テレビ音声と独立音声切り換わります。

便利な機能で楽しむ サラウンドを楽しむ

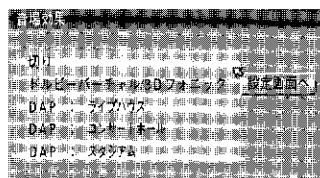
本機に内蔵されているスピーカーだけで、本格的なサラウンドをお楽しみいただけます。

音場効果を使う

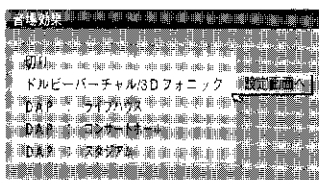
ふたを開けたところ



音場効果ボタンを押す



カーソルボタン(▲▼)を押して▼を使いたい音場効果に合わせる



選んでから



- 「ドルビーバーチャル/3Dフォニックス」には「ノーマル」「アクション」「シアター」の3つのモードがあります。(P.45)
- 手順2で「ドルビーバーチャル/3Dフォニックス」を選ぶと、最後に使っていたモードが選ばれます。お買い上げ時には、「ノーマル」に設定されています。

音場効果を解除するには

手順2で、▼を「切」に合わせて、決定ボタンを押します。

DAP (デジタル・アコースティック・プロセッサー)

コンサートホールやライブハウスなどで実際に聴いている音には、音源から直接耳に届く音(直接音)と天井や壁などに数回反射してから耳に届く音(初期反射音)、そして何回も反射を繰り返してから耳に届く音(残響音)があります。

これらの反射音や残響音は、聴いている人と天井や壁までの距離によって、時間的に直接音よりも遅れて聴いている人の耳に届き、この結果、音に臨場感が生まれてきます。

本機に搭載されているDAPは、これらの反射音や残響音をステレオ音声により割り、コンサートホールやライブハウスなどの臨場感を再現します。

DAPを楽しむときは、次の3つの中から最適な設定をお選びください。

- 「ライブハウス」: ライブハウスの生演奏の迫力をお楽しみください。
- 「コンサートホール」: 大ホールの臨場感を再現します。オーケストラなどの音楽番組に最適です。
- 「スタジアム」: 野外ホールやスタジアムの臨場感を再現します。

ドルビーサラウンドを使って製作された映画や音楽ソフトを映画館のような音で楽しむことができます。

ドルビーバーチャル/3Dフォニック の設定を変更する

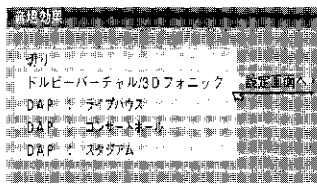
1

音場効果ボタンを押す

音場効果画面が表示されます。

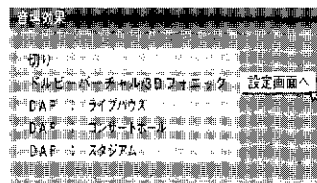
2

カーソルボタン(▲▼)を押して 「ドルビーバーチャル/3Dフォニック」に合わせる



3

カーソルボタン(▶)を押して 「設定画面へ」に合わせる

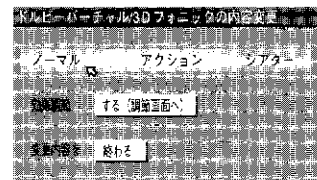


選んでから



4

カーソルボタン(◀▶)を押して 設定したいモードに合わせる



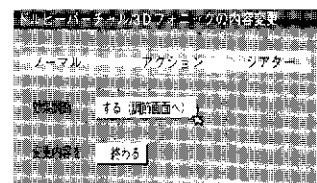
- 「ノーマル」：周囲の音に包まれているような自然な雰囲気、リラックスして映画を楽しみたいときに最適です。
- 「アクション」：アクション映画やスポーツなどの音の移動が激しいソフトに最適です。
- 「シアター」：ハリウッドの一流映画館の音場を再現します



5

選んだモードの効果を調節 したいときは、カーソルボ タン(▲▼◀▶)を押して、 「効果調節」を選ぶ

調節しない場合は、手順7に進みます。



選んでから



6

カーソルボタン(◀▶)を 押して、効果を調節し、決 定ボタンを押す

選んでから



7

カーソルボタン(▼)を押して、 「終わる」に合わせ、決 定ボタンを押す

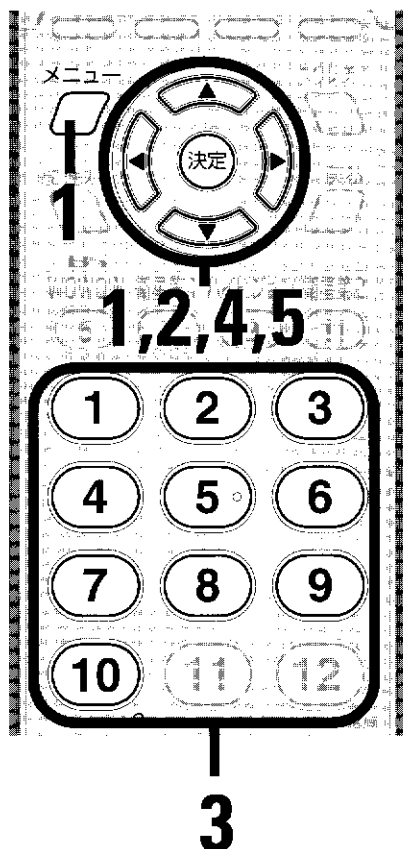
ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。



便利な機能
で楽しむ

テレビを使いこなす おはようタイマーを設定する

準備: 65ページの「時計を設定する」にしたがって、時計の設定をおこなってください。

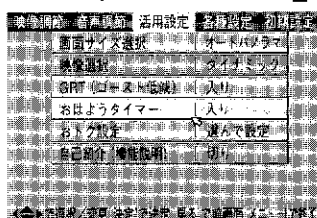


1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ

2

カーソルボタン(▲▼)を押して、「おはようタイマー」を選ぶ

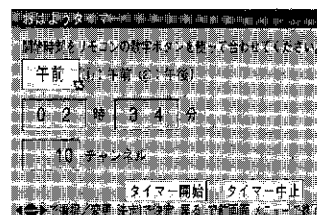


選んでから



3

リモコンの数字ボタンを使って、時刻を設定する



「おはようタイマー」を止めるには

手順4で「タイマー中止」を選びます。

「おはようタイマー」の設定を
あとから変えるには

「おはようタイマー」で設定した時刻とチャンネルは記憶されます。

設定した時刻とチャンネルを変えるには設定したときと同じように時刻とチャンネルを設定してください。

4

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、「タイマー開始」を選ぶ

5

決定ボタンを押して終了する

オンタイマーランプが点灯します。



6

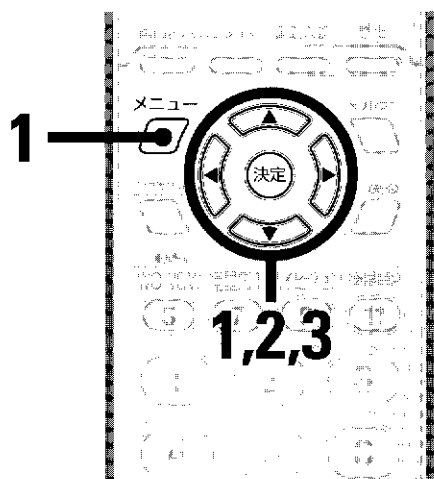
リモコンの電源ボタンを押して電源を切る

設定された時間になると自動的にテレビの電源が入ります。



おトク設定

このテレビには2つの節電機能があります。「おトク設定」メニューを使って、すべての節電機能を使うか、選んで使うか、節電機能をつかわないかの設定ができます。



節電機能の種類

おトク機能

無信号電源オートオフ:

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。放送終了後やビデオの終了などで、映像信号がなくなったとき、約4分間経過すると電源を切って節電します。

●「する」「しない」を選びます。

深夜電源オートオフ:

設定された時間になるとテレビの電源を切って節電する機能です。

●「午前0時」「午前1時」「午前2時」「しない」を選びます。

おトク以外の節電機能

テレビ消し忘れ防止 (P.49):

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。

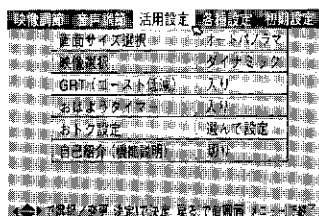
AV コンピューリンクⅡ機能を使わないときは

設定メニューの「各種設定」の「AV コンピューリンクⅡ 端子」の設定を「使用しない」にしてください。(P.75)

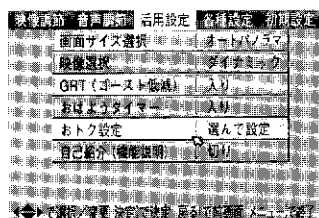
リモコンの電源ボタンを押して、テレビを待機状態にしたときの消費電力を抑えることができます。

2つの節電機能をすべて使うには

1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▲▼)を押して、「おトク設定」を選ぶ



選んでから



3 カーソルボタン(▲▼)を押して、「すべて設定する」を選ぶ

おトク設定

すべて設定する

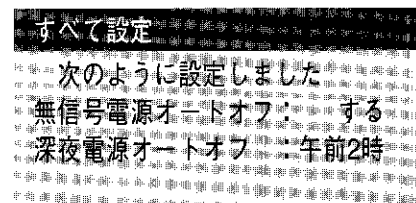
選んで設定する

設定しない

選んでから

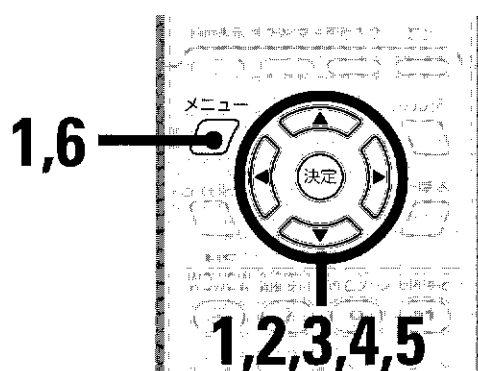


画面には設定の内容が数秒間表示されます。

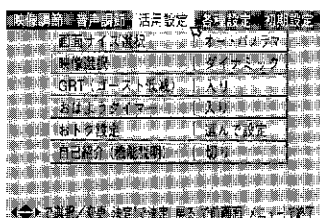


テレビを使いこなす

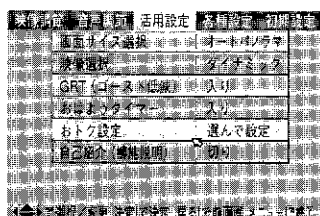
2つの節電機能から選んで使うには



1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ



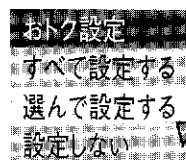
2 カーソルボタン(▲▼)を押して、「おトク設定」を選ぶ



選んでから



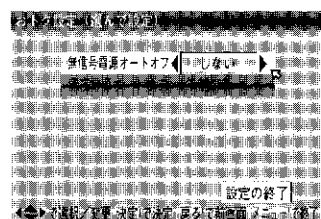
3 カーソルボタン(▲▼)を押して、「選んで設定する」を選ぶ



選んでから



4 カーソルボタン(▲▼◀▶)で必要な項目を設定する

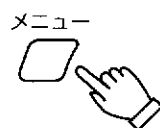


1 ▲▼で、を上下に移動し、設定する機能を選ぶ

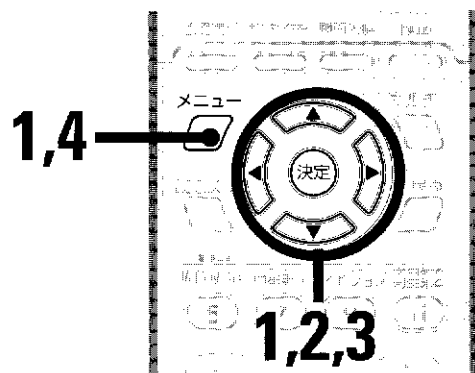
2 ◀▶で、設定値を選ぶ

5 カーソルボタン(▲▼)を押して、「設定の終了」を選ぶ

6 メニューボタンを押して終了する



テレビの消し忘れを防止 する



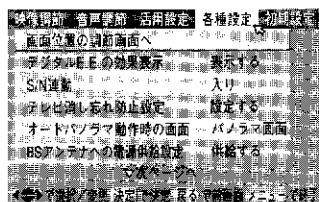
1. メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

2. カーソルボタン(▲▼)を押して、「テレビの消し忘れ防止設定」を選ぶ

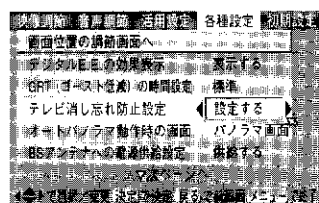
3. カーソルボタン(◀▶)を押して、設定を選ぶ

4. メニューボタンを押して終了する

1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



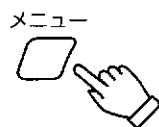
2 カーソルボタン(▲▼)を押して、「テレビの消し忘れ防止設定」を選ぶ



3 カーソルボタン(◀▶)を押して、設定を選ぶ

- 「設定する」： 何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。
- 「設定しない」： この機能を使わないときに選べます。

4 メニューボタンを押して終了する

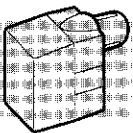


テレビを使い
こなす

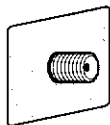
アンテナの接続と設定

アンテナをつなぐ (VHF、UHF アンテナ)

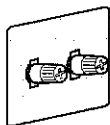
まず、はじめにVHF、UHFアンテナをつなぎます。一番近い例を選んで、接続してください。



壁面アンテナ端子の形とアンテナ線の種類



同軸ケーブル用端子



同軸ケーブル



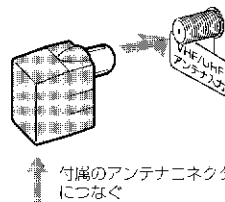
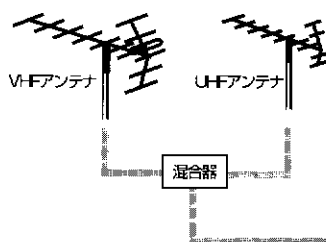
フィーダー線



F型コネクター

※壁面アンテナ端子にF型コネクターが付いているときは、そのまま本機のアンテナ端子につなぎます。

VHFとUHFが混合されているとき

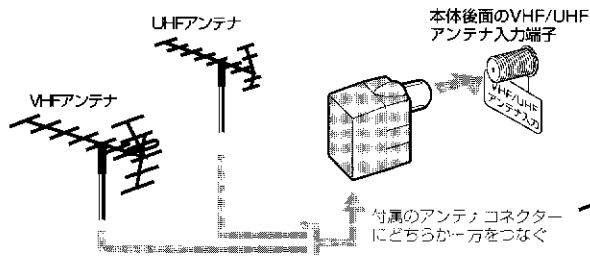


本体後面のVHF/UHFアンテナ入力端子

付属のアンテナコネクターにつなぐ

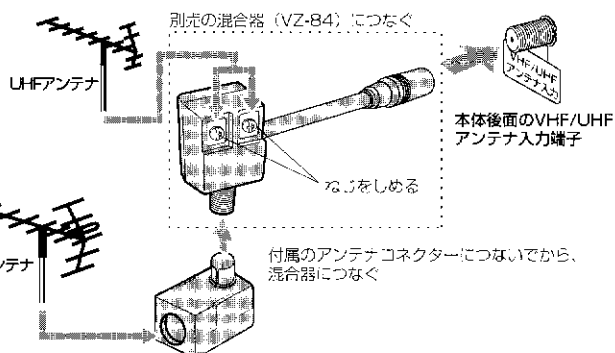
VHFとUHFが別々になっているとき

■ VHF、UHF のどちらか一方を接続する



付属のアンテナコネクターにどちらか一方をつなぐ

■ VHF、UHF の両方を接続する

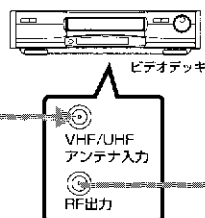
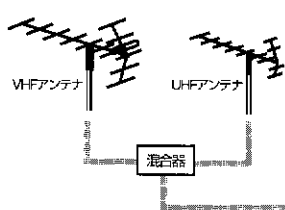


ねじをしめる

付属のアンテナコネクターにつないでから、混合器につなぐ

ビデオデッキを接続するとき

アンテナのケーブルはビデオデッキに接続し、ビデオデッキのRF出力からのケーブルを本機のVHF/UHFアンテナ入力端子につなぎます。ビデオデッキの取扱説明書も合わせてご覧ください。

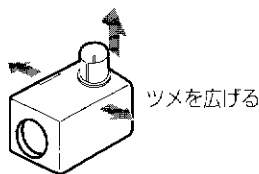


アンテナコネクター (付属)

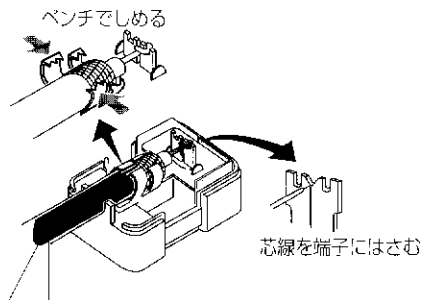
本体後面のVHF/UHFアンテナ入力端子

■コネクタのつなぎかた

1 カバーを開ける

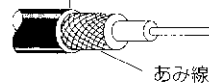


2 ケーブルをつなぐ



太いケーブル (5C-2V)

5 3 10 (mm)



あみ線

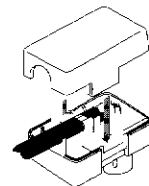
細いケーブル (3C-2V)

5 3 10 (mm)



あみ線を折り返す

3 カバーをつける



アンテナの
接続と設定

アンテナをつなぐときは

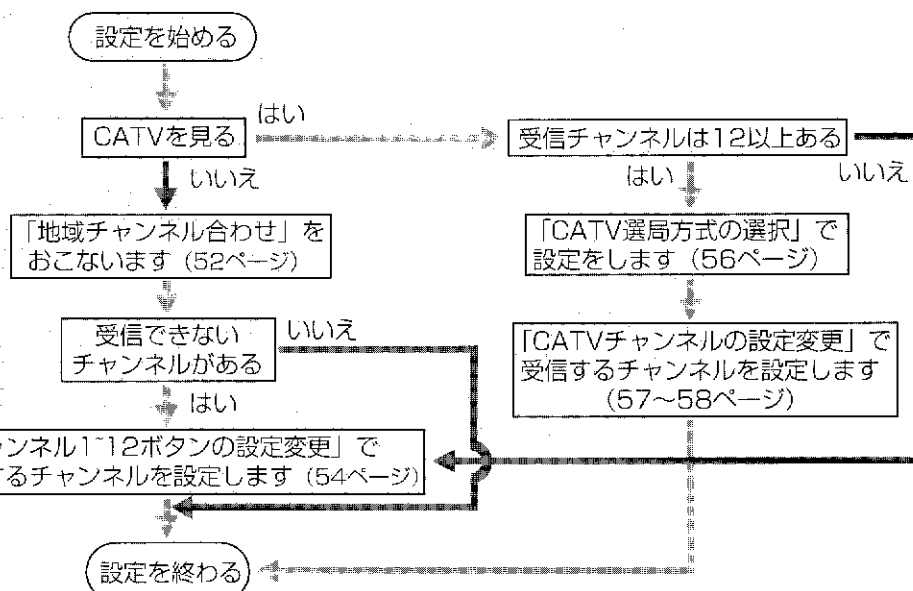
- BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。
- 不明な場合は、販売店にお問い合わせください。
- 妨害電波の影響を避けるため、道路や電車の架線、ネオンなどから離して設置するよう依頼してください。
- アンテナは定期的に点検・交換してください。特にばい煙や潮風があるところでは、傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、サービス取扱所にご相談ください。

アンテナの接続と設定

チャンネルを合わせる

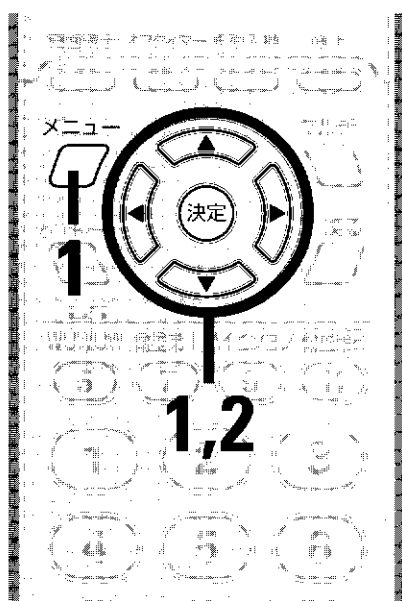
■チャンネル設定の手順

このテレビはお買い上げ時、VHFの1～12チャンネルが映るように設定されています。そのままではテレビが映らない場合は、下記の手順でチャンネルの設定をおこなってください。



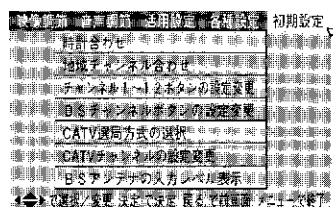
■地域の放送局を一括して設定する

お住まいの地域を選んで、放送局を一括して登録することができます。



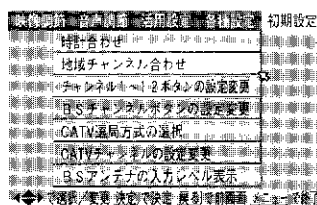
1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」メニューを表示させる



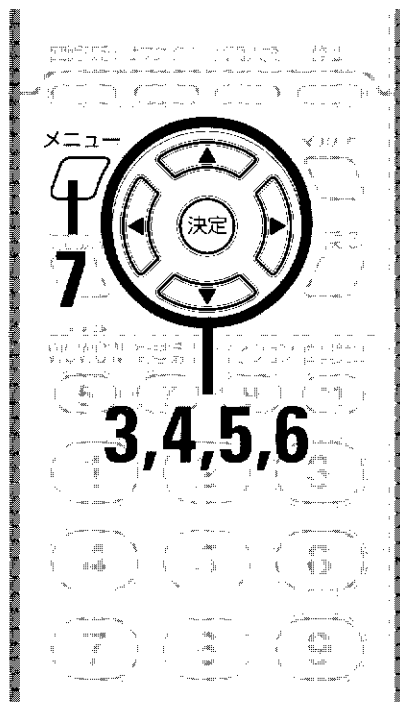
2

カーソルボタン(▲▼)を押して、「地域チャンネル合わせ」を選ぶ



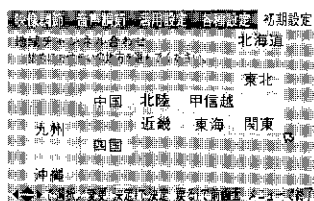
選んでから





3

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、お住まいの地方を選ぶ



選んでから



4

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、お住まいの都市を選ぶ

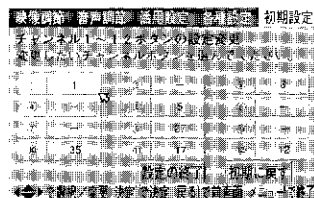


選んでから



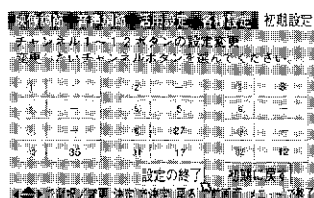
5

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、各チャンネルが受信できることを確認する



6

「地域チャンネル合わせ」が終わったらカーソルボタン(▼)ボタンを押して、「設定の終了」を選ぶ

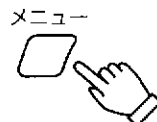


選んでから



7

メニューボタンを押して終了する



お住まいの地域名がないとき

●最も近い地域を選ぶ

近県または近隣の地域を選び、再度地域チャンネル合わせを行ってください。また、地域チャンネル合わせは、テレビの中継局には対応していません。中継局からの電波を受信したい場合は、個別にチャンネル合わせを行ってください。(※P.54)

ゴースト低減機能の設定

●「入り」に設定されます(ビデオ用のチャンネルを除く)

「地域チャンネル合わせ」を行なうと自動的にGRT(ゴースト低減)設定は「入り」になります。1または2チャンネルでビデオを見るための、1または2チャンネルのゴースト低減機能は空きチャンネル時「切り」に設定されています。

設定の操作を中止するには

●戻るボタンで中止できます

ひとつ前の画面に戻ります。

八王子・横浜市にお住まいの方は

- 八王子市にお住まいの方で「はちおうじ」で放送が受信できないときは「23区」に設定してください。
- 横浜市にお住まいの方は、はじめに「よこはま2」で設定してください。放送が受信できないときは「よこはま1」に設定してください。

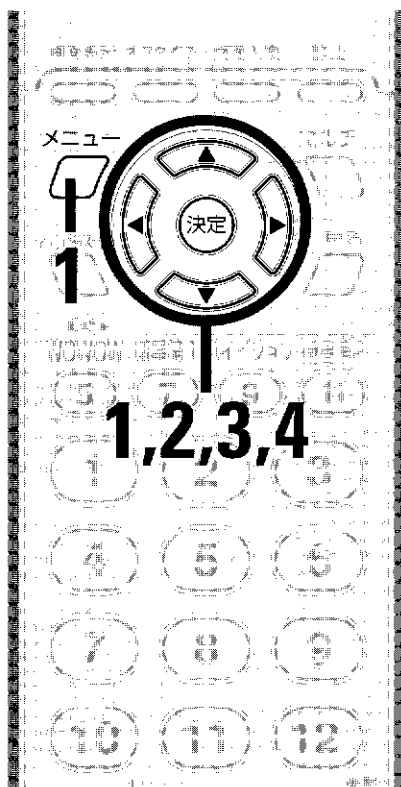
アンテナの
接続と設定

アンテナの接続と設定

チャンネルを合わせる(つづき)

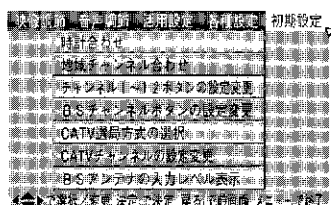
■放送局を個別に設定する

お住まいの地域が「地域チャンネル合わせ」で設定できないときに個別に登録する、空いているチャンネルにCATVチャンネルを割り当てる、受信状態が悪い放送局を受信できないようにするなどの設定ができます。



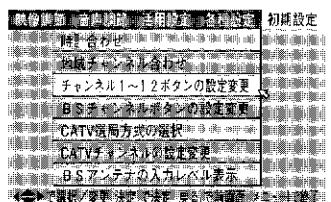
1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」メニューを表示させる



2

カーソルボタン(▲▼)を押して、「チャンネル1〜12ボタンの設定変更」を選ぶ

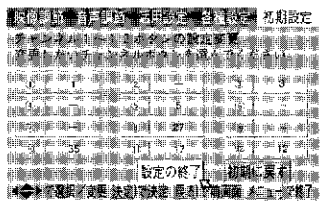


選んでから



3

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、設定したいリモコンチャンネルボタンを選ぶ

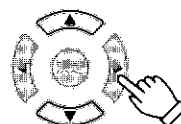
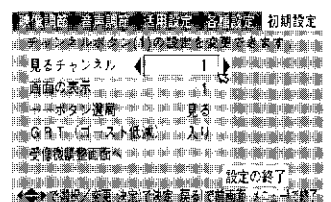


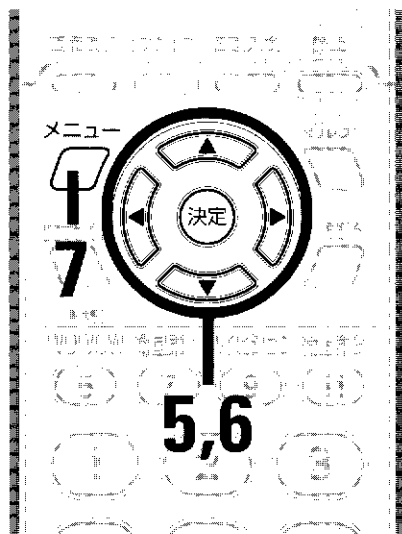
選んでから



4

カーソルボタン(▲▼)を押して、調節したい項目を選ぶ





ゴースト低減機能が働かないとき

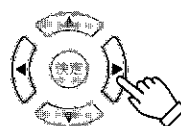
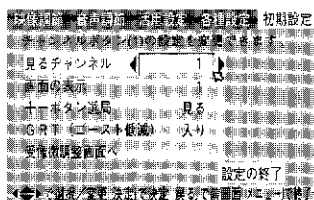
- GCR信号がないとき
 - 放送局からGCR信号が送られてきていないとき(平成11年4月現在、群馬テレビ、琵琶湖放送、BS放送、CS放送や、ほとんどのCATV放送は、GCR信号を送っていません。)
- ゴーストが変化したり、弱いとき
 - 飛行機などに反射して起こるゴーストや、常に違う方向から入ってくるゴースト、ゴーストが弱いときには働きません。

設定の操作を中止するには

- 戻るボタンで中止できます
ひとつ前の画面に戻ります。

5

カーソルボタン(◀▶)を押して、項目の設定を変更する



- 受像微調整を調整するには
決定ボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で調整する。



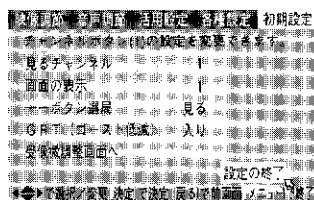
チャンネル設定の項目について

- 見るチャンネル
受信するチャンネルの番号を選びます。(1~12:VHF放送、13~62:UHF放送、C13~C38:CATV放送)
- 画面の表示
テレビ画面に表示するチャンネル番号を選びます。
- ナーボタン選局
チャンネル+ナーボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)
放送を受信していないときは、「見ない」にします。
- GRT(ゴースト低減)
ゴースト(映像が2重・3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。
1チャンネルまたは2チャンネルでビデオデッキの再生映像を見るときは、そのチャンネル(1チャンネルまたは2チャンネル)のGRT設定は「切り」にします。
- 受像微調整
受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します)

アンテナの
接続と設定

6

変更が終わったらカーソルボタン(▲▼)で「設定の終了」を選ぶ



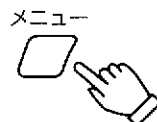
選んでから



- 他のリモコンチャンネルボタンの設定を変えるには
「設定の終了」を選ぶ前に、手順3から5をくり返して、変更したいリモコンチャンネルボタン調整する。

7

メニューボタンを押して終了する

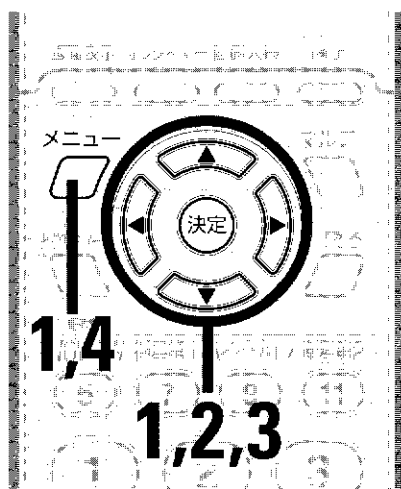


アンテナの接続と設定

チャンネルを合わせる(つづき)

■CATVチャンネルを直接選ぶ

CATVチャンネルのチャンネル番号を数字で直接入力して選局することができます。



CATVについて

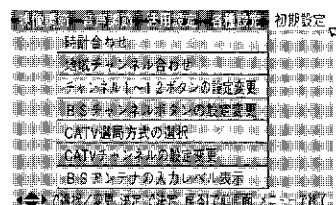
CATV（ケーブルテレビ）はサービスの行われている地域でだけ受信できます。CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはCATV各社にご相談ください。

CATVを見るには

- 1 CATV会社と受信契約をする
詳しくはCATV各社にお問い合わせください。
- 2 CATVケーブルを接続する
ケーブルのつなぎかたはCATV各社にお問い合わせください。
- 3 CATVのチャンネル合わせをする

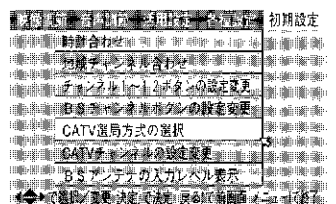
1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン（◀▶）で「初期設定」メニューを表示させる



2

カーソルボタン（▲▼）を押して、「CATV選局方式の選択」を選ぶ



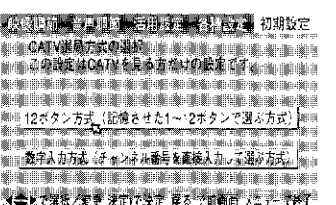
選んでから

決定



3

カーソルボタン（▲▼）を押して、「数字入力方式」を選ぶ



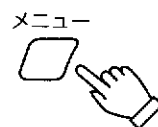
選んでから

決定



4

メニューボタンを押して終了する

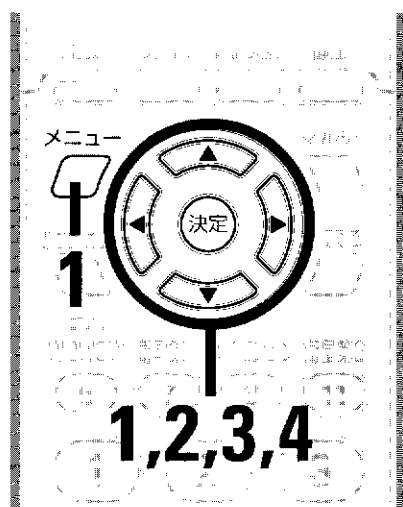


チャンネルの選びかた

- 見たいチャンネルを2桁の数字で選ぶ
「数字入力方式」を設定したときは、VHFやUHF、CATVチャンネルを受信するのに直接数字で選局します。
例：VHFの1チャンネルを選局するときは、0(10),1と押します。
例：VHFの12チャンネルを選局するときは、1,2と押します。
例：CATVのチャンネル34を選局するときは、3,4と押します。
- お買い上げ時の設定に戻すには
リモコンの1～12ボタンで選局できるように戻すには、「12ボタン方式」を選びます。

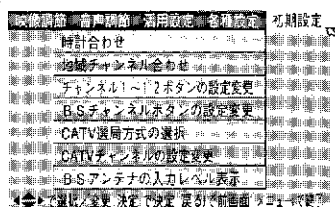
■CATVチャンネルを設定する

CATVチャンネルを選局するのに「数字入力方式」を設定したら、受信するCATVチャンネルの設定を行います。



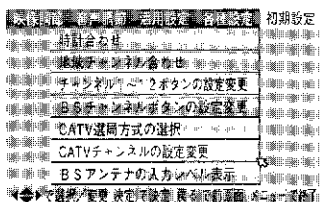
1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」メニューを表示させる



2

カーソルボタン(▲▼)を押して、「CATVチャンネルの設定変更」を選ぶ

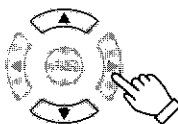
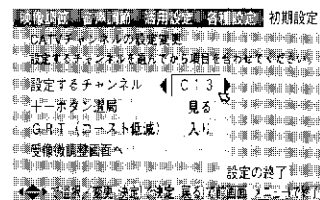


選んでから



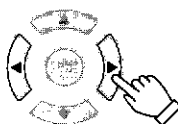
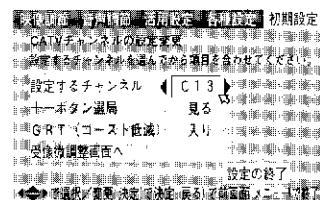
3

カーソルボタン(▲▼)を押して、調節したい項目を選ぶ



4

カーソルボタン(◀▶)を押して、項目の設定を変更する



- 受信微調整を調整するには
決定ボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で調整する。



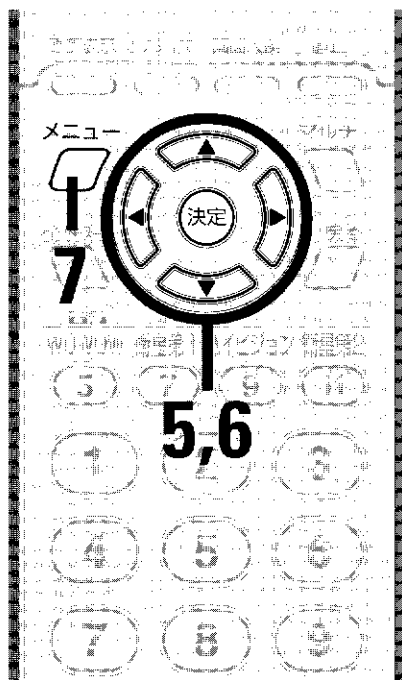
→次のページに続く

アンテナの
接続と設定

アンテナの接続と設定

チャンネルを合わせる(つづき)

■CATVチャンネルを設定する(つづき)



設定の操作を中止するには

- 戻るボタンで中止できます
ひとつ前の画面に戻ります。

5

他のCATVチャンネルの設定も変更するときは

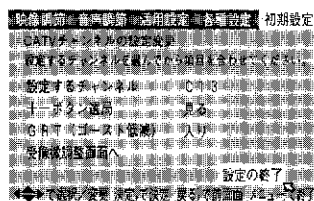
- 手順3から手順4をくり返し行って変更します。

CATVチャンネル設定の項目について

- 設定チャンネル
受信するチャンネルの番号を選びます。(C13～C38:CATV放送)
- ナーボタン選局
チャンネル+ナーボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)
放送を受信していないときは、「見ない」にします。
- GRT(ゴースト低減)
ゴースト(映像が2重・3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。
- 受像微調整
受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します)

6

変更が終わったらカーソルボタン(▲▼)で「設定の終了」を選ぶ



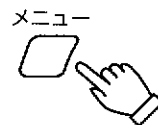
選んでから



- 他のリモコンチャンネルボタンの設定を変えるには
「設定の終了」を選ぶ前に、手順3から5をくり返して、変更したいリモコンチャンネルボタン調整する。

7

メニューボタンを押して終了する

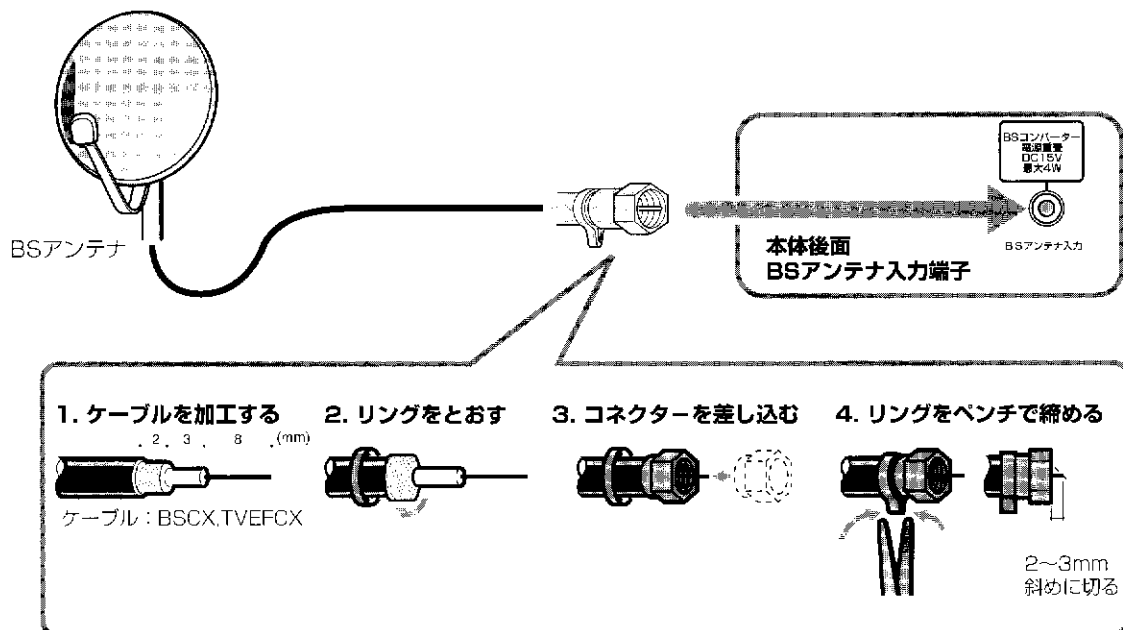


アンテナの接続と設定

BS アンテナをつなぐ

BSアンテナ（コンバーター付）をつなぎます。一番近い例を選んで、接続してください。

BSアンテナを接続するとき

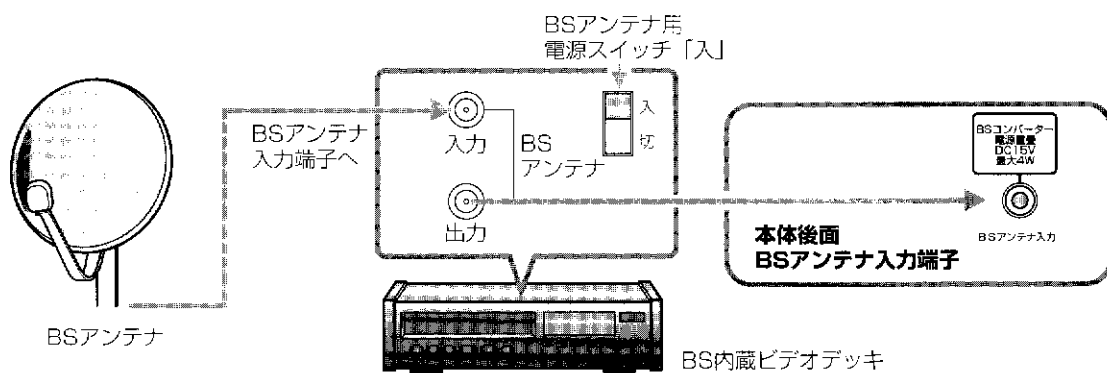


接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- 設定メニューの「各種設定」の「BS アンテナへの電源供給設定」を設定する。(P.61)
- 設定メニューの「初期設定」の「BS アンテナへの入力レベル表示」で、BS アンテナの向きを調節する。(P.62)
- 必要ならば、「初期設定」メニューの「BS チャンネルボタンの設定変更」で、BS チャンネルの設定を変更する。(P.63)

アンテナの
接続と設定

BS内蔵のビデオデッキも一緒に接続するとき



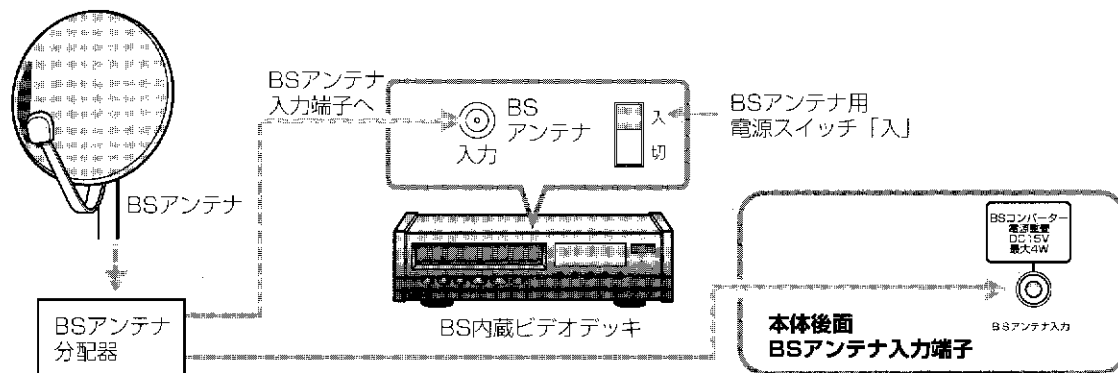
接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- 設定メニューの「各種設定」で「BSアンテナへの電源供給設定」を「供給しない」にする。(P.61)
- 設定メニューの「初期設定」の「BS アンテナへの入力レベル表示」で、BS アンテナの向きを調節する。(P.62)
- 必要ならば、「初期設定」メニューの「BS チャンネルボタンの設定変更」で、BS チャンネルの設定を変更する。(P.63)

アンテナの接続と設定

BS アンテナをつなぐ(つづき)

BS内蔵のビデオデッキ (BSアンテナ出力端子なし) も一緒に接続するとき



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- 設定メニューの「各種設定」で「BS アンテナへの電源供給設定」を設定する。(P.61)
 - BS アンテナ分配器が両通電のとき:「供給する」にする。
このときは、本装置またはビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。
 - BS アンテナ分配器が片通電のとき:「供給しない」にする。
このときは、ビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。
- 設定メニューの「初期設定」の「BS アンテナの入力レベル表示」で、BS アンテナの向きを調節する。(P.62)
- 必要ならば、設定メニューの「チャンネル合わせ」の「BS チャンネルボタンの設定変更」で、BS チャンネルの設定を変更する。(P.63)

BS(衛星)放送について

日本の南西、赤道上空約36,000kmにある放送衛星を経由してテレビ電波を受信するシステムです。平成11年9月現在でBS5、7、9、11チャンネルが放送されています。

BS5チャンネルはJBS (日本衛星放送株式会社) がWOWOWを、SDAB (衛星デジタル音楽放送株式会社) がSt.GIGAを有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結び必要があります。また専用のBSデコーダーが必要になります。

BS9チャンネルでは、ハイビジョンを放送していますが、このテレビでは受信できません。

BSアンテナをつなぐときは

- BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているとき
お住まいのマンション、集合住宅などで、共聴システムをお使いのときには分波器が必要です。ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。

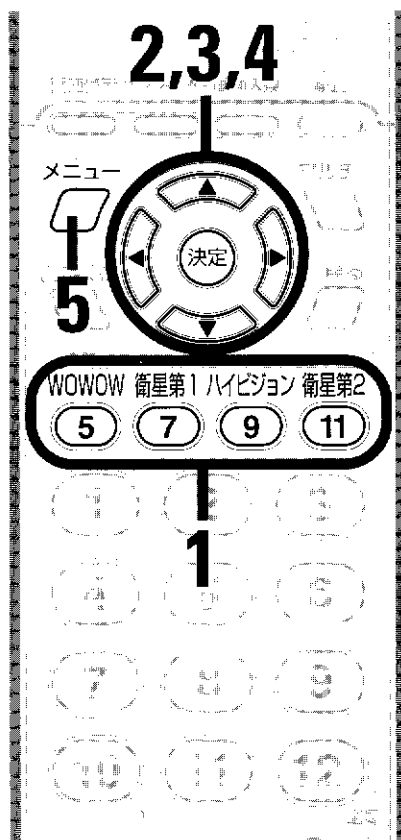
アンテナの接続と設定

BS の設定をする

■BSアンテナに電源を供給する

本機はBSアンテナに電源を供給できるようになっています。

「各種設定」メニューからBSアンテナに電源を供給するか、しないかの設定ができます。

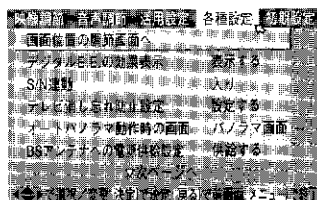


1

BS の設定をするために、BS チャンネルを選ぶ

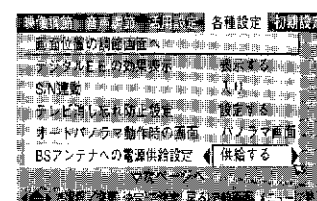
2

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」メニューを表示させる



3

カーソルボタン(▲▼)を押して、「BSアンテナへの電源供給設定」を選ぶ



4

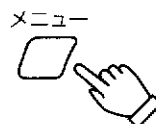
カーソルボタン(◀▶)を押して、設定を変更する

BSアンテナへの電源供給設定について

- 供給しない
本機からBSアンテナのコンバーターへ電源を供給しません。
マンションなどの共聴アンテナなどをお使いのときや、他のBS機器から電源を供給しているときに選びます。
- 供給する
本機からBSアンテナのコンバーターへ電源を供給します。
ただし、本機の電源を切ったときには、電源は供給されません。
(リモコンの電源ボタンを押して、電源を切ったときに、BSジャックが「入り(BS固定)」になっていれば、BSアンテナ電源は供給されます。)

5

メニューボタンを押して終了する



アンテナの
接続と設定

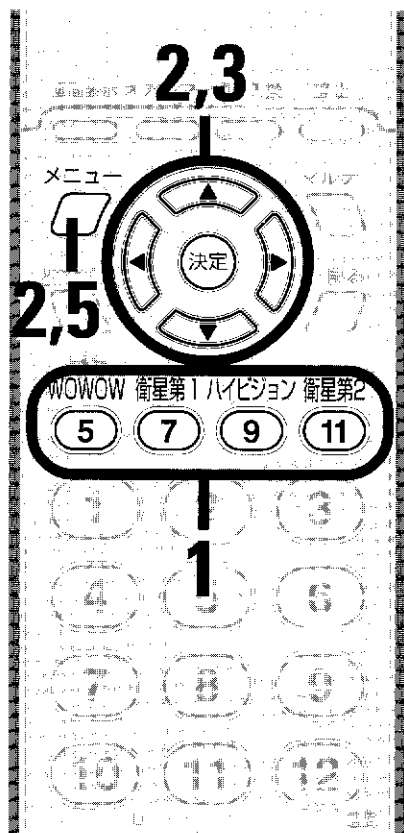
アンテナの接続と設定

BS の設定をする (つづき)

■BSアンテナの向きを調節する

本機はBSアンテナの向きを調節するときに、参考になるよう入力レベルを表示することができます。

「初期設定」メニューからBSアンテナに電源を供給するか、しないかの設定ができます。

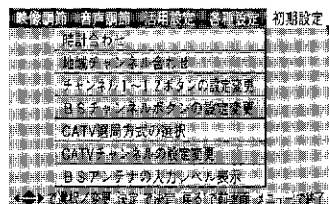


1

調節の前にBS放送のチャンネルを選ぶ

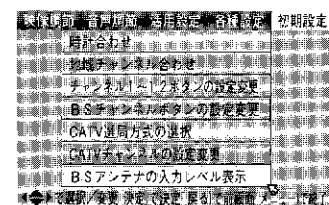
2

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」メニューを表示させる



3

カーソルボタン(▲▼)を押して、「BSアンテナの入力レベル表示」を選ぶ



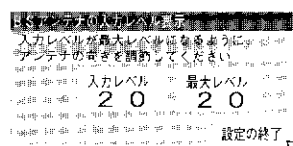
選んでから



4

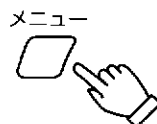
画面を見ながらBSアンテナの向きを調節する

画面上の「入力レベル」の数値が「最大レベル」に近づくように向きを調節します。



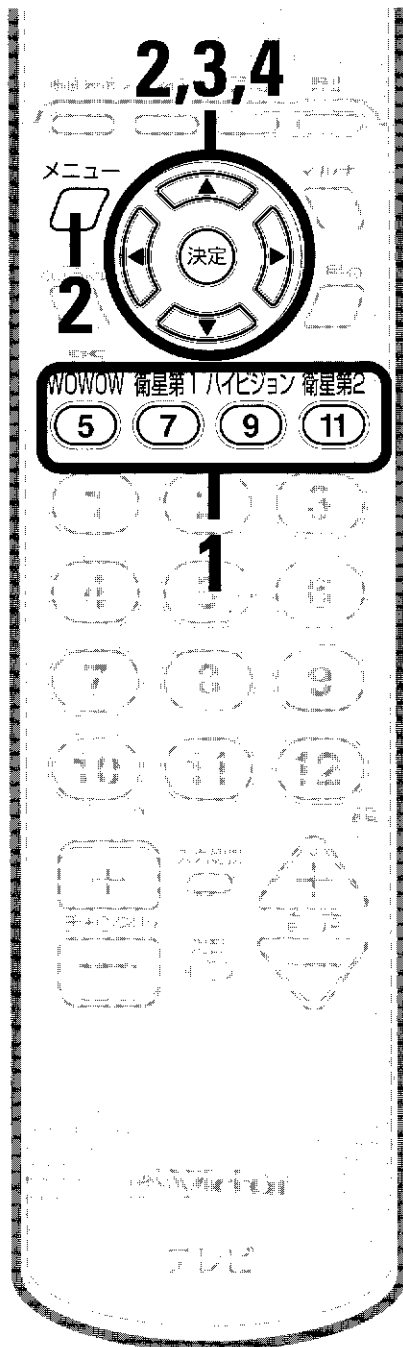
5

メニューボタンを押して終了する



■BSチャンネルの設定を変更する

BSチャンネルの画面表示とBSチャンネルのスキップを設定します。
通常は設定を変更する必要はありません。



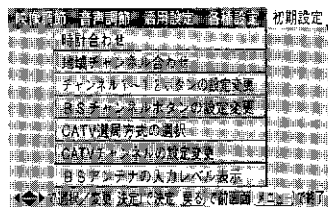
衛星第1	BS7
衛星第2	BS11
WOWOW	BS5

2000年5月現在

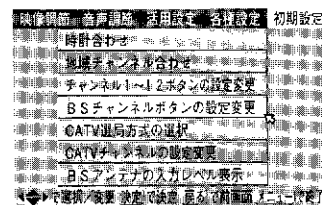
1
2
3
4

調節の前にBS放送のチャンネルを選ぶ

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」メニューを表示させる



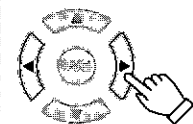
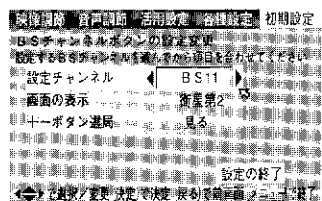
カーソルボタン(▲▼)を押して、「BSチャンネルボタンの設定変更」を選ぶ



選んでから



カーソルボタン(◀▶)で必要な設定を変更する



BSチャンネルボタンの設定について

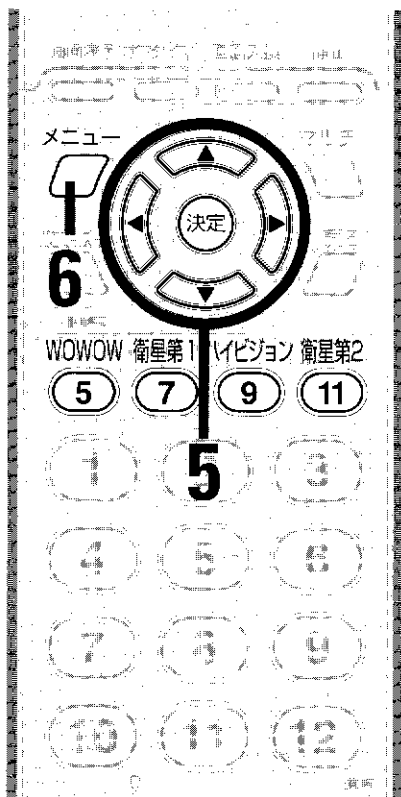
- 設定チャンネル
受信するチャンネルの番号を選びます。(BS1、3、5、7、9、11、13、15)
- 画面の表示
テレビ画面の表示を選びます。
(表示なし、衛星第1、衛星第2、WOWOW、ハイビジョン)
- ナーボタン選局
チャンネル+/-ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。
放送していないチャンネル(BS1、3、13、15)や受信できないチャンネル(BS9)は、「見ない」にします。

→次のページに続く

アンテナの
接続と設定

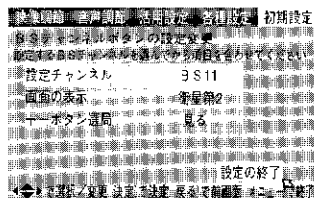
アンテナの接続と設定

BS の設定をする (つづき)



5

変更が終わったらカーソルボタン (▲▼) で「設定の終了」を選ぶ



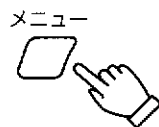
選んでから



- 他のBSチャンネルボタンの設定を変えるには「設定の終了」を選ぶ前に、手順1から5をくり返して、変更したいBSチャンネルボタン調整する。

6

メニューボタンを押して終了する



ハイビジョン放送は受信できません

リモコンボタンや画面表示に「ハイビジョン」の表示がありますが、このテレビではハイビジョン番組を受信することはできません。

BSチャンネルの選びかた

リモコンのふたを開けて、BSボタンを押し、続けて2つのチャンネルボタンを押します。

BS1	BS → 10 → 1
BS3	BS → 10 → 3
BS13	BS → 1 → 3
BS15	BS → 1 → 5

アンテナの接続と設定 時計を設定する

本機は時計機能を内蔵しています。お買い上げになったら、お使いの前に必ず時計の設定を行ってください。時計の設定をしていないと「おはようタイマー」などの機能が使えません。

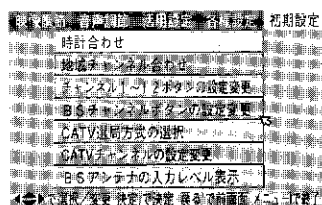


1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」メニューを表示させる

2

カーソルボタン(▲▼)を押して、「時計合わせ」を選ぶ



選んでから



3

数字ボタンを押して、時刻を設定する



時間設定について

- 午前・午後の設定
リモコンの数字ボタンで設定します。
午前なら①、午後なら②を押します。
- 時刻の設定
リモコンの数字ボタンで、現在時刻を入力します。

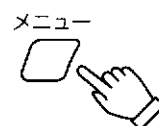
4

時報などに合わせて、決定ボタンを押す

時計が動き始めます

5

メニューボタンを押して終了する



アンテナの
接続と設定

AV 機器をつなぐ

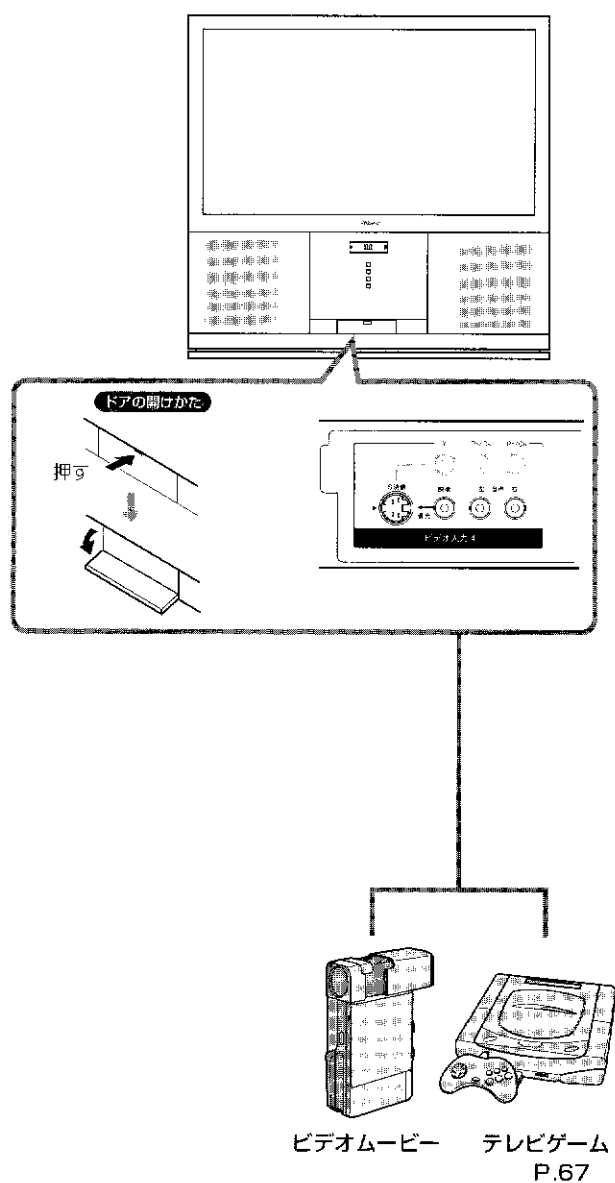
AV 機器などを接続する

AV 機器などを接続するには、それぞれの機器の電源を切ってから行います。
また、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

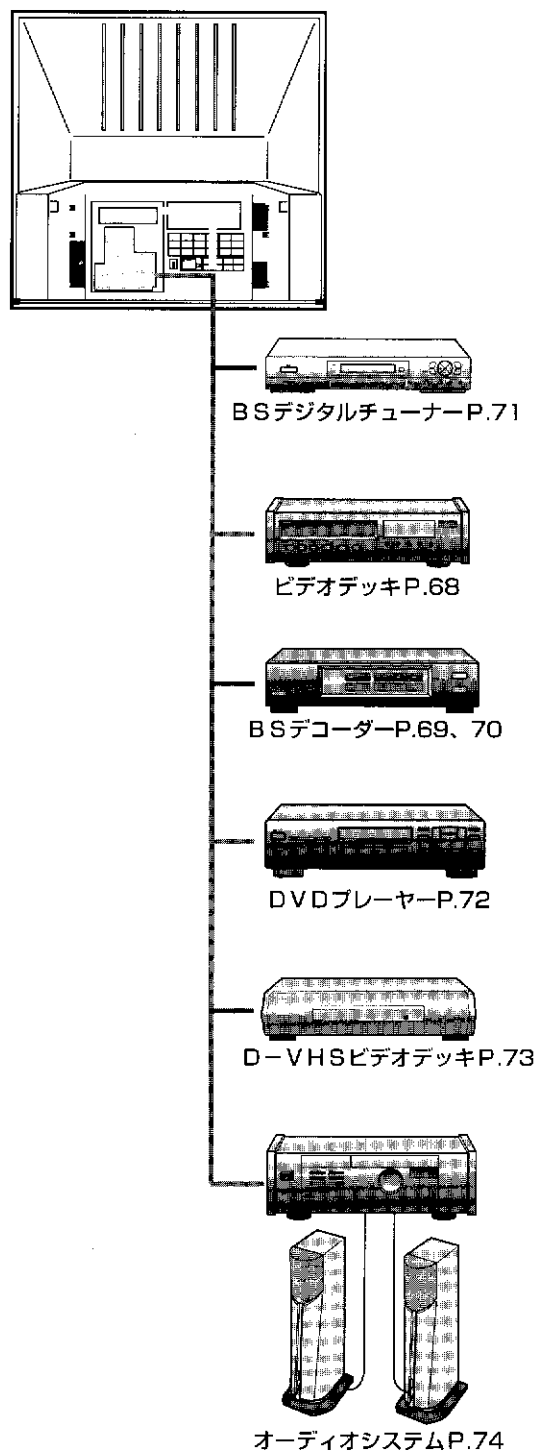
ビデオムービー/テレビゲームを接続する

接続できる機器

本体前面



本体背面

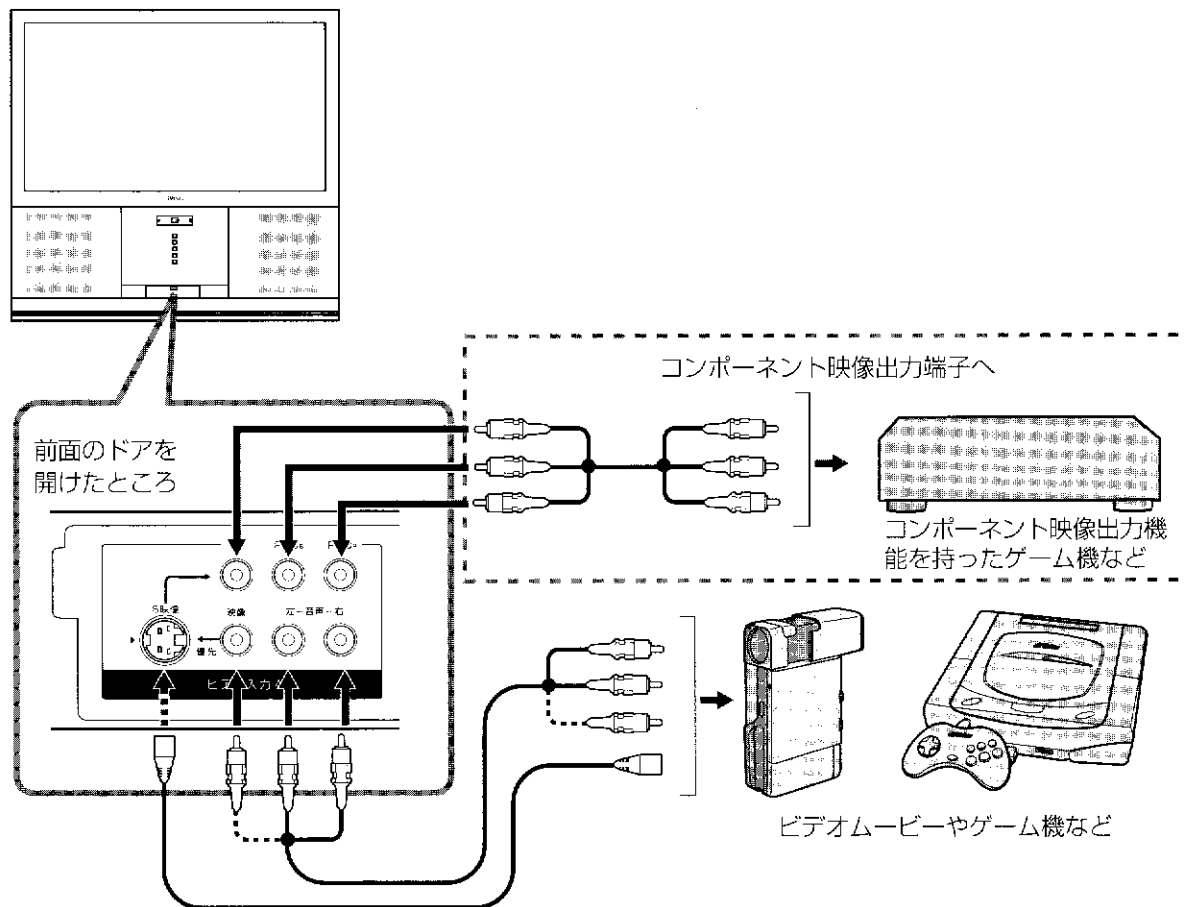


● MUSEデコーダーは接続できません。

ビデオ ムービーや テレビ ゲーム

を接続する

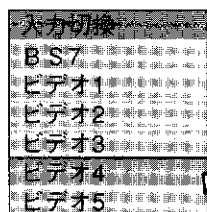
本体前面



- ビデオムービーやテレビゲームの接続には、専用の接続コードやアダプターが必要な場合があります。詳しくは、ビデオムービーやテレビゲームの取扱説明書をご覧ください。
- 複数の映像コードを同時に接続したときは以下の順に優先されます。
 1. コンポーネント映像コード
 2. S映像コード
 3. 映像コード

ビデオムービーやテレビゲームを楽しむには

「ビデオ 4」に切り換わるまで入力切換ボタンを何回か押す
画面右上に入力切換の表示がされます。



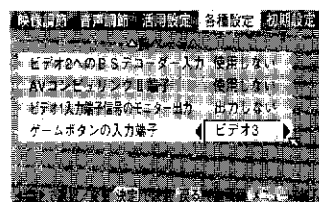
テレビゲームを楽しむとき

リモコンのゲームボタンを押します。
ゲームに最適な設定になります。(詳しくは、37ページをご覧ください。)

- ゲームボタンを押したときの入力端子の設定を変更したいときは、右記の設定をしてください。

ゲームボタンの入力端子の設定を変更するには

- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)で2ページの「ゲームボタンの入力端子」を選ぶ
- 3 カーソルボタン(◀▶)で設定を変更する



- 「ビデオ1」「ビデオ3」「ビデオ4」「設定しない」の中から選択できます。

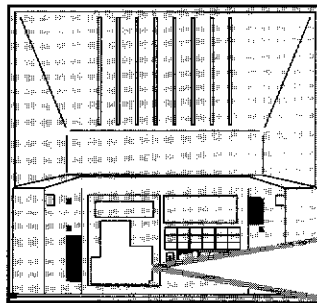
- 4 メニューボタンを押して終了する

ビデオデッキ

を接続する

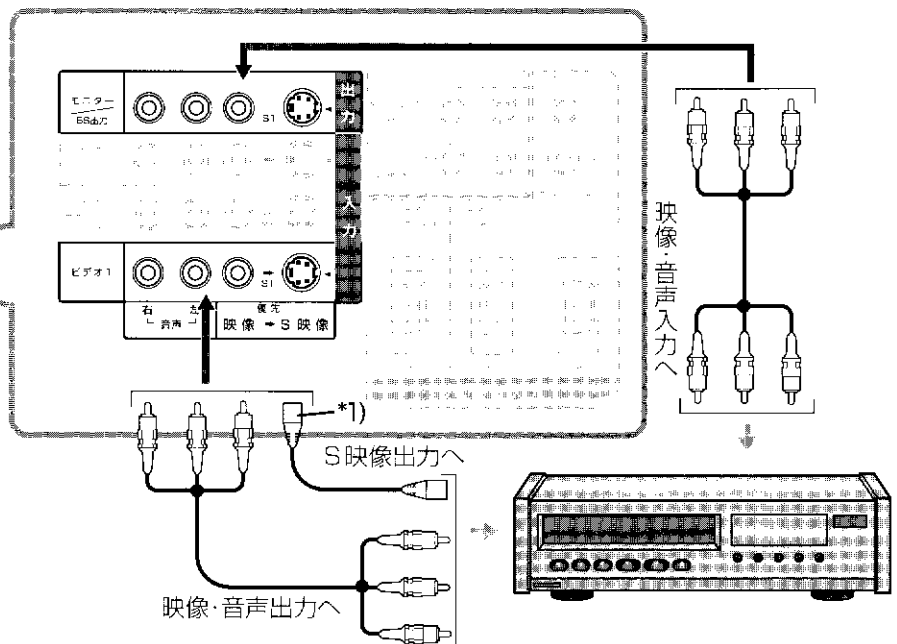
*ビデオデッキの取扱説明書もお読みください。

本体後面



アンテナの接続:

- VHF/UHFアンテナはビデオデッキ経由で本機につなぎます。(P.50)
- BSチューナーなしのビデオデッキでは、BSアンテナを本機につなぎます。(P.60)



*1) ビデオデッキにS映像出力があるときは、S映像コードで接続されることをおすすめします。

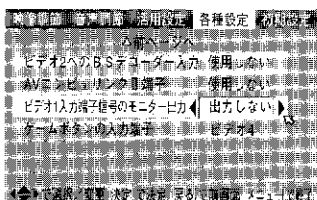
ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

AVコンピュリンクⅡ端子のあるビデオデッキは75ページをご覧ください。

ビデオ1を選んだとき、映像(単色)が周期的にみだれるときは

- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)で2ページ目の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を選ぶ
- 3 カーソルボタン(◀▶)で「出力しない」を選ぶ



- 4 メニューボタンを押して終了する

BS放送を録画するには

BSチューナー内蔵のビデオデッキをお使いのときは、ビデオデッキ側の操作で録画できます。(この操作は必要ありません)

- 1 録画したいBSチャンネルを選ぶ
- 2 ビデオデッキの入力を切り換え、外部からの入力を録画できるようにする
- 3 ビデオデッキで録画の操作をする
 - ビデオデッキの操作については、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

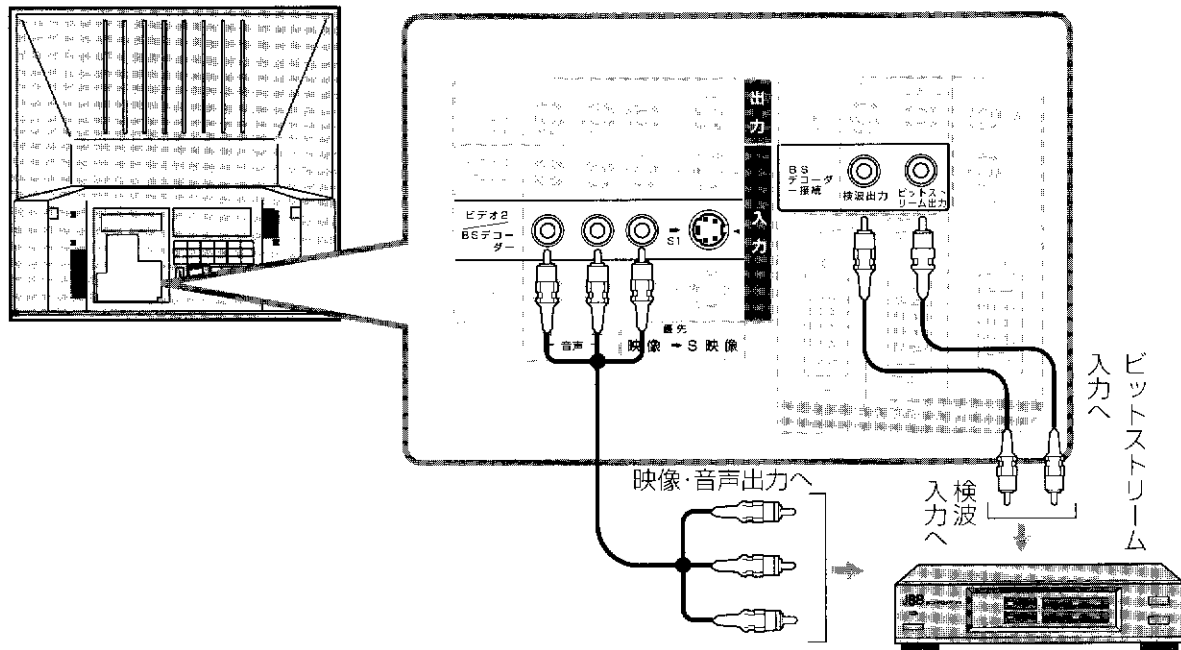
録画中にBSチャンネルが切り換わらないようにするには

1. 録画したいBSチャンネルを選ぶ
2. BSジャックボタンを押して、BSジャック「入り(固定)」を選ぶ
 - 本体表示窓のBSジャックランプが点灯します。
 - 録画が終わったらBSジャックボタンを押して、BSジャック「切り」を選ぶ。
 - BSジャックが「入り(固定)」のときは、BSチャンネルを変えることはできません。VHF/UHFを見たり、ビデオ入力を見ることができます。
 - BS放送を録画しながらテレビを見る(P.35)もお読みください。

BS デコーダー

を接続する

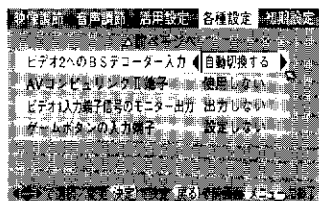
本体後面



接続後に次の設定をしてください

ビデオ2端子をBSデコーダーで使えるようにするには

- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)で2ページ目の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を選ぶ
- 3 カーソルボタン(◀▶)で「自動切換する」または「常に使用する」を選ぶ



設定について

- 「自動切換する」：BSデコーダーを接続したときに選びます。
- 「常に使用する」：BSデコーダーで独立音声を選んでSt.GIGA放送が聞けないなど、BSデコーダー入力として同定したときに選びます。
- 「使用しない」：ビデオ2の入力端子として使うときに選びます。

- 4 メニューボタンを押して終了する

基本操作

WOWOWを見るときは

- 1 デコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
 - 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
- 二重音声はBSデコーダー側で選びます。

St. GIGAを聞くとときは

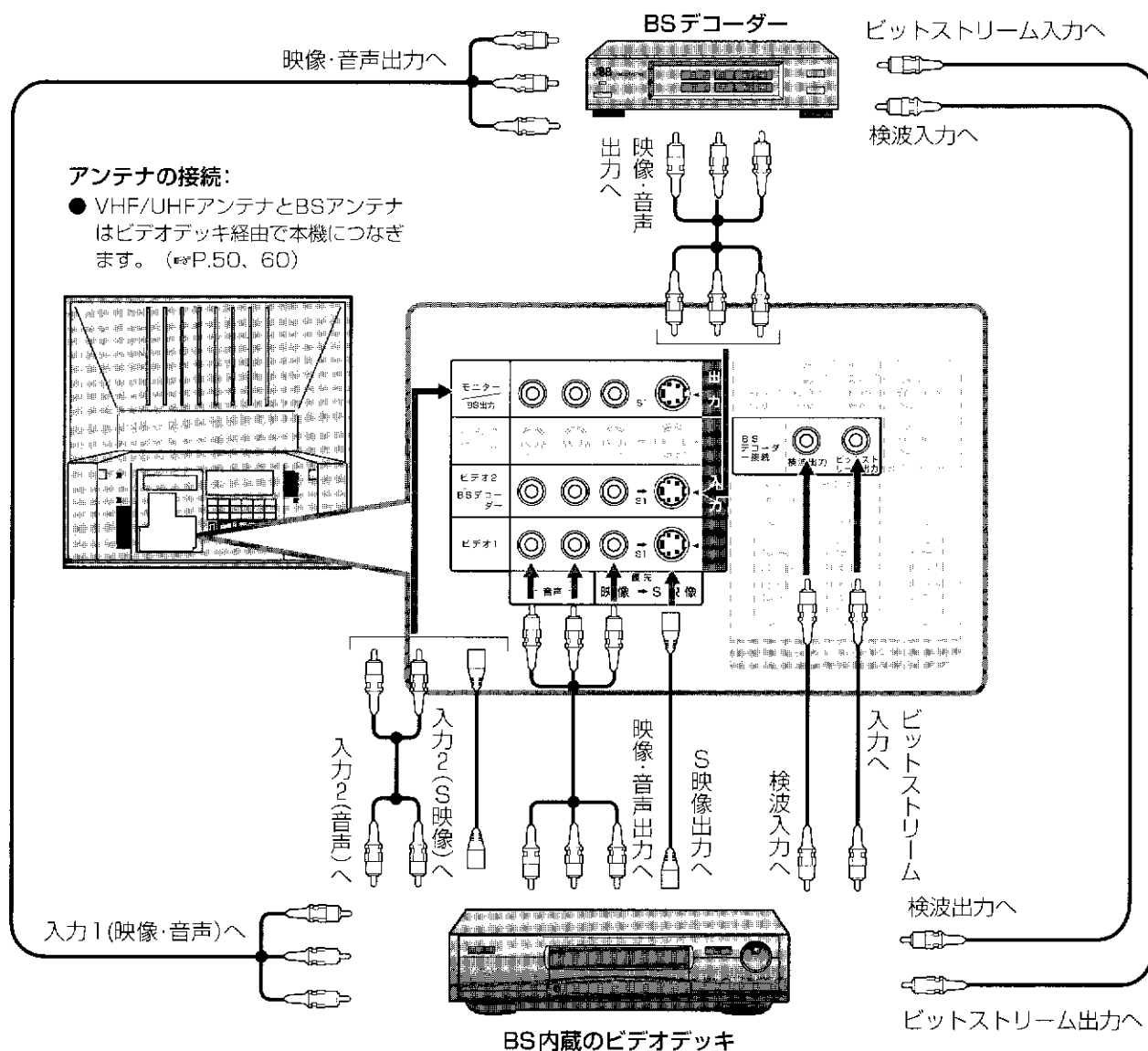
- 1 デコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
 - 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
 - 3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ
- BSデコーダー側で独立音声を選んでSt.GIGAの音声 が聞けないときは、設定メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」または「自動切換する」に設定してください。

AV機器を
つなぐ

BSデコーダー とBS内蔵 ビデオデッキ

を接続する

* 接続するビデオデッキに外部BS入力端子(機種により名前が異なることがあります)がないときは、68ページ、69ページの方法で接続してください。



接続後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」または「自動切替する」にする。(※P.69)
- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「出力しない」に設定する。(※P.68)

ビデオを見るときは

入力切替ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

WOWOWを見るときは

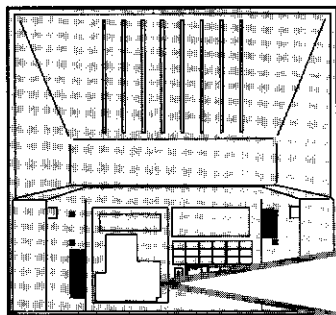
- 1 デコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
- 二重音声はBSデコーダー側で選びます。

St. GIGAを聞くとときは

- 1 デコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
- 3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ
- BSデコーダー側で独立音声を選んでSt. GIGAの音声は聞けないときは、設定メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」または「自動切替する」に設定してください。

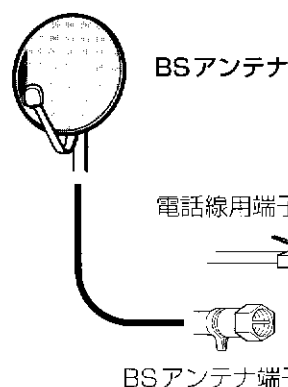
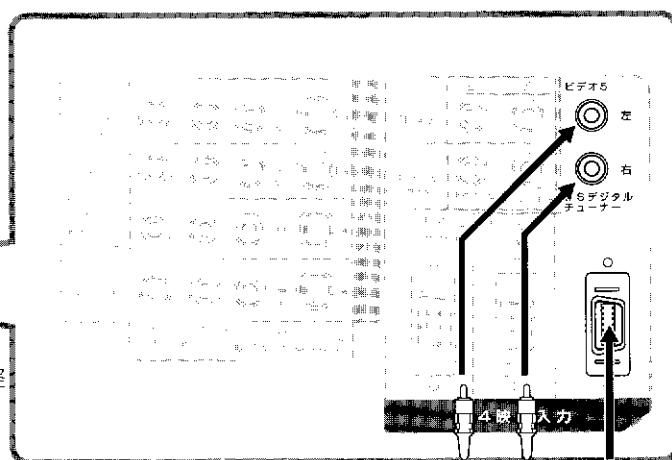
BS デジタル チューナー を接続する

本体後面



アンテナの接続:

- VHF/UHFアンテナはビデオデッキ経由で本機につなぎます。(※P.50)



BSアンテナ

電話線用端子へ

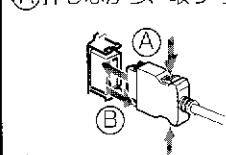
音声出力
端子へ

D端子出力へ

BSデジタルチューナー

D端子の取付、外しかた

①押しながら、取り付ける



②押しながら、取り外す

BSデジタル放送を見るには

1 デジタルチューナーの電源ボタンを押し、電源を入れる

2 入力切換ボタンを押して「ビデオ5」を選ぶ

- ビデオ5入力端子はD4端子専用の入力端子です。D端子が接続されていないと選ぶことはできません。

3 BSデジタルチューナー側でBSデジタルチャンネルを選ぶ

- BSデジタルチューナーのD端子が、D5の場合はD4出力になるように設定してください。

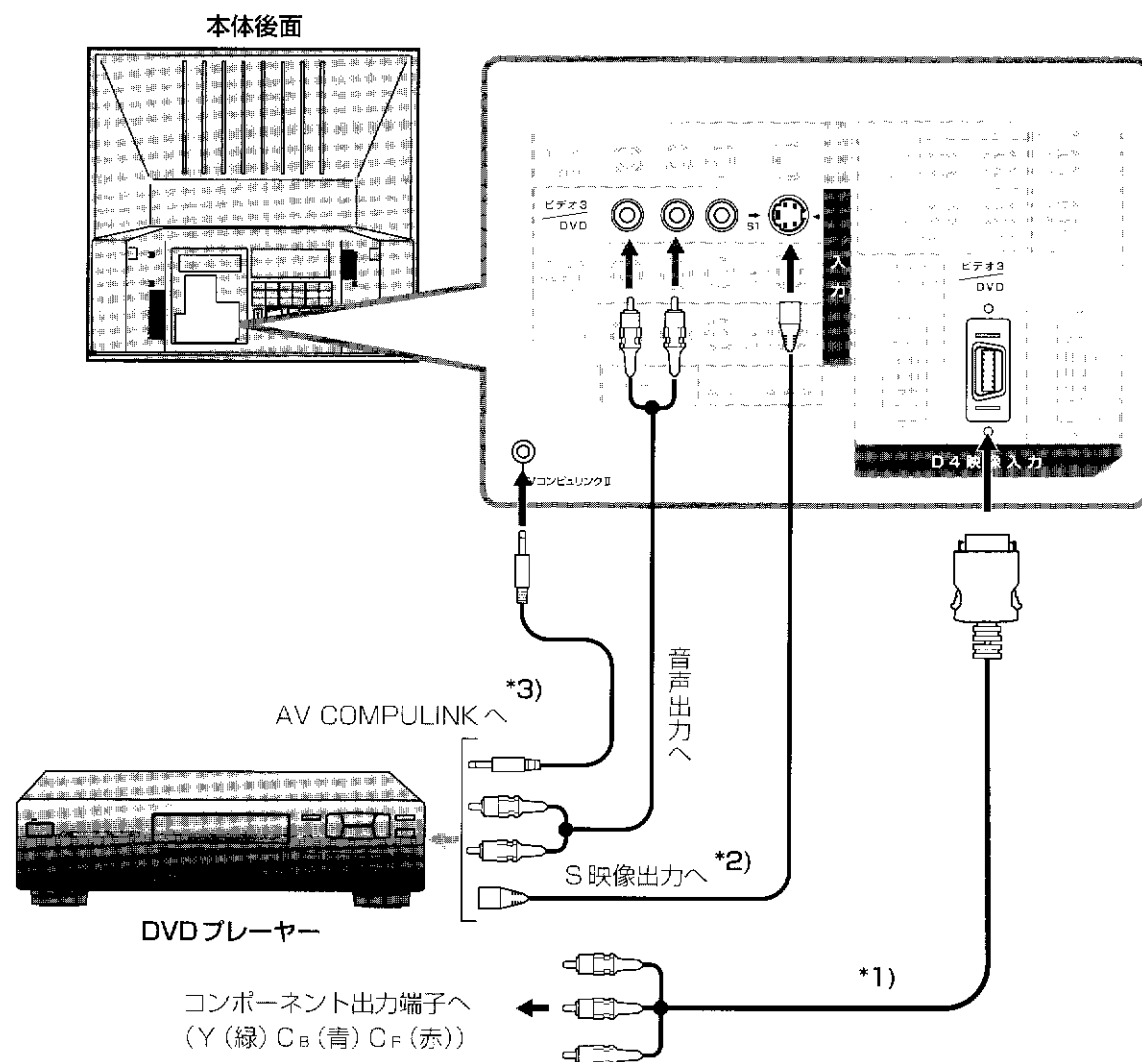
画面サイズについて

- ハイビジョン(1125i、750p)の映像信号を受信したとき画面サイズは自動的に「フル」になります。
- プログレッシブ(525p)の映像信号を受信したとき画面サイズは次のように自動的に切り換わります。
 - ・ 16:9の映像の場合: 「フル」になります。
 - ・ 劇場サイズの映像の場合: 「シネマ」になります。
 - ・ 通常の4:3の映像の場合: 「ノーマル」になります。
 画面サイズが自動的に切り換わった後で、オートパノラマ以外の中から、好きな画面サイズを選ぶことができます。
- 標準(525i)の映像信号を受信したとき画面サイズは次のように自動的に切り換わります。
 - ・ 16:9の映像の場合: 「フル」になります。
 - ・ 劇場サイズの映像の場合: 「シネマ」になります。
 - ・ 通常の4:3の映像の場合: 「設定メニューの「各種設定」の「オートパノラマ動作時の画面」で設定した画面サイズになります。
 画面サイズが自動的に切り換わった後で、好きな画面サイズを選ぶことができます。

つなぐ
AV機器を

DVD プレーヤー

を接続する



- *1) DVDプレーヤーのコンポーネント出力端子が、D端子のときは両端がDコネクタのコードをご使用ください。
- *2) コンポーネント出力端子を接続しているときでも、S映像コード（またはビデオコード）を接続しておくと、2画面のときに右画面にDVDの映像を表示することができます。
- *3) ピクチャー製のAVコンピュリンクII端子があるDVDプレーヤーを接続するときにつなぎます。AVコンピュリンクコードがないときは、モノラルミニプラグ付接続コード（別売り：CN-120A）をご使用ください。AVコンピュリンクIIについては75ページをお読みください。

接続後に次の設定をしてください

- DVDプレーヤーのマルチアスペクト（画面サイズ）をワイド画面用の設定にしてください。詳しくは、お手持ちのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DVDを見るときは

入力切換ボタンを押し、「ビデオ3」を選びます。

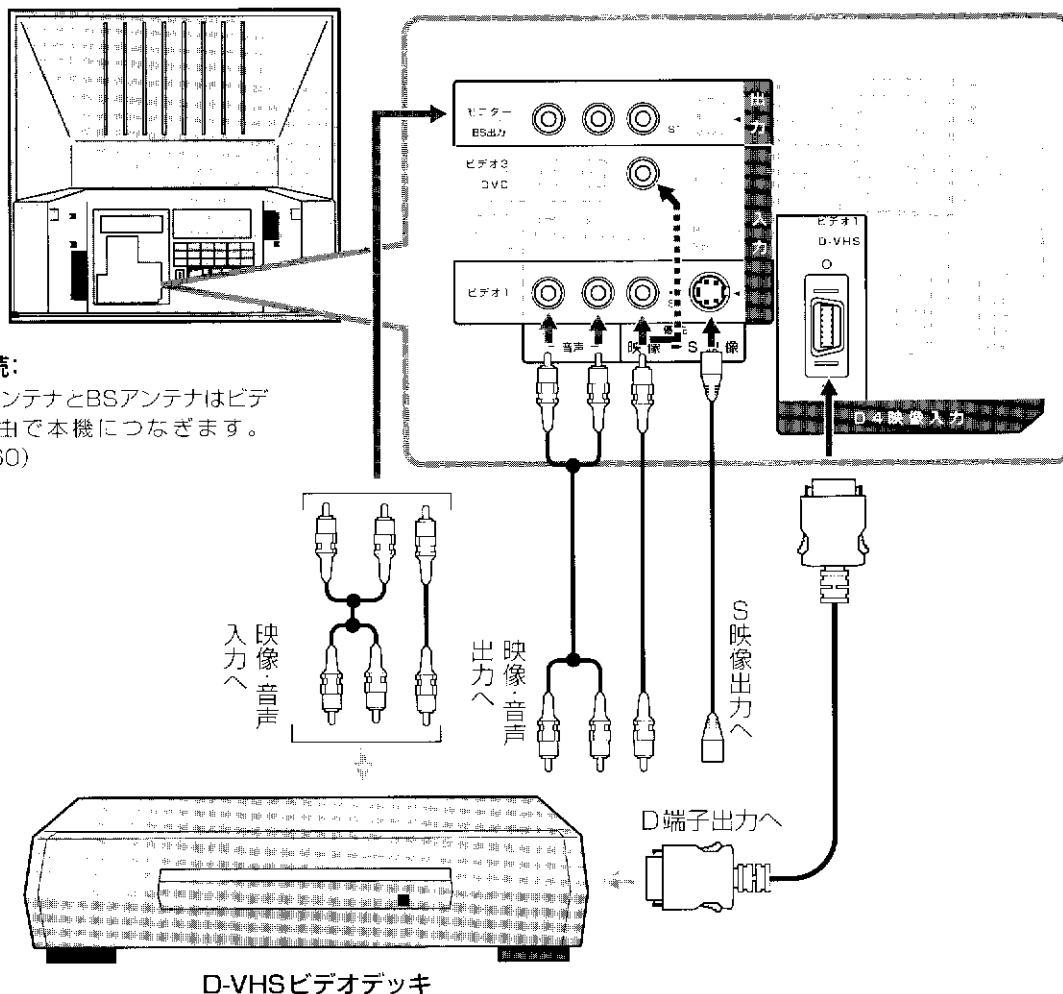
D-VHS を接続する

D端子があるときは

D端子コードと音声コードを接続します。

D端子コードがないときは、S端子コードと音声コードを使って接続します。

本体後面



アンテナの接続:

- VHF/UHFアンテナとBSアンテナはビデオデッキ経由で本機につながります。(※P.50、60)

接続後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「出力しない」に設定する。(※P.68)

ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

AVコンピュリンクⅡ端子のあるビデオデッキは

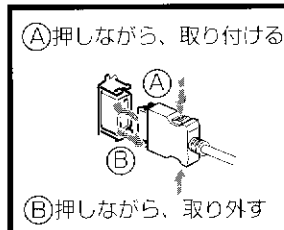
75 ページをご覧ください。

HM-DR10000(ビクター製D-VHSビデオデッキ)を接続するときの注意

D端子コードで接続するとD-VHSビデオデッキの画面表示が出なくなります。

ビデオ3などに映像コードを接続し、入力切換を「ビデオ3」などに切り換えて操作を行ってください。

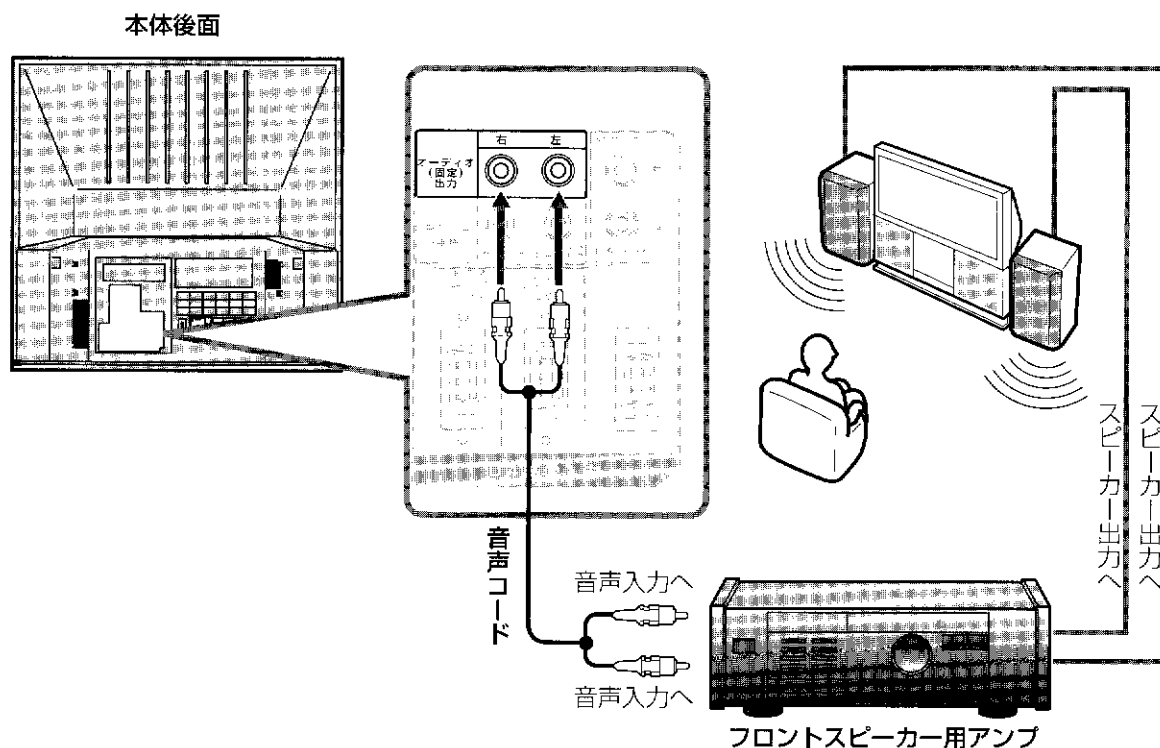
D端子の取付、外しかた



つなぐ
AV機器を

アンプ (オーディオシステム) を接続する

別売りのアンプとのスピーカーでステレオ音声を楽しむことができます。



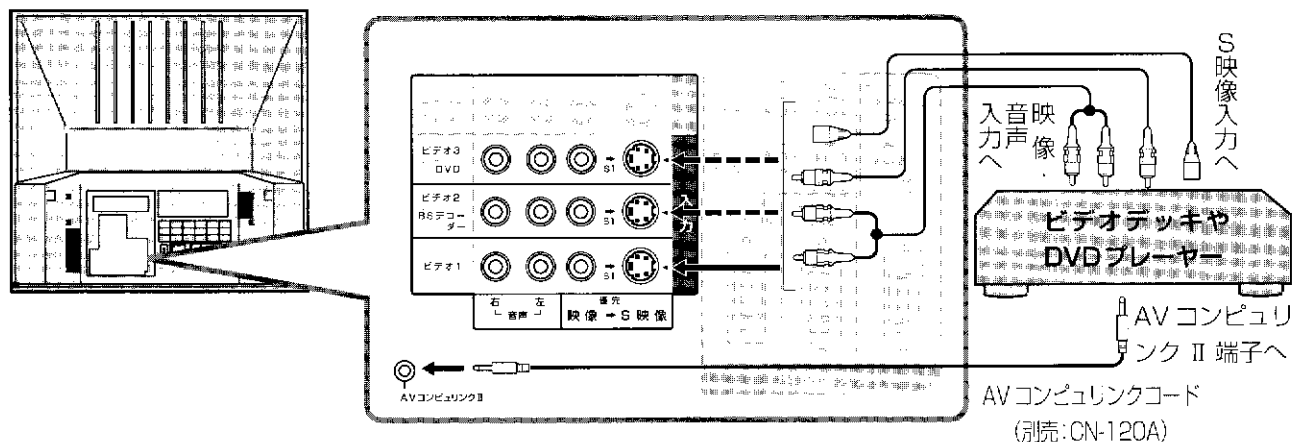
オーディオシステムでステレオ 音声を楽しむには

詳しくは、アンプ(オーディオシステム)の取扱説明書
をご覧ください。

- 1 アンプ(オーディオシステム)の電源を入れる
- 2 アンプ(オーディオシステム)のソースセクター(入力切換)で本機の音声を選ぶ
- 3 アンプ(オーディオシステム)で音量を調節する

AVコン ピューリンク II を接続する

本体後面



AV コンピューリンク II とは

AVコンピューリンクII端子のあるビデオデッキやDVDを専用のコードで接続することで、操作の手間をはぶくことができます。

AV コンピューリンク II でできること

ビデオデッキのとき

ビデオデッキ側の操作	テレビの動作
ツメを折ったビデオテープを入れる	テレビの電源が入る
再生の操作をする	ビデオ入力切り換わる
BSチャンネルを選ぶ	BSチャンネルに切り換わる
BSチャンネルのタイマー録画	BSジャックが「入り (BS固定)」になる
電源を切る	ビデオデッキ側の操作で、BSジャックが「入り (BS固定)」になっていたとき、BSジャックは「切り」になる

DVDプレーヤーのとき

DVDプレーヤーの再生操作をする	テレビの電源が入る ビデオ入力切り換わる
------------------	-------------------------

AV コンピューリンク II を使えるようにするには

- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)で2ページ目の「AVコンピューリンク II 端子」を選ぶ
- 3 カーソルボタン(◀▶)で「使用する」を選ぶ
- 4 メニューボタンを押して終了する

ビデオデッキの設定 (機器の取扱説明書もお読みください)

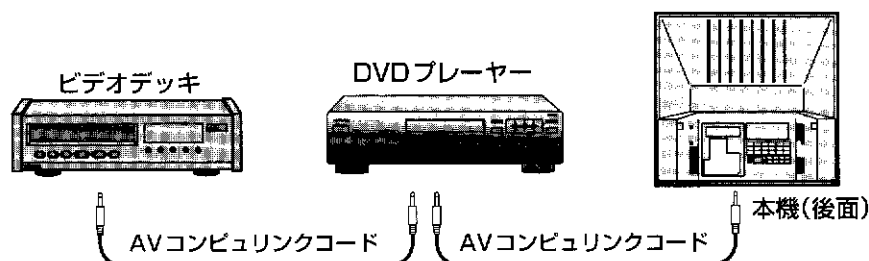
ビデオデッキのリモコンコードの設定をAコードに設定する (ビデオデッキをビデオ1入力に接続したとき。ビデオ2入力に接続したときは「Bコード」に設定します。)

DVDプレーヤーの設定 (機器の取扱説明書もお読みください)

DVDプレーヤーのAVコンピューリンクモードを「DVD1」に設定します。 (ビデオ3入力に接続したとき。ビデオ1入力に接続したときは「DVD2」、ビデオ2入力に接続したときには「DVD3」に設定します。)

ビデオデッキとDVDプレーヤーの両方を接続するには

DVDプレーヤーには、2つのAVコンピューリンクII端子がありますので、DVDプレーヤーを経由するかたちで接続します。



AV
機器を
つなぐ

メンテナンス フィルターの掃除

本機の性能を維持するために、定期的なフィルターの掃除をしてください。特に、ほこりの多い場所などでは、こまめなフィルターの掃除を心がけましょう。

1 電源を切る

リモコンまたは本体の電源ボタンを使って電源を切ってください。電源を切るとしばらくクールダウンしたあと、本体は待機状態になります。

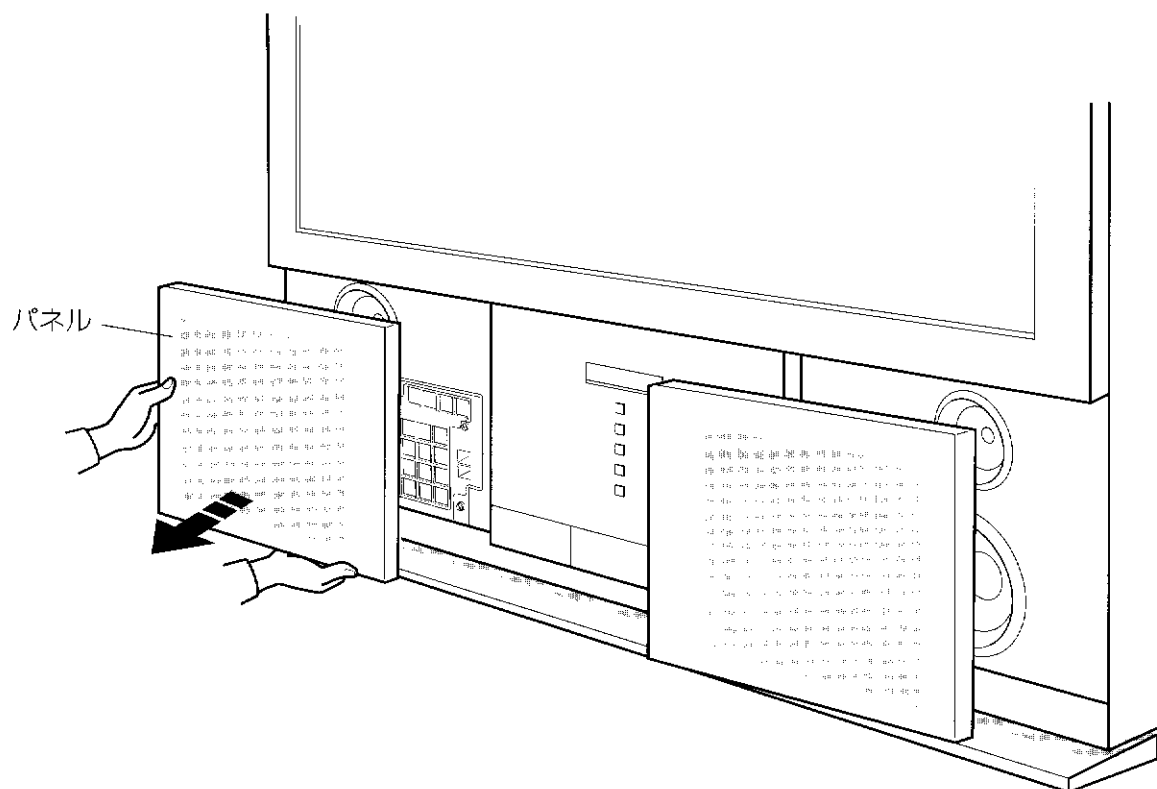
- クールダウン中は、前面のランプ/電源ランプが点滅します。

2 電源プラグをコンセントから抜く

光源ランプのクーリング（冷却）後、電源コードをコンセントから抜いてください。

3 前面パネルをはずす

前面パネルの外側と下側の中央部分を持ち、落とさないように手前に引いて、はずします。



⚠ 注意

● フィルターを破ってしまったときは
フィルターが破れたままの状態では、使用しないでください。内部にゴミやほこりが入ると、ゴミやほこりの影が画面に映る場合があります。

フィルターが破れた場合は、販売店またはお近くのビクターサービス窓口（P.88）にご相談ください。

● フィルターがぬれているときは
フィルターが乾くまで使用しないでください。水滴が入ると、水滴の影が画面に映ったり、故障の原因となります。

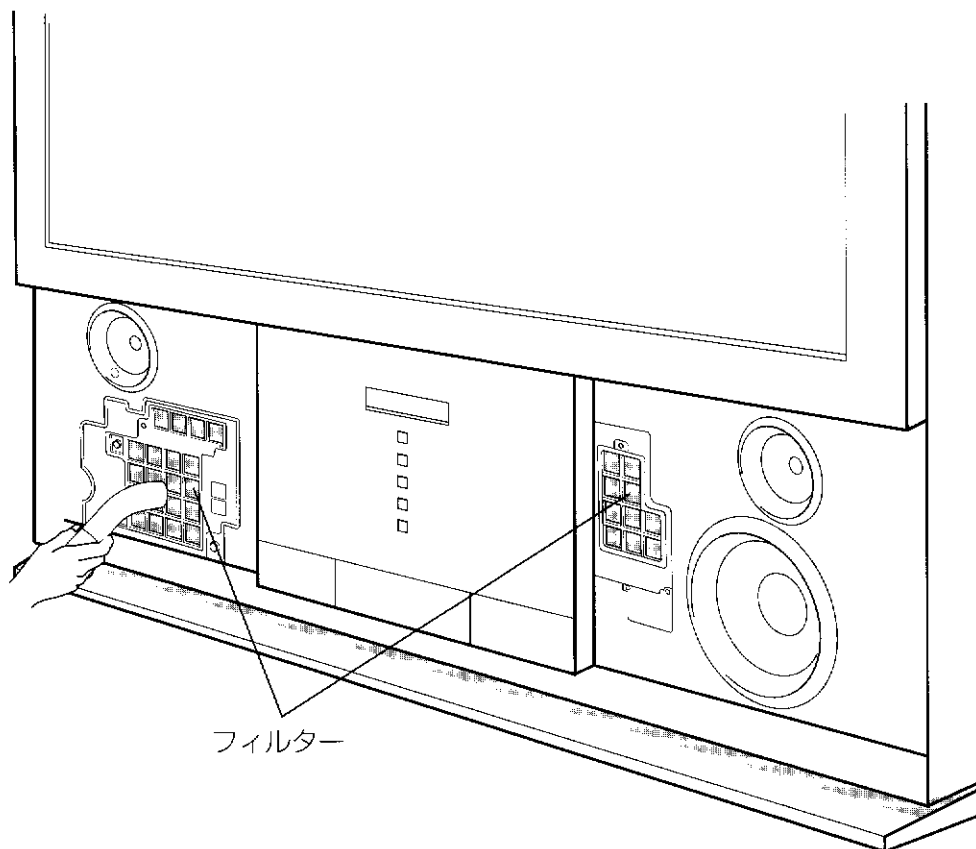
4

フィルターを掃除する

フィルターを本体から取り外さずに掃除機を使って、フィルターについたほこりを吸い取ってください。

注意：

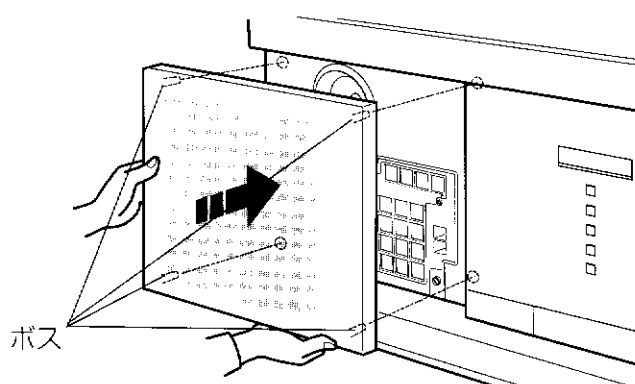
- 掃除機の口先を直接フィルターに当てないようにしてください。掃除機の口先を当てるくらい近づけると、吸引力によりフィルターが破れる場合があります。
- フィルターを指で押ししたり、掃除機の先などでつついたりしないでください。フィルターが破れる場合があります。



5

前面パネルを元に戻す

パネルには向きがあり、逆付けできません。四隅のボスを本体の4つの穴に合わせて押し込み、しっかり固定してください。軽く押し込んでもパネルが収まらないときは、パネルの向きを確認してみてください。



メンテナンス／
こまめなときは

メンテナンス

光源ランプユニットの交換のしかた

光源ランプユニットは消耗品です。

映像が暗くなったときや光源ランプが切れたときは、最寄りの電気店で光源ランプユニット（別売：PK-CL202）をお買い求めになり、新しい光源ランプユニットと交換してください。

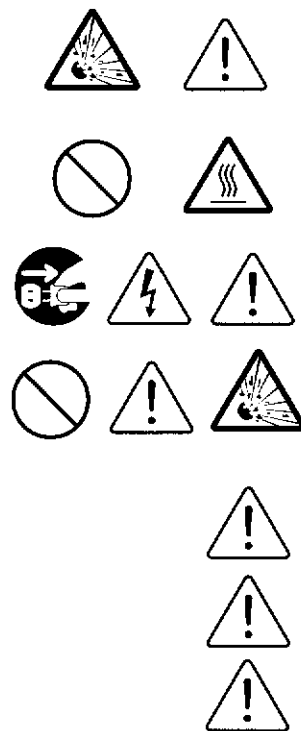
- 光源ランプの使用時間を確認する場合は（P.81）
- 光源ランプ交換するときは、手順通りに確実に取り付けてください。
取り付けが、不十分のときには電源が入りません。



ランプが切れるときに、音がすることがありますが、危険はありません。

！ 注意

- 光源ランプユニットはPK-CL202を使用してください。指定品以外を使用すると故障の原因となります。また、使用済みの古い光源ランプユニットは絶対に使用しないでください。古い光源ランプユニットを使用すると性能が著しく低下したり、光源ランプユニットが破損して、機器が故障する原因となります。
- 光源ランプユニットの交換は、本機の使用直後にはおこなわないでください。光源ランプユニットが高温になっていて、やけどの原因となることがあります。必ず、1時間以上の冷却時間をおいてから交換作業をおこなってください。
- 光源ランプユニットの交換作業をおこなうときは、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを差しこんだまま作業をすると、けがや感電の原因となります。
- 光源ランプユニットのガラス面に直接手でさわったり、汚したりしないでください。素手でさわると手の油や汚れがつき、光源ランプユニットの寿命が短くなったり、破損して、故障の原因となることがあります。新しい光源ランプユニットはプラスチック部分を持ってください。金属部分やガラス部分は絶対にさわらないでください。
- 交換した古い光源ランプユニット（使用済み光源ランプユニット）は、蛍光灯と同じ扱いで廃棄できます。
- 取り出した光源ランプユニットが熱いときに水などをかけないでください。ガラスが割れて危険です。
- 取り出した光源ランプユニットをお子様の手の届くところや、燃えやすい物の近くには置かないでください。
- フィルター裏の突起部を破損しないように注意してください。破損しますと電源が入らなくなります。（※P.79）



1

電源を切る

リモコンまたは本体の電源ボタンを使って電源を切ってください。電源を切るとしばらくクールダウンしたあと、本体は待機状態になります。

- クールダウン中は、前面のランプ/電源ランプが点滅します。

2

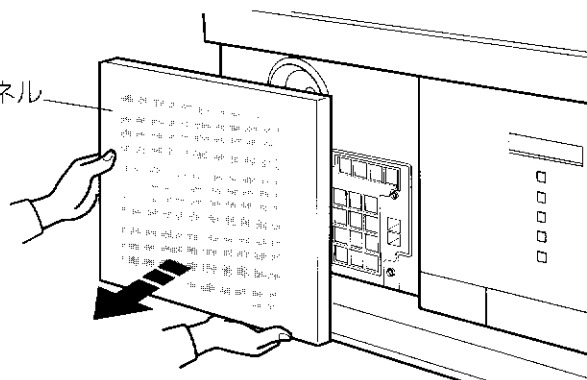
電源プラグをコンセントから抜く

光源ランプのクーリング（冷却）後、電源コードをコンセントから抜いてください。光源ランプが冷めるまで約1時間待ちます。

3

前面左パネルをはずす

前面左パネルの左側と下側の中央部分を持ち、落とさないように手前に引いて、はずすパネルします。



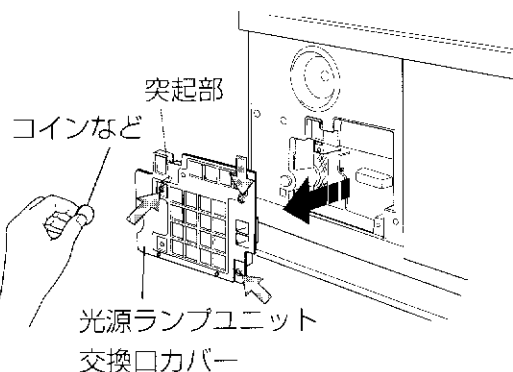
4

光源ランプユニット交換口カバーをはずす

コインなどを使って光源ランプユニット交換口カバーの固定用ネジ（で示した3ヶ所のネジ）をゆるめてください。

注意：

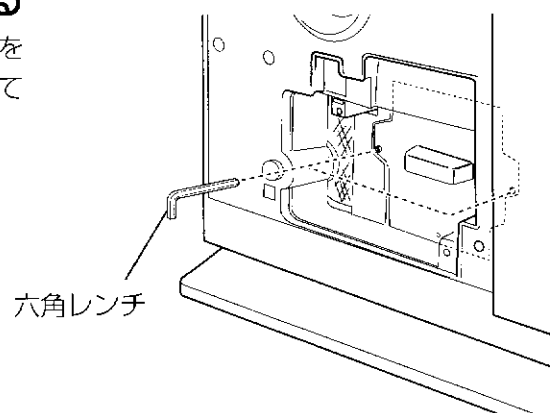
- フィルター裏の突起部を破損しないように注意してください。破損しますと電源が入らなくなります。



5

光源ランプユニットのネジをゆるめる

別売りの光源ランプユニットに付属の六角レンチを使って、光源ランプユニットの左右のネジをゆるめてください。



→次のページに続く

メンテナンス／
こまめなときは

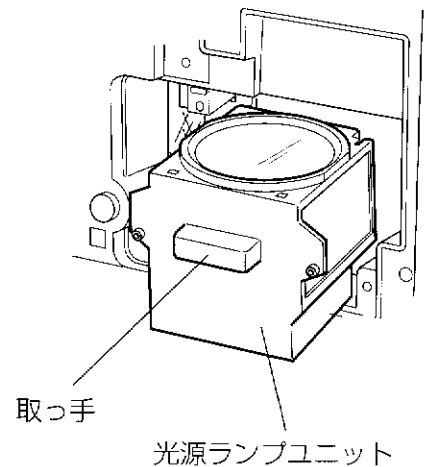
光源ランプユニットの交換のしかた (つづき)

6

取っ手を持って、光源ランプユニットを引き出す

注意：

- 光源ランプユニットのガラス部分や金属部分には絶対さわらないでください。手の油や汚れがつくと、ランプの破損や故障の原因になります。



7

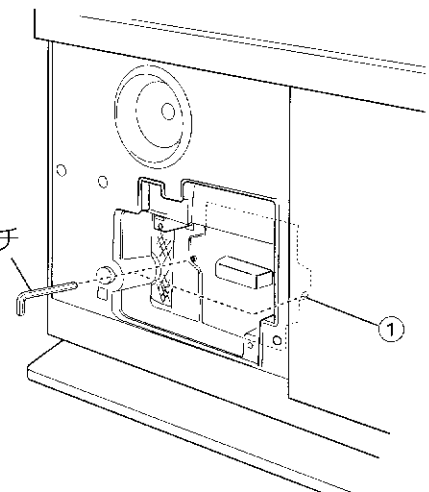
新しい光源ランプユニットを奥まで挿入し、ネジを締める

別売りの光源ランプユニットに付属の六角レンチを使って、光源ランプユニットの左右のネジを締めてください。このとき、向かって右側のネジ①から先にネジを締め、ある程度締めたら、左右のネジを交互に少しずつ締めて、確実に奥まで締めてください。

注意：

- 光源ランプユニットがしっかり取り付けられていない状態で電源を立ち上げようとすると、本体前面のスタンバイランプとランプ/電源ランプが同時に点滅し電源が立ち上がりません。このような症状になったときは、本機をリセットするために、コンセントから電源プラグを1分以上抜いた後、光源ランプユニットを取り付けし直してください。

六角レンチ



8

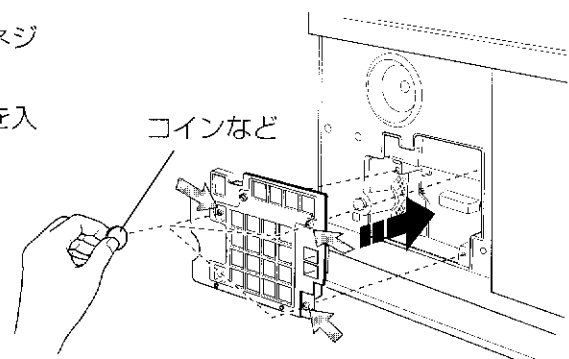
ランプ交換口カバーを締める

コインなどを使ってランプ交換口カバーの固定用ネジ(※で示した3ヶ所のネジ)を締めてください。完全にネジ止めされていない場合は、本機の電源を入れることはできません。

注意：

- しっかりネジ止めされていない状態で電源を立ち上げようとしても、電源が立ち上がりずにクーリングモードに入ります。このようなときはランプ交換口カバーを取り付けし直してください。

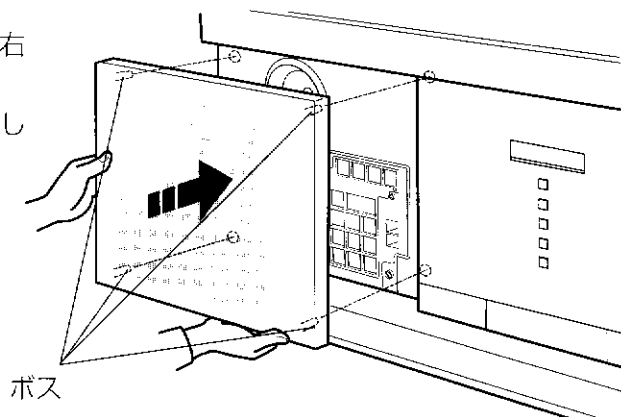
コインなど



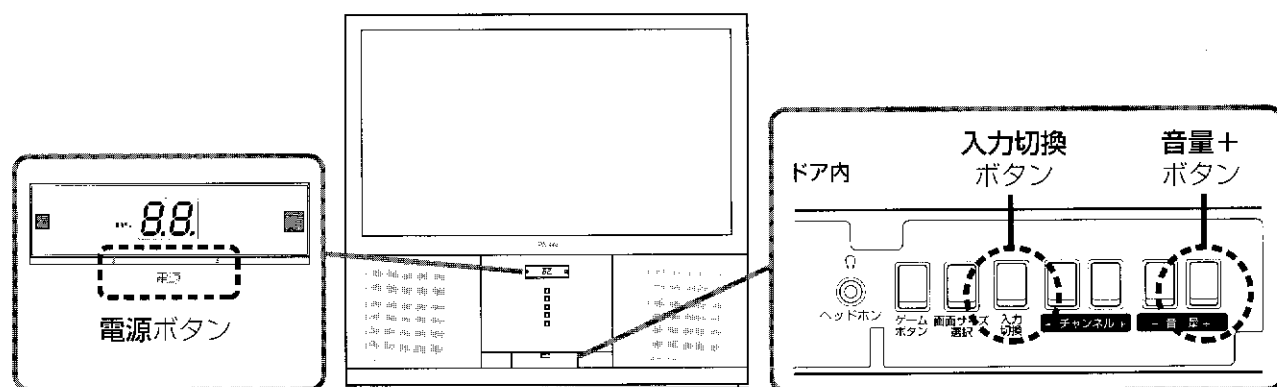
9

前面左パネルを元に戻す

パネルには向きがあり、逆付けできません。右パネルと対称になるように取り付けます。四隅のボスを本体の4つの穴に合わせて固定してください。



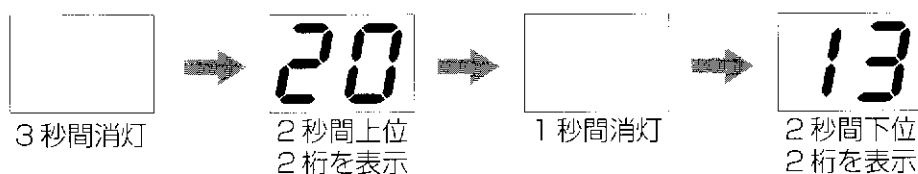
光源ランプの使用時間を確認するには



光源ランプの使用時間を表示する

本体前面の入力切替ボタンと音量+ボタンを押しながら、電源ボタンを押します。チャンネル表示部に使用時間が表示されます。

●2013時間使用したときの表示例



使用時間表示を終了するには

本体前面の電源ボタンを押します。

メンテナンス
こまめなときは

故障かな?と思う前に

症状とその原因と対処方法 (Q&A)

修理をご依頼される前に、もう1度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

Q 症状

A 原因と対処 (参照ページ)

●電源が入らない

■ 電源プラグがはずれていませんか? (P. 20)

■ 「スタンバイランプ」と「ランプ/電源ランプ」が同時にあるいは交互に点滅をしていませんか? 点滅をしている場合は、本機に異常があります。(P. 85) お買い上げの販売店あるいは、最寄りのビクターご相談窓口にご相談ください。(P. 88)

■ 本体前面のランプ/電源ランプが点滅していませんか? 光源ランプのクーリング中は、キー操作を受け付けません。

●リモコンで操作できない

■ リモコンのボタンを押したときに、リモコン上部の操作ランプが暗かったり、点滅しなければ、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。(P. 18～P. 19)

●正常に動作しない

■ 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなったときは、1度電源を切り、1分間以上電源コードをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

●VHF/UHFが映らない

■ アンテナは正しく接続されていますか。(P. 50)

■ チャンネル合わせは済んでいますか。(P. 52～P. 55)

●CATVが映らない

■ 受信契約はお済みですか。

■ ケーブルは正しく接続されていますか。

■ チャンネル+／－ボタンで選べないときは、「+／－ボタン選局」の設定を「見る」にしてください。(P. 57、58)

●BSが映らない

■ BSアンテナは正しく接続されていますか。(P. 59)

■ BSアンテナの向きが変わっていませんか。(P. 62)

■ コンバーターに電源が供給されていますか。(P. 61)

Q 症状

A 原因と対処(参照ページ)

●BS有料放送が映らない

- BSデコーダーは正しく接続されていますか。(P.69、70)
- BSデコーダーの電源は入っていますか。(P.69、70)
- 設定メニューの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」は「自動切換する」または「常に使用する」になっていますか。(P.69)

●「ビデオ5」が選べない

- 本機後面のビデオ5入力端子に何も接続されていないときは、「ビデオ5」は選べません。

●色が出ない、おかしい

- 色あいや色の濃さの調節がズれていませんか。映像調節をやり直してください。(P.39)
- 受信周波数がズれていませんか。設定メニューの「チャンネル合わせ」で「受像微調整」をしてみてください。(P.55)

●音が出ない

- ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか。
- 消音ボタンを押していませんか。(P.23)

●音声重なって聞こえる

- 二重放送の音声は「主+副音声」になっていませんか。(P.43)

●音声切り換えられない

- 設定メニューの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を確認してください。設定が「自動切換する」または「常に使用する」になっているときは、BSデコーダーでしか音声の切り換えができません。(P.69)
- BSジャックが「入り(BS固定)」のときは、音声は切り換えられません。(P.35、68)

●チャンネルを選ぶときの動作がおかしい

- CATVのチャンネル選局方式が「数字入力方式」に設定されているときは、CATV以外のチャンネル選局も2桁入力になります。CATVをご覧にならないときは、CATVのチャンネル選局方式を「12ボタン方式」にしてください。(P.56)

●接続したビデオ機器からの映像、音が出ない

- ビデオ機器は正しく接続されていますか。(P.67～P.75)
- 正しいビデオ入力を選んでいませんか。(P.23)
- ビデオ機器の電源は入っていますか。

故障かな?と思う前に

症状とその原因と対処方法 (Q&A) (つづき)

Q 症状

●突然電源が切れた

A 原因と対処(参照ページ)

- オフタイマーを設定していませんか。(P.23)
- 放送終了後に電源が切れたときは、無信号電源オートオフ機能が働いたためです。(P.47)
- テレビ消し忘れ防止を設定していませんか。(P.49)
- 本体前面の「スタンバイランプ」と「ランプ/電源ランプ」が2つとも点滅していませんか。(P.85)

●画面表示が消えない

- ビデオ機器の映像が映っていますか。受信できるチャンネルを選んでいますか。入力信号がないときは強制的に表示され、消すことはできません。(P.23)

●BSチャンネルが選べない

- BSジャックランプが点灯していませんか。BSジャックが「入り(BS固定)」のときは切り換えられません。録画が終わってからBSジャックを解除してください。(P.35、68)

●映像が2重・3重になる (ゴースト)

- チャンネル設定で「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にしたか。(P.53、55)
ただし、「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にしても、ゴーストを完全に消すことはできません。

●2画面表示にならない

- 左右の画面に同じビデオ入力の映像を映すことはできません。
- 左右の画面で同時にBS放送を見ることはできません。
- 左右の画面で同時にVHF/UHF/CATV放送を見ることはできません。
- 右画面にD端子からの映像は表示できません。

●静止画にならない

- 番組一覧を表示中のときは静止画をご覧になることはできません。

こんなときは故障ではありません

- 部屋の温度変化やプロジェクションテレビ内部の温度変化により、プロジェクションテレビから「ミシッ」という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。
- 光源ランプが切れるときに音がすることがありますが、危険はありません。
- 電源を入れ映像が現れるときに、光源ランプから異音が聞こえることがあります。これは光源ランプ内に入ってる水銀に熱が加わったときに発生する音で、故障ではありません。
- ILA素子の特性上、静止部分の映像が画面上に一時的に残ります。これは故障ではありません。残像は時間が経てば消えます。
- 本機は温度が0度未満の動作保証をしておりません。0度未満の時に電源を入れると、映像が乱れる場合があります。0度以上になってからご使用ください。
- D-ILAホログラム素子は高精度技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素があります。ご了承ください。
- 本機内部には、冷却用ファンがついています。使用中または、クーリング中は、ファンの動作音がします。ご了承ください。
- 電源を切った後すぐに電源を入れると一時的に映像が乱れたり、ノイズが見える場合がありますが故障ではありません。

以下のようなときは、アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。

雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)・雑音が出る
● アンテナは正しく接続されていますか。 ● 屋外のアンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ● アンテナの向きが変わっていたり、壊れていたりしていませんか。
画面にはん点が出る・雑音が出る(妨害)
● ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。
画面にしま模様が出る・雑音が出る(混信)
● 無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。

本体前面の2つのLEDランプ（スタンバイランプとランプ/電源ランプ）が点滅をしているときは、何らかの故障またはトラブルが発生しています。

以下の表をご覧ください、状況を確認してください。

故障または異常が考えられるときは、販売店またはお近くのビクターサービス窓口（☎P.88）にご相談ください。

点滅のしかた	トラブル内容
2つのLEDランプが交互に点滅している	● 冷却用ファン関連の故障が考えられます。 ● 回路の故障が考えられます。
2つのLEDランプが同時に点滅している	● 光源ランプユニットの取り付けが正しくない ● 回路の故障が考えられます。

メンテナンス
こまめなときは

こんなメッセージが表示されたら

メッセージ

原因

- | | |
|--|---|
| ■ ノーマル画面サイズに対して、位置調節はできません。 | ●画面サイズがノーマル(4:3)の場合、「画面位置の調節」項を決定したとき。 |
| ■ CATV選局方式が12ボタンのため設定できません。 | ●CATVチャンネルの設定でCATV選局方式が12ボタンのとき。 |
| ■ ヘッドホン音声に対して、この操作はできません。 | ●ヘッドホン音声に対し、音量調節以外(音場効果や音声切換など)の操作を実行したとき。 |
| ■ ビデオ2入力になっていますので、この設定はできません。 | ●ビデオ2入力モードの場合、「ビデオ2へのBSデコーダー入力」項を決定したとき。 |
| ■ BS放送にしてから、この設定を選んでください。 | ●BS以外の入力モードの場合、TV／独立、BSジャック、BSアンテナ入力レベル表示、BSアンテナへの電源供給を操作／決定したとき。 |
| ■ BSジャック機能が(入り)になっていますので、この操作はできません。 | ●BSジャックが「入り」になっている場合、BSチャンネル切換・TV／独立・BS音多・BSデコーダー入力設定・BSアンテナ電源を操作しようとしたとき。 |
| ■ BSアンテナに不具合があります。
BSアンテナ、コード、端子などを調べてください。 | ●BSアンテナ電源がショートしている場合。 |
| ■ マルチ画面のとき、この操作はできません。 | ●2画面、番組一覧モードの場合、画面サイズを操作したとき。
2画面の右側に対して音声切換えが押されたとき。ナチュラルシネマを「入り」にしようとしたとき。 |
| ■ 2画面のとき、同じビデオ入力を映すことはできません。 | ●2画面モードの場合、左右画面に同じビデオ入力を選択しようとしたとき。 |
| ■ 静止画中のため、この操作はできません。 | ●静止画の場合、操作画面を選択したとき。 |
| ■ TV放送を2つ以上映すことはできません。 | ●2画面で両画面に本機で受信したテレビ放送(VHF、UHF、CATV)を映そうとしたとき。 |
| ■ BS放送を2つ以上出すことはできません。 | ●2画面で両画面にBS放送を出そうとしたとき。 |
| ■ 無信号のためまもなく電源が切れます。 | ●無信号電源オートオフが働く3分前のとき、無信号でなくなるまでメッセージは消えない。 |
| ■ 無操作のためまもなく電源が切れます。
続けてみる場合は音量ボタンを押して下さい。 | ●何も操作しない状態が3時間続き、テレビ消し忘れ防止機能により、オフする3分前のとき。何かのボタンが押されるまでメッセージは消えない。 |

メッセージ

原因

■ BSチャンネルを固定しました。	●BSジャック機能を「入り」にしたとき。
■ 設定時刻になりますのでまもなく電源が切れます。 続けて見るばあいは音量ボタンを押して下さい。	●深夜電源オートオフの設定時刻の3 分前になったとき。
■ 時計が設定されていけませんので、使えません。 メニューの初期設定で時計合わせをして下さい。	●時計が設定されていないときにおはよう タイマーを使おうとしていたとき。
■ Bモード音声中です。	●BSモード放送のとき。TV／独立ボ タンを押したとき。
■ デコーダーで設定してください。	●WOWOWの音声切換をしたとき。
■ 現在のモードではこの操作はできません。	●ビデオ時に音声切換しようとしたと き等。
	●525pを見ているときにナチュラル シネマが押されたとき。
	●1125iを見ているときにナチュラ ルシネマが押されたとき。
■ 映画に最適な映像設定にしました。	●映画ボタンが押されたとき。
■ 映画モードが解除されました。	●映画ボタンが解除されたとき。
■ ナチュラルシネマモードにしました。	●ナチュラルシネマボタンが押された とき。
■ ナチュラルシネマモードが解除されました。	●ナチュラルシネマが解除されたとき。
■ 表示できないモードです。	●D端子から525i、525p、1125i、 750p以外の信号が入っているとき。
■ どこでもズーム機能をデモしています。拡大したいところに 枠を合わせます。中止するにはメニューの自己紹介(機能説 明)を切りにしてください。	●「どこでもズーム」の自己紹介(機能 説明)中のとき
■ 2画面機能をデモしています。 左右カーソルを押すと画面の大きさが変わります。中止するに はメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてください。	●2画面機能の自己紹介(機能説明) 中のとき
■ デジタルE.E.機能をデモしています。 本体前面のE.E.センサーに手を当てると効果がわかります。中止 するにはメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてください。	●「デジタルE.E.」の自己紹介(機能 説明)中のとき
■ GRT(ゴースト低減)機能を紹介しています。 中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてく ださい。	●「GRT」の自己紹介(機能説明)中の とき
■ 自己紹介(機能説明)を中止しました。	●自己紹介(機能説明)を終了したとき
■ おはようタイマー設定時刻になりました。	●おはようタイマーの設定時刻になっ たとき(電源が入ったとき)。
■ フィルターのほこりを取り除いてください。	●約3ヶ月毎に定期的にフィルターの 掃除をうながします。

保証書とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有限期

当社は、カラーテレビの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有します。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼になる前に、「故障かな？と思う前に」（P.82～85）にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

品 名	ビクターILAプロジェクションテレビ
型 名	AV-D50LA2
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせて
お 名 前	() -
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店 () -
------	-----------------

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店にご依頼ください

ご贈答品等で保証書に記載のお買い上げ販売店にご依頼にならない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

所在地、電話番号は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道				
札幌	木 場SC	(011)898-1180	004-0005	札幌市中央区南5条5丁目2-28
苫小牧	苫小牧SS	(0144)34-6882	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
旭 川	旭 川SS	(0166)61-3639	070-8012	旭川市神楽二条3-2-15
北 見	北 見SS	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
釧 路	釧 路SC	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
室 広	室 広SS	(0155)24-4493	080-0806	室広市東八条南12-1
函 館	函 館SS	(0138)52-5324	040-0000	函館市五稜街4番16号 函館友好生命ビルF
東北				
青 森	青 森SC	(0177)23-2226	030-0844	青森市桂木4-6-17
八 戸	八 戸SS	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-2-2
弘 前	弘 前SS	(0172)28-0165	036-8084	弘前市北田1-13-1
盛 岡	盛 岡SC	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津田9地区2-41
水 沢	水 沢SS	(0197)22-2773	023-0805	水沢市大天台通り3-12
秋 田	秋 田SS	(0188)24-3188	013-0953	秋田市山田中町4-1
大 館	大 館SS	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
横 手	横 手SS	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大宮向5-6
宮 城	宮 城SC	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁目の目黒7-13
石 巻	石 巻SS	(0225)64-7711	986-0653	石巻市「陸字」西谷地8-18
山 形	山 形SC	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-2-18
酒 田	酒 田SS	(0234)26-7145	998-0642	酒田市亀ヶ崎6-6-1
郡 山	郡 山SC	(0249)52-6331	963-0205	郡山市堤1-3
いわき	いわきSS	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒 字桜19-4
会津若松	会津若松SS	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町44 ハイツシンフォニー101号
福 島	福 島SS	(0245)53-9437	960-0103	福島市本町字南原26-1
関東				
新 潟	【出張修理専門】のご相談窓口 首都圏SC	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
関東				
【お預かり修理、補修用部品】のご相談				
新 潟	新 潟SC	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
長 門	長 門SS	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下条2-1366-1
上 野	上 野SS	(0255)45-1734	942-0081	上越市五箇1-11
【出張修理専門】のご相談窓口				
首都圏	首都圏SC	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
【お預かり修理、補修用部品】のご相談				
長 野	長 野SC	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新庄962-1
松 本	松 本SS	(0263)25-9135	390-0837	松本市鎌田2-3-50
【出張修理専門】のご相談窓口				
首都圏	首都圏SC	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
【お預かり修理、補修用部品】のご相談				
前 橋	前 橋SC	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
【出張修理専門】のご相談窓口				
首都圏	首都圏SC	(029)835-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
【お預かり修理、補修用部品】のご相談				
宇都宮	宇都宮SC	(028)638-1638	321-0953	宇都宮市東谷郷3-5-22
【サービス関連すべて】のご相談				
土 浦	土 浦SC	(0286)27-8766	300-0803	土浦市富士崎1丁目10-1
水 戸	水 戸SS	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
【出張修理専門】のご相談窓口				
首都圏	首都圏SC	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
【お預かり修理、補修用部品】のご相談				
甲 府	甲 府SS	(0552)37-4006	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
千葉				
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
千葉	【お預かり修理・補修用部品】のご相談			
	千葉SC	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1
	木更津SS	(0438)23-3035	292-0000	木更津市高見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏SC	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安SS	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-3-27
東京				
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	当麻SS	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
東京	【お預かり修理・補修用部品】のご相談			
	本郷SC	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原SS	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬SC	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-9-1
	大田SC	(03)3727-9385	145-0082	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子SC	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大井町12-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテ			
	ナンスセンター	(03)3874-6231	110-0003	東京都台東区浅草5-4-3
埼玉				
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
埼玉	【お預かり修理・補修用部品】のご相談			
	大宮SC	(048)654-5241	333-0027	大宮市東大城町2-65-1
	熊谷SS	(0485)535-05	361-0057	行田市城辺2-739 ツインハイツ石川
	川越SS	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
神奈川	【お預かり修理・補修用部品】のご相談			
	横浜SC	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区磯子1-3-1
	横浜SS	(0488)34-9261	239-0831	横浜市中区磯子4-4
	川崎SS	(044)975-1879	216-0024	川崎市幸区南平台3-2 (第2石原ビル)
	平塚SC	(0463)36-2160	254-0065	平塚市馬場2-45
	相模原SC	(0427)76-2052	229-0004	相模原市緑区3-7-4
静岡				
	静岡SC	(054)282-4141	422-8006	静岡市由緒6-5-28
	沼津SS	(0553)22-1557	410-0041	沼津市御幸町6-5
	浜松SS	(053)421-3441	435-0041	浜松市北区町785
東海・北陸				
	名古屋SC	(0568)25-3235	481-0041	愛知県井筒町西3 大之坪町121-1
	三河SC	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町幸町西31
	豊橋SS	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
	岐阜SS	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐町3-1-28
	三富SS	(0593)52-0841	510-0076	西日守町大2-15-2
	津SS	(0592)29-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
	富山SC	(0764)25-2397	939-8211	富山県二ツ町四丁目1-3
	石川金沢SC	(076)269-4821	921-8062	金沢市保本町丁65-7
	福井SC	(0778)53-6916	910-0843	福井市三朝路3-211
近畿				
	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	滋賀SS	(0775)82-5812	524-0093	守山市学芸町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪SC	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理・補修用部品】のご相談			
	京都SC	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
近畿				
京都	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	福知山SS	(0773)22-8864	620-0059	福知山市亨東町145-2
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪SC	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理・補修用部品】のご相談			
	奈良SC	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪SC	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理・補修用部品】のご相談			
	大阪SC	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
	大阪南SC	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町13-16
	堺SC	(0722)54-2881	591-8032	堺市三国町3丁目21-2 伊勢ハイム
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	美祿SS	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
和歌山	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	和歌山SS	(0734)72-6799	640-8325	和歌山市対馬430-8
	日田SS	(0739)24-0124	646-0031	日田市湊1581-12
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪SC	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理・補修用部品】のご相談			
	神戸SC	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯子通3-2-18
	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	姫路SS	(0792)34-3833	670-0975	姫路市土庫町1-1
中国				
	岡山SC	(086)243-1586	700-0826	岡山市北区西町8-23
	広島SC	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山SS	(0849)31-6884	721-0973	福山市南蔵田町3-5-15
	山口SC	(0839)73-3708	754-0022	山口市阿部町西町5-28
	徳島SC	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関SS	(0832)51-1040	751-0852	下関市錦雅町2-4-23
四国				
	高松SC	(0878)66-1200	761-8057	高松市庄町205-1
	徳島SC	(0886)22-7387	770-8052	徳島市沖兵2-37
	高知SC	(0888)82-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
	松山SS	(0899)23-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島SS	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津平407-40
	新居浜SS	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
	福岡SC	(092)43-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-18-1
	久留米SS	(094)239-3495	830-0038	久留米市世間寺町1-1192
	北九州SC	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
	佐賀SC	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
	長崎SC	(095)662-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保SS	(0956)33-5568	857-1186	佐世保市大瀬町1467-2
	大分SC	(097)543-4322	870-0822	大分市大瀬町4-1-2
	熊本SC	(096)353-4536	861-4101	熊本市近江1-1-10
	宮崎SS	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市瑞穂町3-59
	延岡SS	(0982)35-7077	882-0857	延岡市延岡町2-4-3
	鹿児島SC	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市日土7丁目9-8
	沖縄SC	(096)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志高1-13-16
山陰				
	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江工業団地11月16-39
	出雲営業所 サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所 サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長瀬町671-1
	鳥取営業所 サービス係	(0857)23-2151	680-0845	鳥取市千代水1丁目22-1

0800

メンテナンス
こまめなときは

索引

アルファベット／数字

AV コンピューリンク II	75
BBE	42
BS アンテナ	59
BS アンテナの入力レベル表示	62
BS アンテナの接続	59
BS アンテナへの電源供給	61
BS ジャック	35、68
BS チャンネルボタンの設定変更	63
BS 録画	68
CATV チャンネル設定変更	57
CATV チャンネル選局方式	
12 ボタン方式	56
数字入力方式	56
CATV 選局方式	56
D4 映像端子	71
DAP	44
E.E. センサーボタン	34
GRT (ゴースト低減) 機能	36
S/N 連動	35
TV/ 独立ボタン	43
2 画面	29
画面入換	29

ア行

安全上のご注意	2
転倒防止の処置	9
アンテナの接続	50
映画ボタン	33
映像選択	
ゲーム	38
シアター	38
シアター時の設定	40
スタンダード	38
ダイナミック	38
映像調節	
色あい	39
色の濃さ	39
黒レベル	39
シャープネス	39
白バランス	39
ノイズクリア	39
ピクチャー	39
オートパノラマ動作時の画面	28
おトク設定	47
おはようタイマー	46
オフタイマー機能	23
音場効果ボタン	44
音声切換	43
音声調節	
BBE	42
高音	42

左右バランス	42
重低音	42
低音	42
音量を調節	22

カ行

各部のなまえ	16
本体前面	16
本体後面	17
画面位置の調節	28
画面サイズ選択	27
画面サイズの種類	26
字幕パノラマ	26
ノーマル	26
パノラマ	26
フル	26
シネマ	26
画面の表示	23
ゲームボタン	37
光源ランプユニットの交換	78
故障かな?と思う前に	82
個別にチャンネルを合わせる	54

サ行

シアタープロの設定	
CTI 効果	41
DSD エッジ	41
DC 量補正	41
H シャープネス	41
V シャープネス	41
色バランス	41
色マトリクス	41
ガンマ補正	41
黒補正	41
白バランス 青	41
白バランス 赤	41
白補正	41
自己紹介機能	37
仕様	裏表紙
消音	23
深夜電源オートオフ	47
静止ボタン	31
接続	
AV コンピューリンク II	75
BS アンテナ	59
BS デコーダー	69
BS デジタルチューナー	71
DVD プレーヤー	72
D-VHS	73
VHF/UHF アンテナ	50
アンプ	74
テレビゲーム	67
ビデオデッキ	50、68
ビデオムービー	66

節電機能

深夜電源オートオフ	47
テレビ消し忘れ防止	49
無信号電源オートオフ	47

タ行

地域チャンネル合わせ	52
チャンネル合わせ	
地域チャンネル合わせ	52
個別にチャンネルを合わせる	54
チャンネルを選ぶ	22
デジタル E.E.	34
デジタル E.E. の効果表示	34
テレビ消し忘れ防止	49
電源を入れる	20
電源を切る	21
独立音声	43
時計合わせ	65
どこでもズーム	32
ドルビーバーチャル /	
3D フォニック	44

ナ行

ナチュラルシネマ	33
入力切換	23

ハ行

番組一覧	30
フィルターの掃除	76
光サインディスプレイ	15
ビデオ 1 入力端子信号の	
モニター出力	68
ビデオ 2 への	
BS デコーダー入力	69
付属品	13
ふだんの使いかた	20
保証書とアフターサービス	88

マ行

無信号電源オートオフ	47
メッセージ一覧	86
メニューボタンの使いかた	24
目次	10

ヤ行

用語解説	91
------	----

ラ行

リモコン	18
電池の入れかた	19
ふたの開けかた	19

用語解説

受信チャンネル

受信できる放送局のチャンネル。新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル番号のことです。

シネスコサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1:2.35になっているものをこう呼びます。ビスタサイズより横長です。

スクランブル放送

映像・音声の信号を暗号化した放送。WOWOWやSt.GIGA、CATVの一部で使われています。

^{イーイー}デジタルE.E.

Electronic Eye (電子の目)

本機では、部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。

独立音声

テレビ画面と関係のない音声だけの放送。

ハイビジョン

画面サイズが16:9で、走査線数1125本の高精細映像方式。

ビスタサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1:1.85になっているものをこう呼びます。

プログレッシブ

テレビの映像(テレビは走査線を使って映像を表示しています)を表示するときの方式のことです。従来の方式はインターレース方式と言い、奇数の走査線(半分)と偶数の走査線(半分)を交互に表示しています。一方プログレッシブは、1度に全ての走査線を表示するので、ちらつきの無い映像が得られます。

ワイドクリアビジョン放送

画面の縦横比16:9の放送。画面サイズが16:9のテレビでは信号を検出して、自動的に画面サイズを「シネマ」に切り換えます。(画面サイズが4:3のテレビで見ると画面の上下に黒帯が出ます。)

^{エー}Aモード音声

BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送以上で、テレビ音声と独立音声があります。

^{ビー}Bモード音声

BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はCD(コンパクトディスク)と同等です。

^{ビーエス}BSデコーダー

BS有料放送(JSB、St.GIGA)のスクランブルを解除する機器。

^{ビーエス}BSデジタル放送

2000年の12月に放送開始予定のデジタル方式のBS放送です。(2000年10月現在)

^{ビーエス}BSデジタルチューナー

現行のハイビジョンテレビやBS放送受信機でBSデジタル放送を見るときに接続する機器です。

D4映像端子

コンポーネント映像を1本のコードで接続できる端子。数字は扱える信号を意味しています。本機(D4)ではハイビジョン(1125i、750p)・プログレッシブ(525p)・従来の信号(525i)が扱えます。

^{ジェイエスビー}JSB

日本衛星放送株式会社

^{エス}S映像信号

映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

^{エス}S1映像信号

S映像信号に画面サイズの判別信号を重畳した信号です。DVDの映画ソフトの中には、フルモード(スクイーズ記録)で記録されているものがあります。フルモードで記録された映像信号を本機のS1映像端子に接続すると自動的に画面サイズがフルに切り換わります。

St.GIGA

衛星デジタル音楽放送株式会社の放送局名。WOWOWの独立音声を使って放送しています。

^{ワウワウ}WOWOW

JSBが放送する番組の愛称。

525i/525p/1125i/750p/1125p

デジタル放送時代の各種映像信号の走査線数と走査方式を表した呼称です。本機は525i/525p/1125i/750pの4方式に対応しています。

BSジャック

本機に内蔵しているBSチューナーを使って、BS無しのビデオでBS放送を録画するときを利用する機能です。BS録画中にBSチャンネルの切換操作やBSの音声切換の操作を禁止し、録画中のうっかりミスを防ぎます。

GRT

ゴースト低減機能の事です。

ゴースト

ビルや山に反射した電波を受信すると映像が2重3重に映ることがあります。これをゴーストといいます。

AVコンピュリンクⅡ

ビクターのテレビとビクターのビデオ機器を組み合わせでワンタッチでさまざまな連携プレイを可能にする機能です。



主な仕様

種類	ILAプロジェクションテレビ	D4入力 (ビデオ1、3、5)端子	映像： D端子 (D4) 音声： 0.5V(rms)、ハイインピーダンス
受信方式	NTSC	モニター/BS出力端子	S1映像： Y 1V(p-p)、75Ω、同期負 C 0.286V(p-p) (バースト信号)、75Ω 映像： 1V(p-p)、75Ω、同期負 音声： 0.5V(rms)、ローインピーダンス
受信チャンネル	VHF 1~12、UHF 13~62 CATV C13~C38 BS1、3、5、7、(9)、11、13、15	オーディオ出力 (固定) 端子	音声： 0.5V(rms)、ローインピーダンス
素子	素子サイズ： 1.22インチ (表示部有効エリア) 発光方式： D-ILAホログラム	BSデコーダー接続	ビットストリーム出力端子： 0.5Vp-p、75Ω 検波出力端子： 0.67V(p-p)、75Ω
光源	200W超高压水銀ランプ (垂直点灯方式)	AVコンピュリンクII端子：	直径 3.5 mm、ミニジャック
使用電源	AC100V、50Hz/60Hz	ヘッドホン端子	直径 3.5 mm、ステレオミニジャック
消費電力	317W 待機時 0.5W BS裏録時12.6W (BSコンバーター最大4Wを除く)	【その他】	
年間消費電力量	516kW・h/年	最大外形寸法	120.6 cm x 116.2 cm x 47.9 cm (幅x高さx奥行)
画面寸法 (幅X高さ)	110.7 cm x 62.3 cm	質量 (重さ)	54 kg
音声出力	5W+5W+20W	付属品	13ページ参照
スピーカー	10 cm円型、2個 16 cm円型、1個 (低音用)	別売品	専用ラック RK-C50T1 光源ランプユニット PK-CL202 アンテナ混合器 VZ-84
【入力/出力端子】			
アンテナ端子	VHF/UHF： 75Ω、F型 BS： 75Ω、F型 (BSコンバーター用電源 DC15V 4W 重畳)		
ビデオ1、ビデオ2 (BSデコーダー)、ビデオ3 (DVD)、ビデオ4入力端子	S1映像： Y 1V(p-p)、75Ω、同期負 (S映像) C 0.286V(p-p) (バースト信号)、75Ω 映像： 1V(p-p)、75Ω、同期負 音声： 0.5V(rms)、ハイインピーダンス コンバーネント映像 (ビデオ4)： Y 1V(p-p)、75Ω、3値同期、同期負 PH/CB ±0.35V、75Ω PR/CR ±0.35V、75Ω		

※ このプロジェクションテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。

This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

※ プロジェクションテレビの型(50型等)はスクリーンの対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

※ 年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での年間視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

※ AV-D50LA2は「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

ご相談や修理は	
ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、 お買い上げの販売店にご相談ください。	
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。	
修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様相談センター
88~89ページをご覧ください。	東京 ☎ (03) 5684-9311 【代表】 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪 ☎ (06) 6765-4161 【代表】 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

愛情点検 	●長年ご使用のテレビの点検をぜひ ●電源スイッチを入れても映像や音がでない。 ●上、または下の映像が欠けて映る。 ●映像が斜め、歪むことがある。 ●音なしでいいがしたたり、はびこりがある。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。	ご使用を中止 故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからプラグをはずして必ず図表に従ってご相談ください。
--	--	---

Victor JVC
日本ビクター株式会社

ホームAVネットワークビジネスユニット

〒306-0698 茨城県岩井市大字辺田1106番地 電話 (0297) 35-0066